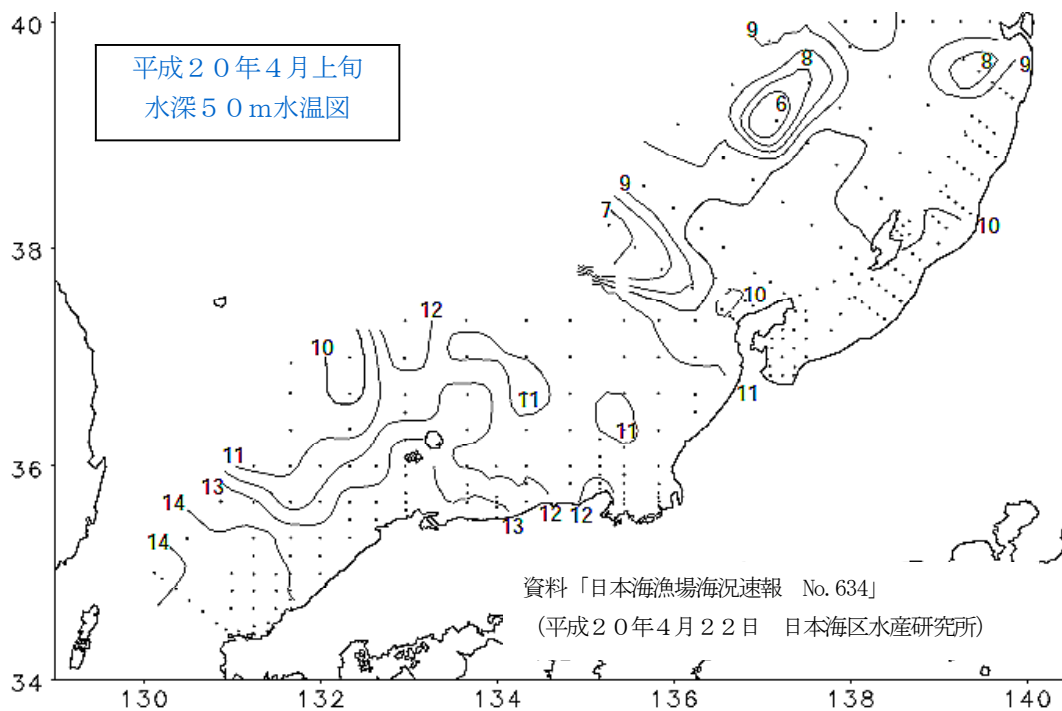


石川県水産総合センター漁海況情報 第140号

電話：0768-62-1324 <http://www.pref.ishikawa.jp/suisan/center/sigenbu.htm>

1 水温の状況 — 4月定線観測結果 —

- (1) 本県周辺の水深50m水温は10～11℃台を示し、加賀沖では“平年並み”、能登半島外浦沖では“平年並み”から“やや低め”、富山湾では“平年並み”の水温分布を示しています。
- (2) 表面水温は10～11℃台を示し、加賀沖、能登半島外浦沖では“平年並み”から“やや高め”、富山湾では“平年並み”の水温分布を示しています。
- (3) 冷水域の接岸状況は、能登半島外浦沖で平年よりかなり岸寄りとなっています。
- (4) 禄剛埼北方沖には水温の高い海域が広がっています。
- (5) 対馬暖流域全体の水深50m水温分布を見ると、日本海西部・北部とも沿岸域は“平年並み”の海域が広がっています。



「平成20年度第1回日本海海況予報（平成20年4月9日）」の概要

日本海沿岸の道府県水産研究機関と水産総合研究センター日本海区水産研究所が検討しとりまとめた日本海海況予報が以下のとおり発表されました。

今後の見通し（2008年4月～6月）

- (1) 隠岐諸島北東、佐渡島北方の暖水域は、ほぼ停滞する。若狭湾沖の暖水域は、北東に移動する。
- (2) 山陰・若狭沖の冷水域の張り出しは、平年並み。佐渡島沖の冷水域の張り出しは、やや弱い。
- (3) 対馬暖流域の表面水温は、“やや高め”で経過する。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、日本海西部および北部とも“やや高め”で経過する。

2 漁獲の動向 — 3月の漁獲量から —

【定置網】

主要10港合計は**1,036トン**で、**平年（過去10年平均）をやや下回る漁獲量**でした。最も多く漁獲されたのはカタクチイワシの307トンで、平年をかなり下回りました。マサバは215トンで平年をかなり上回りました。能登町・七尾地区で好漁となり、3月としては過去10年間で最も多い漁獲量となりました。スルメイカは155トンで平年並みでした。

【底びき網】

主要10港合計は**1,459トン**で、**平年をやや上回る漁獲量**でした。最も多く漁獲されたのはハタハタの877トンで、平年をかなり上回りました。全長16～18センチメートルの2歳魚主体に、橋立港・金沢港・富来港で好漁となりました。アカガレイは112トン、ニギスは102トンで平年並みでした。アマエビは41トン、ズワイガニ（雄）は34トンで、平年をやや上回りました。

【まき網】

主要10港合計は**1,147トン**で、**平年をやや下回る漁獲量**でした。最も多く漁獲されたのはマアジの734トンで、平年並みでした。マサバは283トンで平年をやや下回りました。

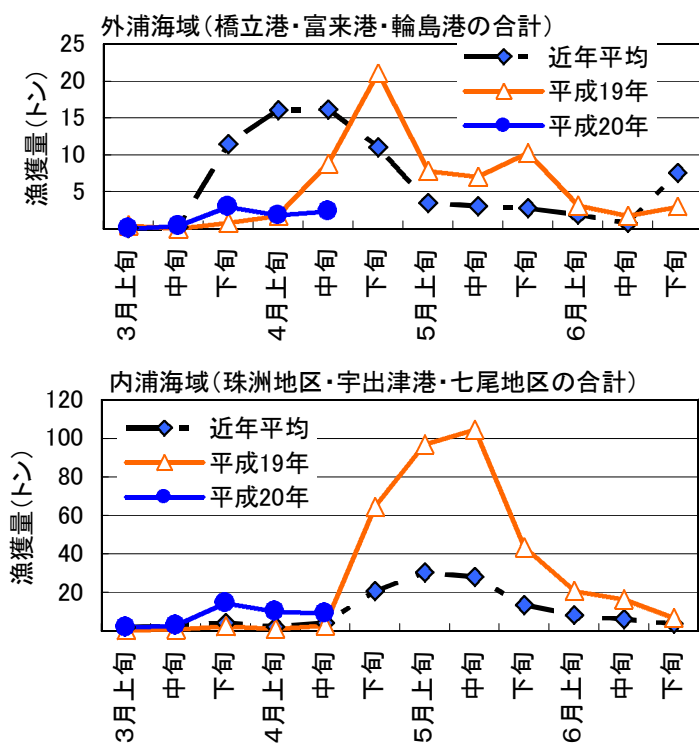
【刺網】

主要10港合計は**414トン**で、**平年をやや上回る漁獲量**でした。最も多く漁獲されたのはフクラギの263トンで、平年をかなり上回りました。漁獲量の大部分が輪島地区でした。ハツメは16トンで平年をかなり上回りました。ウスメバルは12トンで平年をやや下回りました。

【釣り】

釣りの主要10港合計は**10トン**で、**平年をやや下回る漁獲量**でした。最も多く漁獲されたのはウスメバルの2トンで、平年をかなり下回りました。

■ サワラ・サゴシの水揚げ状況（春漁期） ■



○外浦海域

石川県外浦海域では、サワラの盛漁期を迎えています。主要港における3月から4月中旬までの漁獲量は7.3トンで、近年平均（過去5年平均）の17%と低調に推移しています。

昨年（平成19年）は漁期が遅れ、4月中旬以降にまとまった水揚げがみられましたが、今年は昨年よりさらに漁期が遅れています。

○内浦海域

内浦海域の主要港における3月から4月中旬までの漁獲量は38トンで、近年平均の253%と好調に推移しています。

過去の漁獲量の推移を見ると、日本海北部（石川県以北）の春期水温が高い年に好漁となる傾向があります。

内浦海域では4月下旬以降に盛漁期を迎えますが、日本海北部の50メートル深水温はやや高めで経過すると予測（日本海海況予報）されており、今後も近年平均を上回る水揚げが続くと思われます。

スルメイカ釣り漁業の見通し（5～7月）については、4月25日（金）発行の「第1回日本海スルメイカ漁況予報」でお知らせします。

漁獲量統計 (橋立港、金沢港、富来港、輪島港、蛸島港、鶴飼港、松波港、宇出津港、七尾地区)

定置網漁業

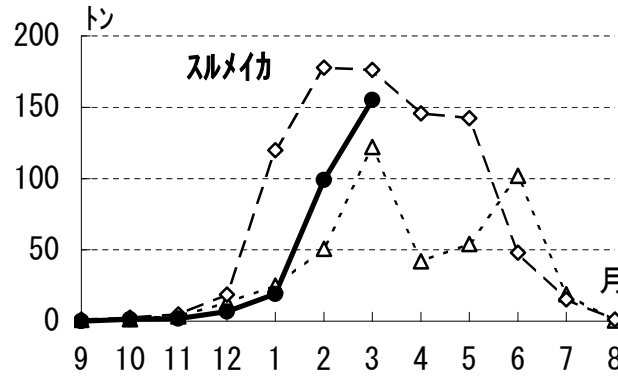
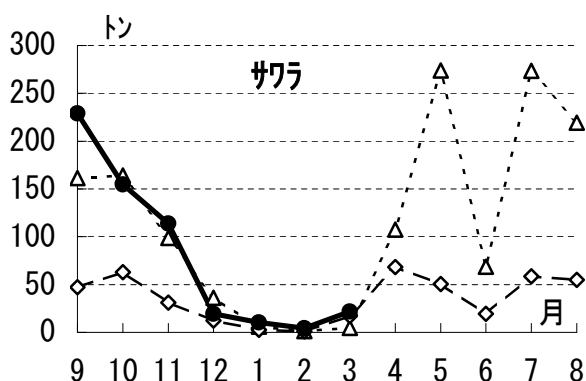
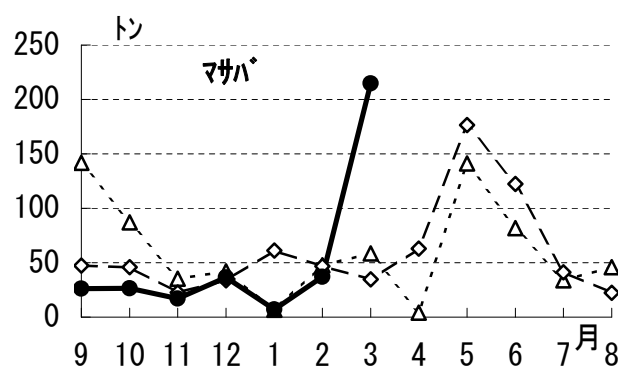
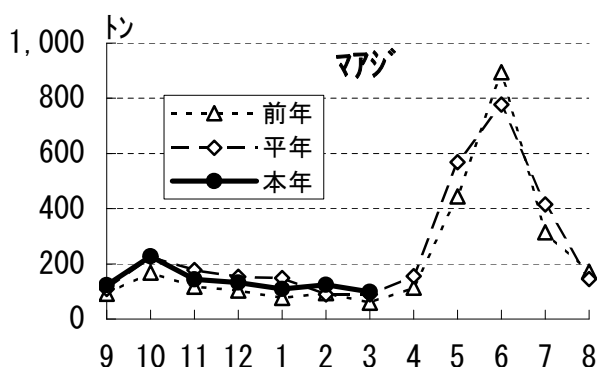
	3月漁獲量 (トン)			累計漁獲量(9月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)	本年	平年 (比率)	
延統数	1,297	1,262 →	1,434 →	9,670	10,702 →	
カタクチイワシ	307	1,386 ▼▼	657 ▼▼	382	1,087 ▼▼	
マサバ	215	58 △△△	35 △△△	365	292 △	
スルメイカ	155	122 △	176 →	283	501 ▼	
マアジ	99	59 △	89 →	958	994 →	
マイワシ	36	13 △△	128 ▼▼	101	234 ▼▼	
サワラ	22	5 △△△	17 △	553	175 △△△	
ウルメイワシ	22	17 △	74 ▼▼	91	245 ▼▼	
ヤリイカ	21	14 △	8 △△	64	50 △	
ウマヅラハギ	21	3 △△△	23 →	143	454 ▼▼	
ブリ	16	152 ▼▼	28 ▼	227	374 ▼	
ガント	9	7 →	5 △	16	69 ▼▼	
アソコウ	3	3 →	3 →	12	12 →	
ミスダコ	2	2 →	2 →	6	9 ▼	
マダラ	2	2 →	2 △	6	9 ▼	
マダイ	2	1 →	2 →	80	49 △	
その他	107	91 →	79 △	3,414	2,599 △	
合計	1,036	1,937 ▼	1,330 ▼	6,703	7,153 →	
1隻当たり	0.80	1.53 ▼	0.93 →	0.69	0.67 →	

平年値は過去10年平均
単位：トン

他府県漁獲状況 (3月：定置網)

	カタクチイワシ	スルメイカ	サワラ	マサバ	アジ類	アカマス	ヤリイカ	ブリガント
舞鶴	36.8	1.4	108.4	9.6	11.9	0.0	0.2	0.0
氷見	154.8	164.2	0.0	93.3	87.5	54.6	9.6	7.1

各府県水試調べによる (速報値)

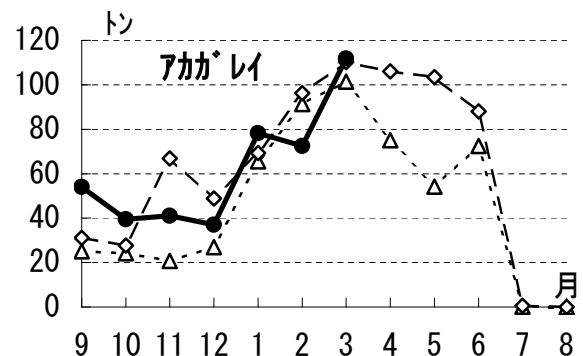
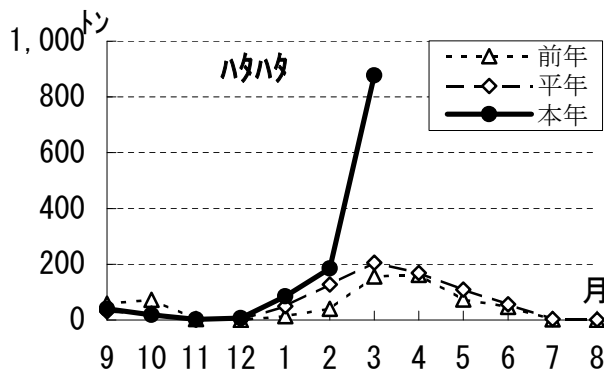
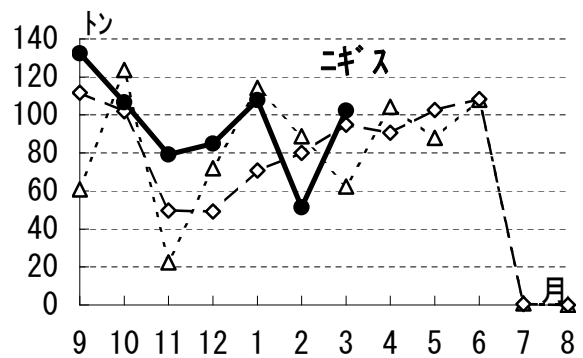
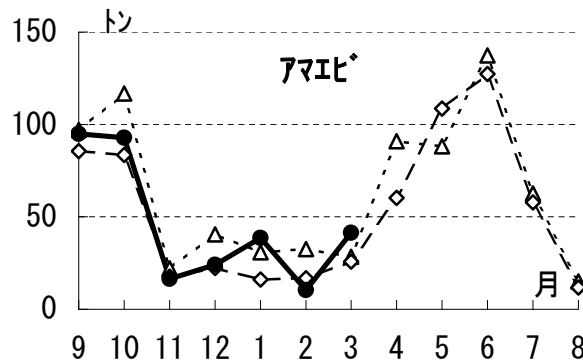


定置網における主要魚種別漁獲量の経月変化

底びき網漁業

	3月漁獲量 (トン)				累計漁獲量(9月より)			
	本年	前年	(比率)	平年	(比率)	本年	平年	(比率)
延隻数	1,642	1,290	△	1,419	→	8,663	8,932	→
ハタハタ	877	156	△△△	205	△△△	1,213	438	△△
アカガレイ	112	101	→	110	→	434	450	→
ニギス	102	62	△	95	→	665	558	→
アマエビ	41	28	△	26	△	318	268	→
スワイガニ	34	15	△△	22	△	275	284	→
ホタルイカ	33	69	▼▼	28	→	52	74	▼
アンコウ	27	31	→	24	→	258	244	→
マダラ	26	4	△△△	9	△△	107	49	△△
ソウハチ	17	12	△	15	→	49	60	▼
ミスガニ	17	9	△	9	△	43	39	→
ホッケ	14	3	△△△	14	→	95	80	→
ガスイビ	13	10	△	14	→	80	102	▼
マアジ	13	9	△	21	▼	18	38	▼▼
ヒレグロ	13	7	△	12	→	52	54	→
ムシガレイ	7	5	△	6	→	66	63	→
ヤナギムシガレイ	6	5	△	5	△	66	68	→
マガレイ	4	3	△	4	→	49	63	▼
ウマヅラハギ	4	4	▼	7	▼▼	26	34	▼
ヒラメ	3	2	△△	2	△	10	8	△
カニ類	3	2	△	3	→	21	15	△
その他	93	68	△	109	→	855	850	→
合計	1,459	605	△△	741	△	4,753	3,839	△
1隻当たり	0.89	0.47	△	0.52	△	0.55	0.43	△

平年値は過去10年平均



底びき網における主要魚種別漁獲量の経月変化

まき網漁業

	3月漁獲量(トン)				累計漁獲量(1月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)		本年	平年 (比率)	
延隻数	99	31 △△△	49 △△		264	133 △	
マヅ	734	197 △△△	685 →		2,184	1,360 △	
マサバ	283	499 ▼	482 ▼		1,891	1,954 →	
カクチイシ	37	10 △△△	29 △		37	32 →	
サワ	10	0 △△△	0 △△△		12	1 △△△	
その他	83	197 ▼▼	359 ▼▼		138	770 ▼▼	
合計	1,147	902 △	1,554 ▼		4,262	4,117 →	
1隻当たり	12	29 ▼▼	32 ▼▼		16	31 ▼	

平年値は過去10年平均

その他の漁業

	3月漁獲量(トン)				累計漁獲量(1月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)		本年	平年 (比率)	
刺網漁業							
延隻数	3,131	2,280 △	2,280 △		6,204	5,993 →	
フナギ	263	189 △	95 △△		432	203 △△	
ハツメ	16	4 △△△	4 △△△		28	15 △	
ウスハル	12	4 △△△	23 ▼		13	24 ▼	
ガンド	11	2 △△△	23 ▼▼		18	41 ▼▼	
マガレイ	8	2 △△△	4 △△		10	9 △	
マナコ	7	1 △△△	2 △△△		17	6 △△	
メダイ	6	7 ▼	8 ▼		14	30 ▼▼	
マヅ	5	2 △△	4 △		9	6 △	
アカレイ	5	7 ▼	8 ▼		34	36 →	
ミスダコ	4	3 △	5 ▼		9	16 ▼	
その他	77	61 △	81 →		217	224 →	
合計	414	281 △	256 △		803	610 △	
1隻当たり	0.13	0.12 →	0.11 →		0.13	0.10 △	
釣り							
延隻数	478	408 →	535 →		1,195	1,488 ▼	
ウスハル	2	2 △	5 ▼▼		3	11 ▼▼	
フナギ	1	0 △△	1 →		12	3 △△△	
その他	7	6 →	7 →		28	33 →	
合計	10	8 →	13 ▼		43	47 →	
1隻当たり	0.02	0.02 →	0.02 →		0.04	0.03 →	
サヨリ船びき網(蛸島港・鵜飼港・松波港)							
延隻数	113	142 ▼	152 ▼		113	152 ▼	
サヨリ	8	14 ▼	12 ▼		8	12 ▼	
1隻当たり	0.07	0.10 ▼	0.08 →		0.07	0.08 →	

※表(比率)の見方

▼▼	~ 50%	△	120~199%
▼	51~ 83%	△△	200~299%
→	84~119%	△△△	300~

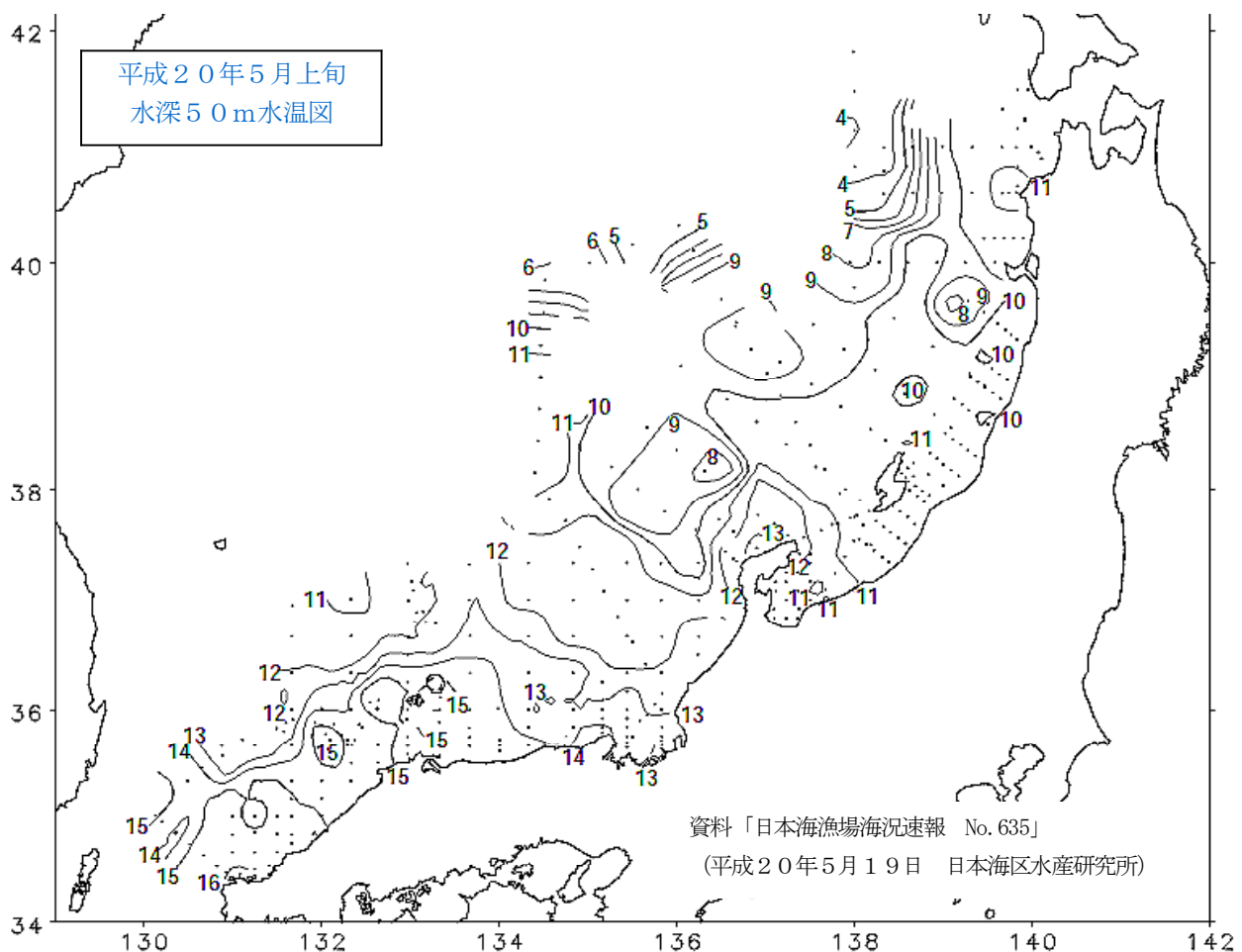
石川県水産総合センター漁海況情報 第141号

電話：0768-62-1324 <http://www.pref.ishikawa.jp/suisan/center/sigenbu.htm>

本県周辺海域の水深50m水温は、加賀沖で“平年並み”から“やや低め”、能登半島西方沖で“かなり低め”から“はなはだ低め”、富山湾で“平年並み”から“やや高め”。定置網ではマイワシ・サワラが平年をかなり上回った。底びき網ではハタハタが平年をやや上回り、ニギス、アマエビが平年並み。刺網ではフクラギが平年をかなり上回った。

1 水温の状況 — 5月定線観測結果 —

- (1) 本県周辺の水深50m水温は10～13℃台を示し、加賀沖では“平年並み”から“やや低め”（0～1℃低め）、能登半島西方沖では“かなり低め”から“はなはだ低め”（1～2℃低め）、能登半島北方沖及び富山湾では“平年並み”から“やや高め”（0～1℃高め）の水温分布を示しています。
- (2) 表面水温は13～15℃台を示し、加賀沖では“平年並み”から“やや高め”（0～1℃高め）、能登半島外浦沖及び富山湾では“やや高め”（0～1℃高め）の水温分布を示しています。
- (3) 冷水域の接岸状況は、能登半島西方沖で平年よりかなり岸寄り、禄剛崎沖で平年並みとなっています。
- (4) 対馬暖流域全体の水深50m水温分布を見ると、日本海西部沿岸域は“平年並み”から“やや高め”、日本海北部沿岸域は“平年並み”の海域が広がっています。



2 漁獲の動向 — 4月の漁獲量から —

【定置網】

主要10港合計は**2,388トン**で、**平年（過去10年平均）をやや上回る漁獲量**でした。最も多く漁獲されたのはカタクチイワシの1,488トンで、平年をかなり上回りました。マイワシは236トン、サワラ（サゴシを含む）は162トンで、いずれも平年をかなり上回りました。

【底びき網】

主要10港合計は**817トン**で、**平年並みの漁獲量**でした。最も多く漁獲されたのはハタハタの203トンで、平年をやや上回りました。ニギスは92トン、アマエビは63トンで、いずれも平年並みでした。アカガレイは77トンで平年をやや下回りました。

【まき網】

主要10港合計は**202トン**で、**平年をかなり下回る漁獲量**でした。最も多く漁獲されたのはマダイの90トンで、平年をかなり上回りました。マアジは74トン、マサバは7トンで、いずれも平年をかなり下回りました。

【刺網】

主要10港合計は**353トン**で、**平年をやや上回る漁獲量**でした。最も多く漁獲されたのはフクラギの167トンで、平年をかなり上回りました。ガンドは26トンで平年並みでした。ウスメバル（やなぎばちめ）は25トンで平年をやや下回りました。

【釣り】

釣りの主要10港合計は**28トン**で、**平年をやや下回る漁獲量**でした。最も多く漁獲されたのはガンドの9トンで、平年並みでした。フクラギは5トンで平年並みでした。

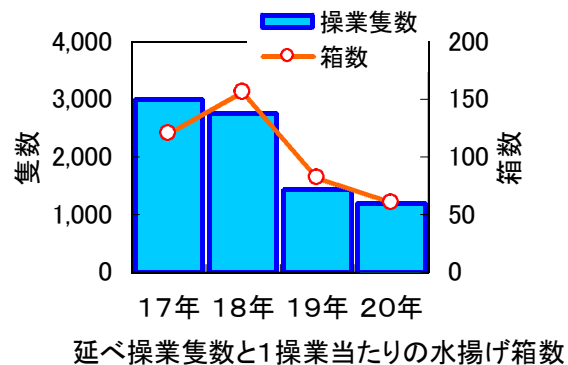
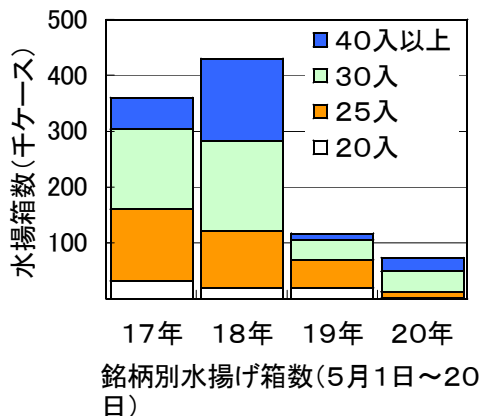
いか釣り（小型）の主要10港合計は**2トン**で、**平年をかなり下回る漁獲量**でした。

■ ■ 小型いか釣り漁業の水揚げ状況（5月の速報値） ■ ■

石川県沖はスルメイカ釣りの盛漁期を迎えています。県内における5月1日～20日までの水揚げ箱数は73千箱で、不漁だった前年をさらに下回っています（前年比62%）。

特に大型の群れの来遊状況が低調となっており、銘柄別箱数は、20入・25入が前年の18%、30入れ以上が前年の12.7%となっています。

期間中の延べ操業隻数は1,205隻で前年の84%、1操業当たりの水揚げ箱数は61箱で前年の74%でした。今漁期は、石川県沿岸への来遊状況が低調に推移していることに加え、燃油の高騰で出漁を控えている漁船もかなりあることが水揚量の不振につながっているようです。



現在、調査船白山丸が、日本海沖でスルメイカ試験操業を実施しています。この調査結果や今後の見通し等については、スルメイカ情報(6月上旬発行予定)でお知らせします。

また、JFいしかわが提供するかなざわ総合市場の携帯サイトでは、毎日の市況・取り扱い箱数を確認することができます。



漁獲量統計 (橋立港、金沢港、富来港、輪島港、蛸島港、鵜飼港、松波港、宇出津港、七尾地区)

定置網漁業

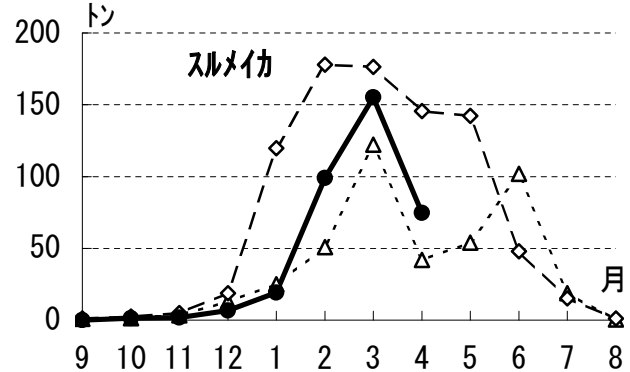
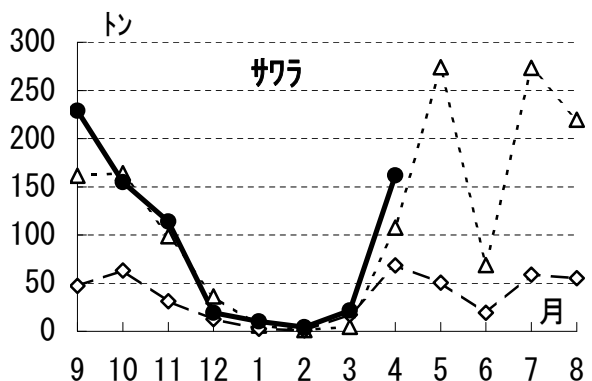
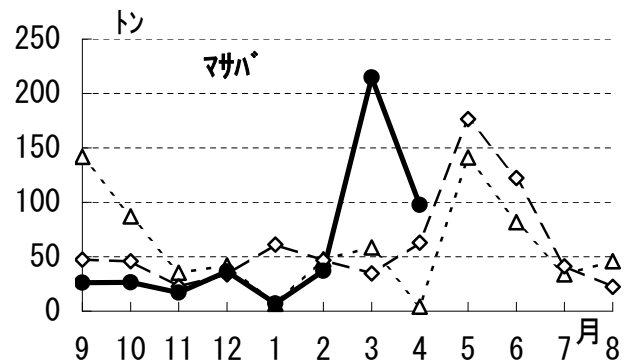
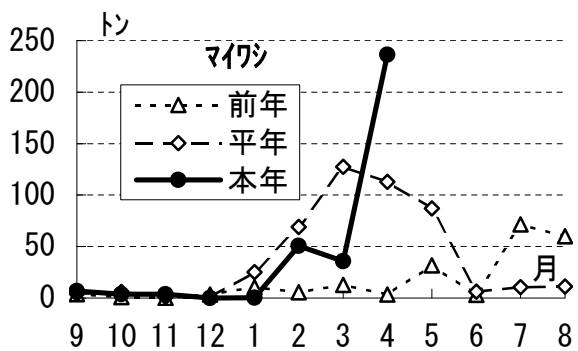
	4月漁獲量 (トン)			累計漁獲量(9月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)	本年	平年 (比率)	
延統数	1,653	1,569 →	1,737 →	11,323	12,439 →	
カクチイワシ	1,488	820 △	699 △△	1,870	1,786 →	
マイワシ	236	4 △△△	113 △△	338	347 →	
サワラ	162	108 △	68 △△	715	243 △△	
マサバ	98	4 △△△	63 △	462	355 △	
マアジ	80	114 ▼	156 ▼	1,038	1,150 →	
スルメイカ	75	42 △	146 ▼	358	646 ▼	
ウルメイワシ	42	9 △△△	61 ▼	133	306 ▼▼	
ガント	32	5 △△△	5 △△△	48	74 ▼	
マダイ	19	38 ▼	25 ▼	100	73 △	
ウマヅラハギ	7	13 ▼	36 ▼▼	150	489 ▼▼	
サクラマス	3	2 △△	2 △	4	4 →	
メジ	2	0 △△△	1 △△	133	66 △△	
ヒラメ	2	2 △	1 △	12	7 △	
ヤリイカ	2	3 →	3 →	66	53 △	
ブリ	2	17 ▼▼	10 ▼▼	229	385 ▼	
その他	138	96 △	122 →	3,435	2,678 △	
合計	2,388	1,275 △	1,510 △	9,092	8,663 →	
1隻当たり	1.44	0.81 △	0.87 △	0.80	0.70 →	

平年値は過去10年平均
単位：トン

他府県漁獲状況 (4月：定置網)

	カクチイワシ	サワラ	アジ類	フクラギ	スルメイカ	マサバ	マイワシ	アカカマス
舞鶴	41.5	183.8	36.3	38.3	5.5	7.4	0.8	0.0
氷見	351.1	174.4	2.5	0.1	31.2	28.9	16.9	3.4

各府県水試調べによる (速報値)

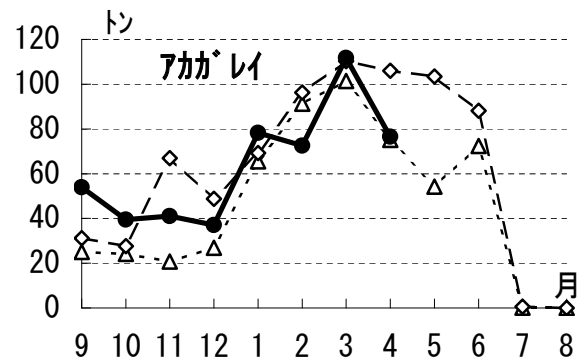
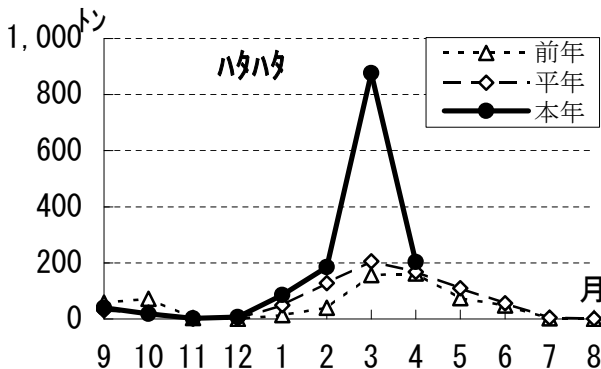
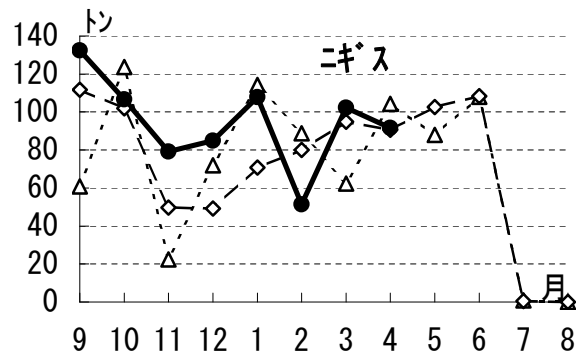
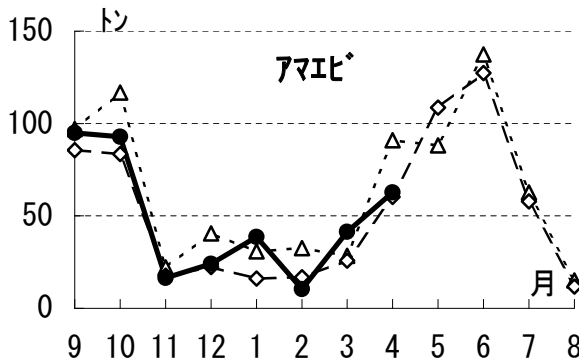


定置網における主要魚種別漁獲量の経月変化

底びき網漁業

	4月漁獲量 (トン)				累計漁獲量(9月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)		本年	平年 (比率)	
延隻数	1,460	1,535 →	1,603 →		10,123	10,536 →	
ハタハタ	203	162 △	168 △		1,416	606 △△	
ニギス	92	104 →	91 →		756	649 →	
アカガレイ	77	75 →	106 ▼		511	556 →	
アマエビ	63	91 ▼	60 →		381	328 →	
ホッケ	53	29 △	20 △△		148	101 △	
マダラ	50	13 △△△	12 △△△		157	61 △△	
アンコウ	20	19 →	18 →		278	262 →	
ヒレゴロ	20	9 △△	14 △		72	68 →	
ソウハチ	15	11 △	15 →		64	74 →	
ガスビ	13	16 ▼	20 ▼		93	122 ▼	
ムシガレイ	12	11 →	9 △		77	72 →	
ヤナギムシガレイ	9	13 ▼	10 →		75	78 →	
マアジ	8	5 △	12 ▼		26	50 ▼	
キダイ	6	4 △	4 △		25	33 ▼	
ウマヅラハギ	6	6 →	6 →		32	41 ▼	
ハツメ	5	5 →	7 ▼		35	43 ▼	
マガレイ	5	5 →	8 ▼		54	70 ▼	
マダイ	4	6 ▼	4 →		26	31 →	
ヒラメ	3	3 →	2 →		12	10 →	
カニ類	2	2 △	3 ▼		24	18 △	
その他	152	92 △	111 △		1,307	1,266 →	
合計	817	679 △	699 →		5,570	4,539 △	
1隻当たり	0.56	0.44 △	0.44 △		0.55	0.43 △	

平年値は過去10年平均



底びき網における主要魚種別漁獲量の経月変化

まき網漁業

	4月漁獲量 (トン)				累計漁獲量(1月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)	本年	平年 (比率)		
延隻数	39	19 △△	42 →	303	303	→	
マダイ	90	24 △△△	14 △△△	94	21 △△△		
マヅ	74	55 △	334 ▼▼	2,258	1,693 △		
マサバ	7	38 ▼▼	223 ▼▼	1,898	2,177 →		
その他	31	15 △△	707 ▼▼	214	1,503 ▼▼		
合計	202	132 △	1,278 ▼▼	4,464	5,394 ▼		
1隻当たり	5	7 ▼	31 ▼▼	15	18 ▼		

平年値は過去10年平均

その他の漁業

	4月漁獲量 (トン)				累計漁獲量(1月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)	本年	平年 (比率)		
刺網漁業							
延隻数	3,680	3,632 →	3,823 →	9,884	9,816	→	
フクラギ	167	85 △	73 △△	600	275 △△		
ガント	26	3 △△△	24 →	44	66 ▼		
ウスハル	25	25 →	39 ▼	38	63 ▼		
ハツメ	19	6 △△△	7 △△	48	23 △△		
ウマヅ ラハギ	10	14 ▼	9 →	45	25 △		
マダイ	6	6 →	6 →	13	14 →		
ミスダコ	5	3 △	6 →	15	22 ▼		
ナマコ類	5	1 △△△	1 △△△	22	7 △△△		
マヅ	4	4 →	5 →	13	11 △		
ソウハチ	4	3 △	1 △△△	7	2 △△△		
その他	80	101 ▼	99 ▼	312	373 →		
合計	353	251 △	271 △	1,157	881 △		
1隻当たり	0.10	0.07 △	0.07 △	0.12	0.09 △		
釣り							
延隻数	849	768 →	790 →	2,044	2,278	→	
ガント	9	10 →	11 →	9	12 ▼		
フクラギ	5	0 △△△	5 →	17	8 △△		
ブリ	4	7 ▼▼	5 ▼	4	5 ▼		
ウスハル	2	2 →	4 ▼▼	5	14 ▼▼		
その他	14	21 ▼	20 ▼	45	62 ▼		
合計	28	31 →	35 ▼	71	82 →		
1隻当たり	0.03	0.04 ▼	0.04 ▼	0.03	0.04 →		
イカ釣り(小型)							
延隻数	21	69 ▼▼	91 ▼▼	85	256 ▼▼		
スルメイカ	2	30 ▼▼	17 ▼▼	16	60 ▼▼		
1隻当たり	0.11	0.43 ▼▼	0.19 ▼	0.19	0.23 ▼		
サヨリ船びき網(蛸島港・鶴飼港・松波港)							
延隻数	81	165 ▼▼	176 ▼▼	194	328 ▼		
サヨリ	4	11 ▼▼	10 ▼▼	12	22 ▼		
1隻当たり	0.05	0.07 ▼	0.06 →	0.06	0.07 →		

※表 (比率) の見方
 ▼▼ ~ 50% △ 120~199%
 ▼ 51~ 83% △△ 200~299%
 → 84~119% △△△ 300~

石川県水産総合センター漁海況情報 第142号

電話：0768-62-1324 <http://www.pref.ishikawa.jp/suisan/center/sigenbu.htm>

本県周辺海域の水深50m水温は、加賀沖で“やや低め”から“かなり低め”、能登半島外浦沖で“平年並み”から“やや低め”、富山湾で“平年並み”。定置網ではマアジが平年並み、サワラ、フクラギは平年をかなり上回った。底びき網ではアマエビ、ハタハタが平年並み、ニギスは平年をやや下回った。小型いか釣りではスルメイカが平年をやや下回った。

1 水温の状況 - 6月定線観測結果 -

- (1) 本県周辺の水深50m水温は13～14℃台を示し、加賀沖では“やや低め”から“かなり低め”(0～1℃低め)、能登半島外浦沖では“平年並み”から“やや低め”(0～1℃低め)、富山湾では“平年並み”の水温分布を示しています。
- (2) 表面水温は17～19℃台を示し、加賀沖では“平年並み”から“やや高め”(0～1℃高め)、能登半島外浦沖では“平年並み”から“やや低め”(0～1℃低め)、富山湾では“平年並み”の水温分布を示しています。
- (3) 能登半島西方沖では、冷水域が平年よりかなり岸寄りに分布しています。
- (4) 対馬暖流域全体の水深50m水温分布を見ると、日本海西部・北部沿岸域とも概ね“平年並み”の海域が広がっています。



2 漁獲の動向 — 5月の漁獲量から —

【定置網】

主要10港合計は**2,282トン**で、**平年（過去10カ年平均）並みの漁獲量**でした。最も多く漁獲されたのはマアジの577トンで、平年並みでした。サワラ（サゴシを含む）は271トン、フクラギは241トンで、いずれも平年をかなり上回りました。

【底びき網】

主要10港合計は**598トン**で、**平年をやや下回る漁獲量**でした。最も多く漁獲されたのはアマエビの117トンで、平年並みでした。ハタハタは96トンで平年並みでした。ニギスは70トン、アカガレイは65トンで、いずれも平年をやや下回りました。

【まき網】

主要10港合計は**259トン**で、**平年をかなり下回る漁獲量**でした。最も多く漁獲されたのはマアジの168トンで、平年をやや下回りました。マサバは55トンで平年をやや下回りました。

【刺網】

主要10港合計は**135トン**で、**平年をやや下回る漁獲量**でした。最も多く漁獲されたのはウスメバルの16トンで、平年をかなり下回りました。サザエは15トン、マダイは10トンで、いずれも平年をやや下回りました。

【釣り】

釣りの主要10港合計は**49トン**で、**平年をやや下回る漁獲量**でした。最も多く漁獲されたのはガンドの14トンで、平年をやや上回りました。マダイは9トンで平年をやや下回りました。

いか釣り（小型）の主要10港合計は**627トン**で、**平年をやや下回る漁獲量**でした。

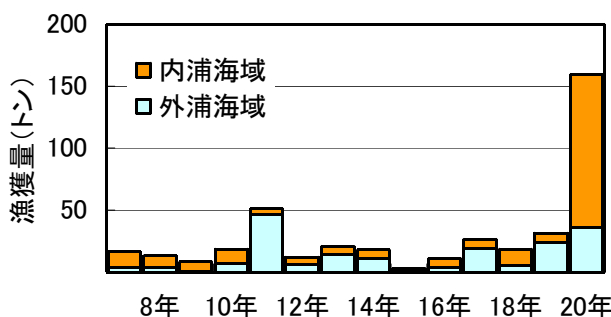
■■ クロマグロ春漁期の水揚げ状況（6月の速報値） ■■

6月に入り石川県沿岸ではクロマグロの好漁が続きました。6月上旬には輪島支所の定置網や中型まき網で、中旬には能都支所や七尾地区の定置網でまとまった水揚げがみられました。

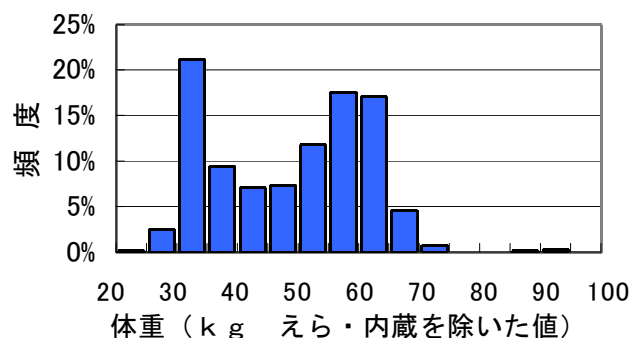
県内主要港の定置網漁業による5月1日～6月22日までの漁獲量は160トンで、平年を大幅に上回りました（平年比754%）。海域別にみると、外浦地区が36トン（平年比261%）、内浦地区が124トン（平年比1669%）で、内浦海域で特に好調となっています。

この他、輪島支所の中型まき網でも好漁となっており、漁獲量は94トンと、平年を大幅に上回りました（平年比1537%）。

6月中旬に能都支所の定置網で漁獲されたクロマグロの体重（内臓除去後）は、50～60kg台が主体で、30kg台もみられました。50～60kg台の群れは平成16年生まれが主体と思われ、この群れは、これまでも大・中型まき網等でまとまって漁獲されており、資源水準はかなり高いと考えられます。



定置網漁業の年別漁獲量（5月1日～6月22日）



大型定置網漁業で漁獲されたクロマグロの体重組成（6月中旬 宇出津港）

漁獲量統計 (橋立港、金沢港、富来港、輪島港、蛸島港、鶴飼港、松波港、宇出津港、七尾地区)

定置網漁業

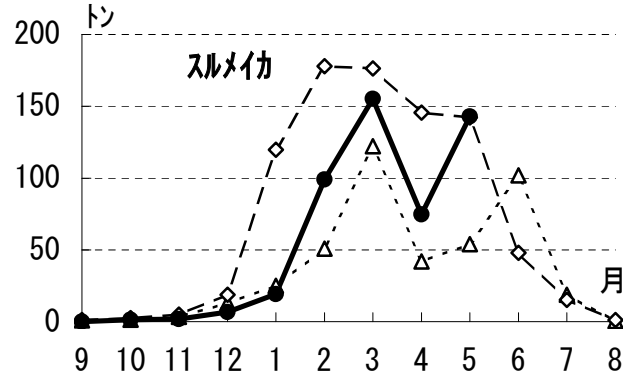
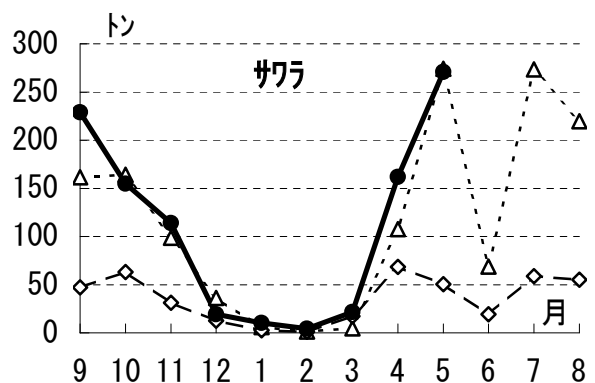
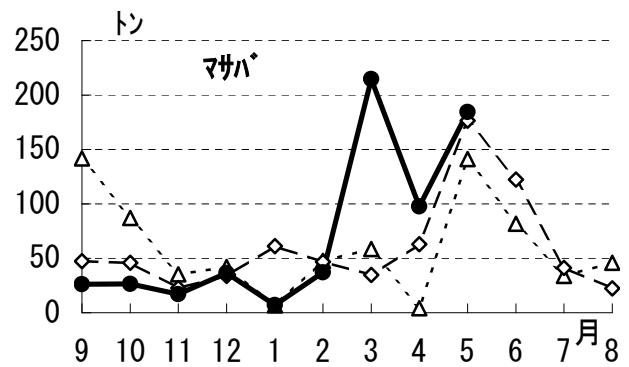
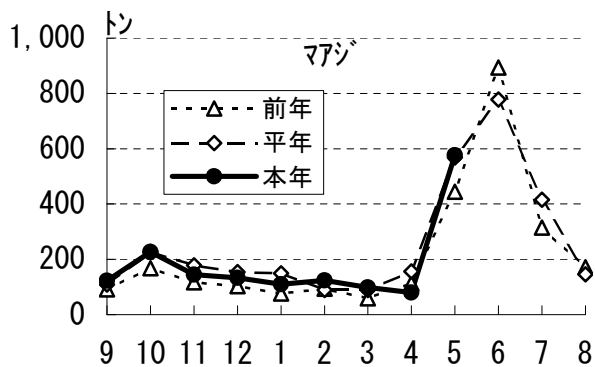
	5月漁獲量 (トン)			累計漁獲量(9月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)	本年	平年 (比率)	
延統数	1,983	1,917 →	2,164 →	13,306	14,603 →	
マアジ	577	444 △	568 →	1,615	1,718 →	
サワラ	271	274 →	51 △△△	986	294 △△△	
フクラギ	241	67 △△△	88 △△	948	723 △	
マサバ	184	141 △	176 →	646	532 △	
マダイ	177	45 △△△	72 △△	277	146 △	
カタチイワシ	171	368 ▼▼	413 ▼▼	2,041	2,199 →	
スルメイカ	143	54 △△	142 →	501	789 ▼	
マイワシ	134	32 △△△	87 △	472	434 →	
ガント	83	1 △△△	44 △	132	118 →	
ブリ	64	48 △	53 △	293	438 ▼	
ウルメイワシ	41	92 ▼▼	52 ▼	174	358 ▼▼	
ウマヅラハギ	27	13 △△	62 ▼▼	177	551 ▼▼	
トビウオ類	16	23 ▼	10 △	16	13 △	
クロマグロ	11	13 ▼	5 △△	13	7 △	
メジ	4	9 ▼▼	8 ▼	137	74 △	
その他	138	141 →	162 →	2,946	2,265 △	
合計	2,282	1,764 △	1,993 →	11,374	10,656 →	
1隻当たり	1.15	0.92 △	0.92 △	0.85	0.73 →	

平年値は過去10年平均
単位：トン

他府県漁獲状況 (5月：定置網)

	フクラギ	サワラ	アジ類	カタチイワシ	ブリ、ガント	マサバ	フグ類	マダイ
舞鶴	397.8	90.3	87.7	51.9	39.0	12.5	0.0	0.9
氷見	30.3	311.8	117.9	26.3	33.8	29.1	25.1	8.2

各府県水試調べによる (速報値)

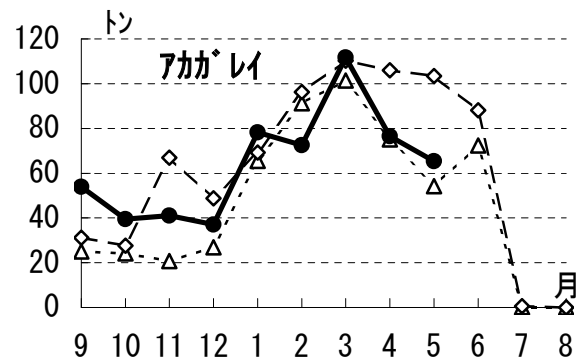
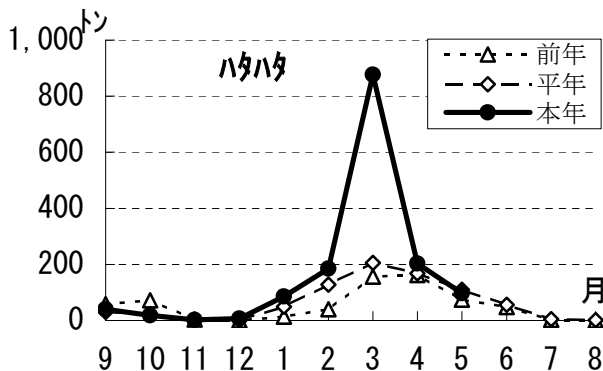
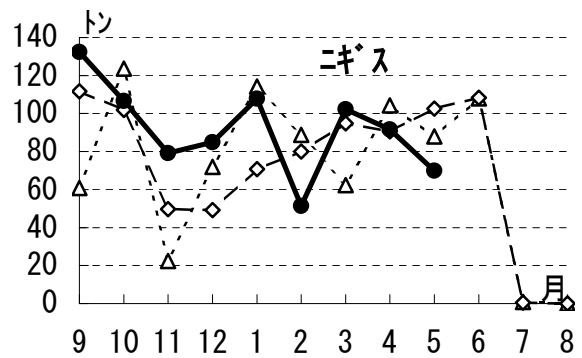
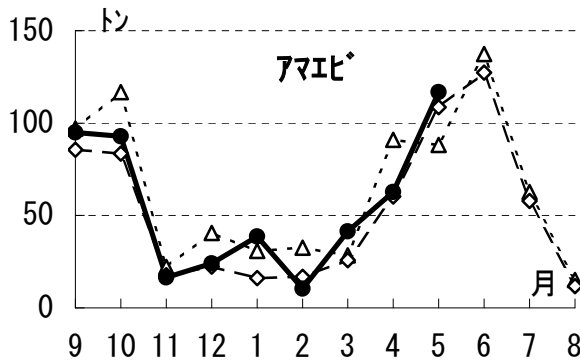


定置網における主要魚種別漁獲量の経月変化

底びき網漁業

	5月漁獲量 (トン)				累計漁獲量(9月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)		本年	平年 (比率)	
延隻数	1,302	1,401 →	1,783 ▼		11,425	12,318 →	
アマエビ	117	88 △	109 →		498	436 →	
ハタハタ	96	74 △	109 →		1,513	715 △△	
ニギス	70	88 ▼	103 ▼		826	751 →	
アカガレイ	65	54 △	103 ▼		576	660 →	
ホッケ	45	77 ▼	44 →		193	145 △	
マダラ	22	16 △	14 △		179	75 △△	
ガスエビ	18	10 △	17 →		111	139 ▼	
ムシガレイ	12	14 →	12 →		89	83 →	
マガレイ	10	20 ▼	16 ▼		65	87 ▼	
ヤナギムシガレイ	10	18 ▼	18 ▼		85	96 →	
ソウハチ	9	14 ▼	18 ▼		74	92 ▼	
ウマヅラハギ	9	7 △	9 →		41	49 →	
アンコウ	8	17 ▼▼	15 ▼		287	277 →	
キダイ	6	4 △	7 →		31	39 ▼	
ヒレグロ	6	9 ▼	11 ▼		79	79 →	
マダイ	3	7 ▼▼	4 ▼		30	36 ▼	
ハツメ	3	30 ▼▼	16 ▼▼		38	59 ▼	
ヒラメ	2	3 ▼	2 →		14	12 →	
マアジ	2	2 →	3 ▼		27	53 ▼	
カニ類	1	1 △	2 ▼		25	20 △	
その他	82	86 →	106 ▼		1,389	1,372 →	
合計	598	639 →	737 ▼		6,168	5,276 →	
1隻当たり	0.46	0.46 →	0.41 →		0.54	0.43 △	

平年値は過去10年平均



底びき網における主要魚種別漁獲量の経月変化

まき網漁業

	5月漁獲量 (トン)			累計漁獲量(1月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)	本年	平年 (比率)	
延隻数	14	19 ▼	45 ▼▼	317	219	△
マヅ	168	54 △△△	318 ▼	2,426	2,012	△
マサバ	55	299 ▼▼	88 ▼	1,953	2,265	→
マダイ	26	7 △△△	65 ▼▼	120	86	△
その他	10	56 ▼▼	259 ▼▼	224	1,762	▼▼
合計	259	415 ▼	731 ▼▼	4,723	6,125	▼
1隻当たり	18	22 →	16 →	15	28	▼

平年値は過去10年平均

その他の漁業

	5月漁獲量 (トン)			累計漁獲量(1月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)	本年	平年 (比率)	
刺網漁業						
延隻数	4,074	4,147 →	5,704 ▼	13,958	15,520	→
ウスハル	16	13 △	38 ▼▼	54	101	▼
サエ	15	19 ▼	19 ▼	22	24	→
ウマヅラハギ	11	18 ▼	19 ▼	55	43	△
マダイ	10	9 △	16 ▼	23	30	▼
フクラギ	9	15 ▼	15 ▼	608	290	△△△
ハツメ	7	4 △	8 ▼	54	31	△
ガンド	5	4 △	6 →	49	71	▼
ミスダコ	4	3 △	6 ▼	19	28	▼
ヒラメ	4	3 △	3 →	10	9	→
マヅ	3	3 →	4 ▼	16	15	→
その他	52	64 ▼	83 ▼	381	454	→
合計	135	153 →	216 ▼	1,292	1,096	→
1隻当たり	0.03	0.04 →	0.04 →	0.09	0.07	△
釣り						
延隻数	1,337	947 △	1,535 →	3,381	3,812	→
ガンド	14	0 △△△	11 △	24	23	→
マダイ	9	16 ▼	13 ▼	10	15	▼
フクラギ	9	4 △	9 →	25	17	△
ブリ	7	0 △△△	4 △	11	9	△
その他	26	15 △	41 ▼	86	109	▼
合計	49	31 △	65 ▼	120	147	▼
1隻当たり	0.04	0.03 →	0.04 →	0.04	0.04	→
イカ釣り(小型)						
延隻数	1,903	1,998 →	2,391 ▼	2,391	2,647	→
スルメイカ	627	858 ▼	1,241 ▼	644	1,301	▼▼
1隻当たり	0.33	0.43 ▼	0.52 ▼	0.27	0.49	▼
サヨリ船びき網(蛸島港・鶴飼港・松波港)						
延隻数	59	79 ▼	99 ▼	253	428	▼
サヨリ	4	6 ▼	7 ▼	15	29	▼
1隻当たり	0.06	0.07 →	0.07 →	0.06	0.07	→

※表(比率)の見方
 ▼▼ ~ 50% △ 120~199%
 ▼ 51~ 83% △△ 200~299%
 → 84~119% △△△ 300~

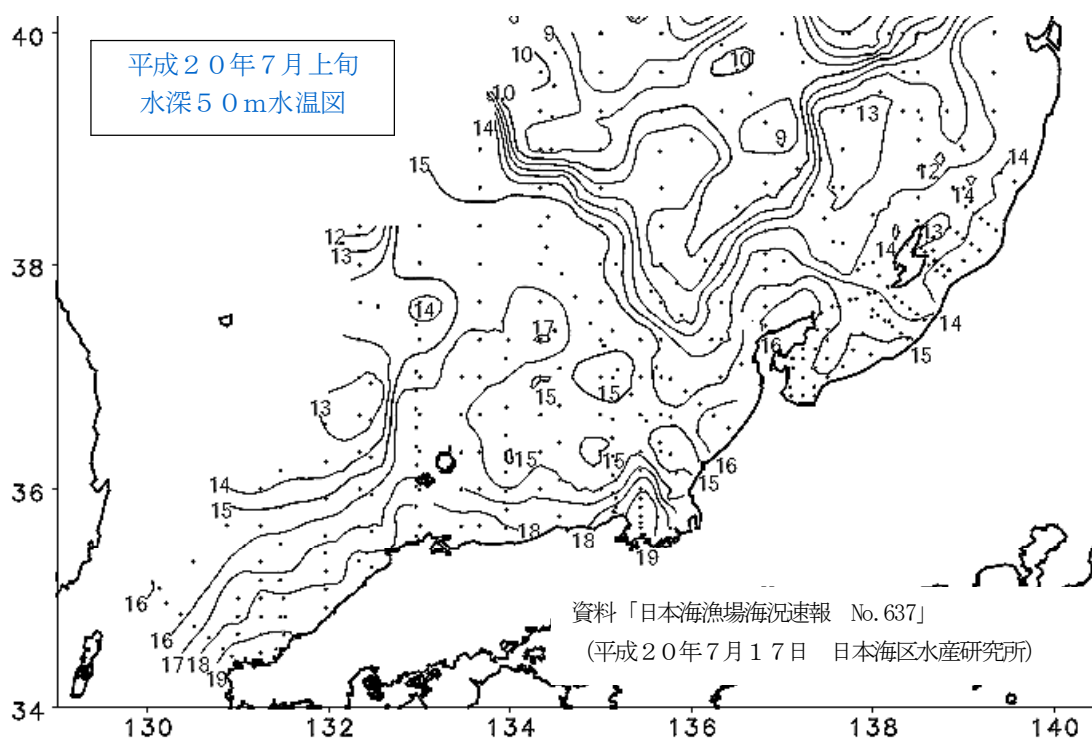
石川県水産総合センター漁海況情報 第143号

電話：0768-62-1324 <http://www.pref.ishikawa.jp/suisan/center/sigenbu.htm>

本県周辺海域の水深50m水温は、加賀沖及び能登半島西方沖で“やや低め”から“かなり低め”、能登半島北方沖で“平年並み”、富山湾で“やや低め”から“かなり低め”。定置網ではマアジが平年をかなり下回り、クロマグロが平年をかなり上回った。底びき網ではアマエビが平年並み、ハタハタが平年をやや上回った。小型いか釣りではスルメイカが平年をやや下回った。

1 水温の状況 — 7月定線観測結果 —

- (1) 本県周辺の水深50m水温は13～16℃台を示し、加賀沖及び能登半島西方沖では“やや低め”から“かなり低め”(1～2℃低め)、能登半島北方沖では“平年並み”、富山湾では“やや低め”から“かなり低め”(1～2℃低め)の水温分布を示しています。
- (2) 表面水温は20～22℃台を示し、加賀沖及び能登半島西方沖では“やや低め”から“かなり低め”(0～1℃低め)、能登半島北方沖では“平年並み”から“やや高め”(0～1℃高め)、富山湾では“やや高め”から“かなり高め”(1～2℃高め)の水温分布を示しています。
- (3) 加賀沖及び能登半島西方沖では、冷水域が平年よりやや岸寄りに分布しています。



「平成20年度第2回日本海海況予報（平成20年7月4日）」の概要

日本海沿岸の道府県水産研究機関と水産総合研究センター日本海区水産研究所が検討してとりまとめた日本海海況予報が以下のとおり発表されました。

今後の見通し（2008年7月～9月）

- (1) 隠岐諸島北東の暖水域は、徐々に北東に移動する。但馬沖の暖水域は、東に移動した後、隠岐諸島北東の暖水域と合体する。佐渡島沖の暖水域は、北東に移動する。
- (2) 山陰・若狭沖の冷水域の張り出しは、やや弱い。佐渡島沖の冷水域は、弱い。
- (3) 対馬暖流域の表面水温は、“平年並み”で経過する。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、日本海西部では“平年並み”、北部では“やや高め”で経過する。

2 漁獲の動向 — 6月の漁獲量から —

【定置網】

主要10港合計は**1,313トン**で、**平年（過去10年平均）並みの漁獲量**でした。最も多く漁獲されたのはマアジの322トンで、平年をかなり下回りました。クロマグロは141トンで平年をかなり上回りました。6月上旬から中旬にかけて県内全域で好漁が続き、特に県漁協能都支所管内が62トン、七尾地区が58トンと好調でした。クロマグロの体重（内臓除去後）は50～60kg台が主体で、30kg台もみられました。ガンドは116トン、サワラ（サゴシを含む）は100トンで、いずれも平年をかなり上回りました。

【底びき網】

主要10港合計は**882トン**で、**平年をやや上回る漁獲量**でした。最も多く漁獲されたのはアマエビの142トンで、平年並みでした。ハタハタは107トンで平年をやや上回りました。ニギスは105トン、アカガレイは84トンで、いずれも平年並みでした。

【まき網】

主要10港合計は**421トン**で、**平年をやや下回る漁獲量**でした。最も多く漁獲されたのはマアジの206トンで、平年並みでした。クロマグロは160トンで平年をかなり上回りました。クロマグロの体重（内臓除去後）は30kg台が主体で、50kg台もみられました。

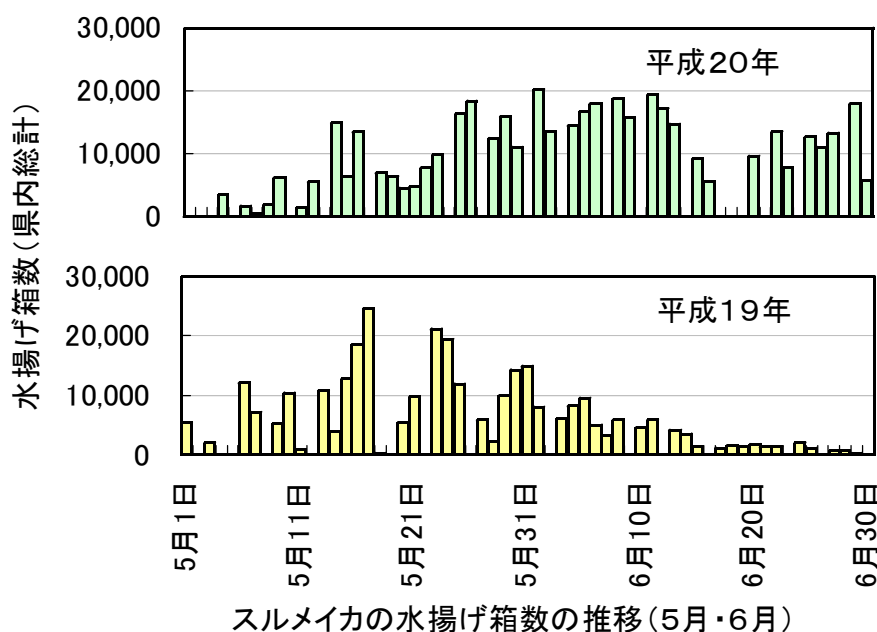
【刺網】

主要10港合計は**167トン**で、**平年並みの漁獲量**でした。最も多く漁獲されたのはサザエの37トンで、平年並みでした。ウスメバル（やなぎばちめ）は21トンで平年並みでした。ハツメ（あからばちめ）は13トンで平年をやや上回りました。

【釣り】

釣りの主要10港合計は**43トン**で、**平年をやや下回る漁獲量**でした。最も多く漁獲されたのはマダイの20トンで、平年をやや上回りました。フクラギは2トンで平年並みでした。

いか釣り（小型）の主要10港合計は**736トン**で、**平年をやや下回る漁獲量**でした。5月の漁獲量は漁期が例年より半月ほど遅れたことなどから、平年の50%と不調でしたが、6月の漁獲量は漁期が比較的長く続いたことから平年の75%となりました。



漁獲量統計 (橋立港、金沢港、富来港、輪島港、蛸島港、鶴飼港、松波港、宇出津港、七尾地区)

定置網漁業

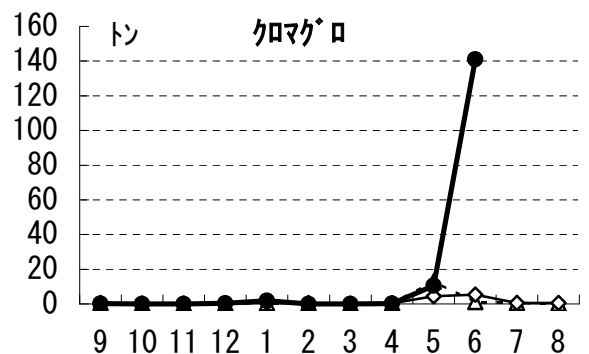
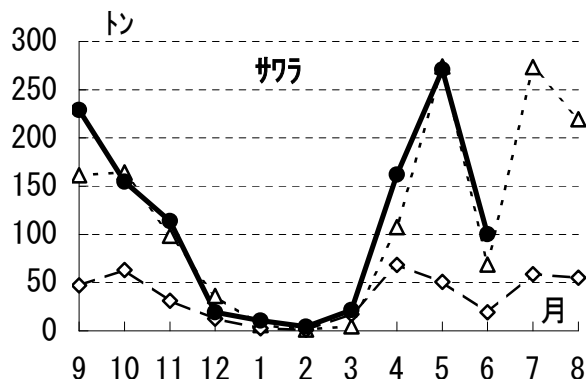
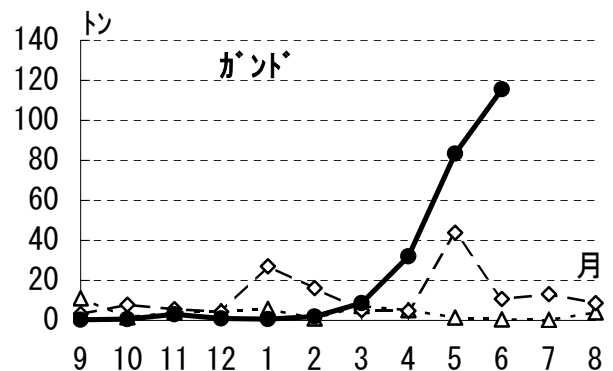
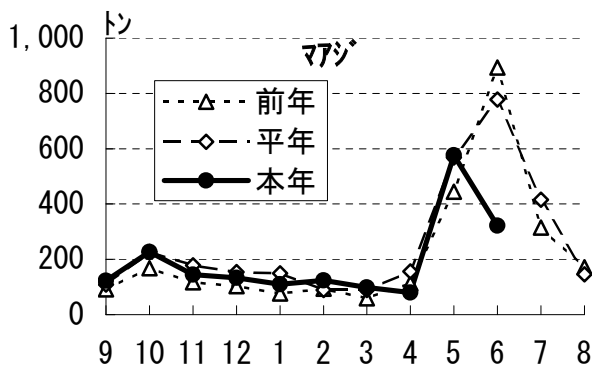
	6月漁獲量 (トン)			累計漁獲量(9月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)	本年	平年 (比率)	
延統数	1,919	1,929 →	2,062 →	15,225	16,665 →	
マヅ	322	894 ▼▼	778 ▼▼	1,937	2,496 ▼	
トビウオ類	187	103 △	128 △	204	141 △	
クロマグロ	141	1 △△△	5 △△△	154	12 △△△	
ガント	116	1 △△△	11 △△△	247	129 △	
サワ	100	69 △	19 △△△	1,086	313 △△△	
フナギ	93	44 △△	47 △	1,040	770 △	
ブリ	76	41 △	31 △△	370	469 ▼	
マダイ	51	14 △△△	25 △△	328	171 △	
スルメイカ	34	102 ▼▼	48 ▼	535	837 ▼	
マサバ	32	82 ▼▼	122 ▼▼	678	654 →	
カタクチイワシ	19	41 ▼▼	21 →	2,060	2,220 →	
メジ	9	8 →	4 △△	146	78 △	
アカマス	9	9 →	5 △	256	241 →	
マイワシ	7	3 △△	6 →	479	440 →	
ウマヅラハギ	5	4 △	13 ▼▼	182	564 ▼▼	
その他	113	129 →	149 ▼	2,985	2,535 →	
合計	1,313	1,544 →	1,413 →	12,688	12,069 →	
1隻当たり	0.68	0.80 →	0.69 →	0.83	0.72 →	

平年値は過去10年平均
単位：トン

他府県漁獲状況 (6月：定置網)

	アジ類	サワ	カタクチイワシ	フナギ	トビウオ	ブリ、ガント	クロ、メジ類	フグ類
舞鶴	312.7	35.4	101.9	75.0	72.1	17.4	4.4	0.0
氷見	9.7	78.0	0.3	6.7	0.1	6.9	17.5	21.5

各府県水試調べによる (速報値)

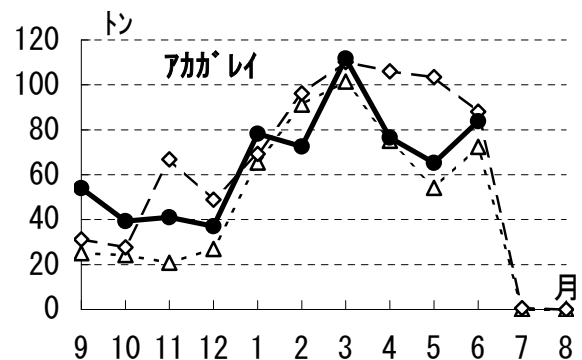
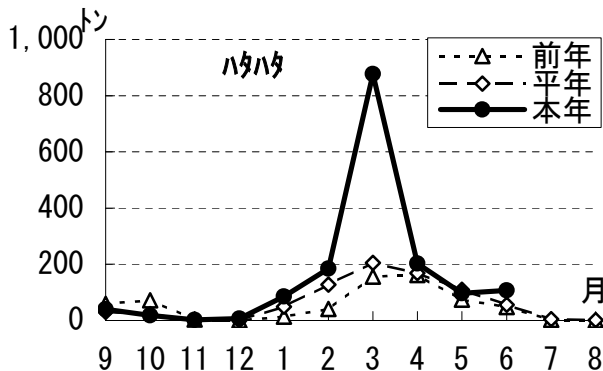
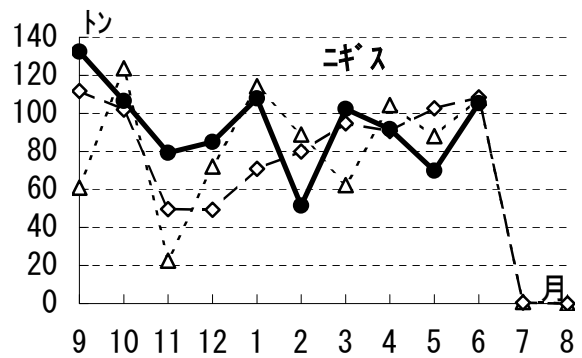
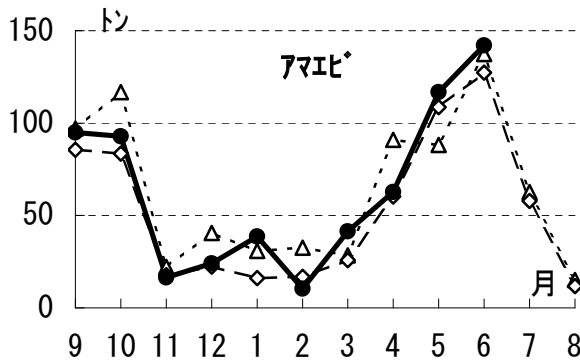


定置網における主要魚種別漁獲量の経月変化

底びき網漁業

	6月漁獲量 (トン)			累計漁獲量(9月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)	本年	平年 (比率)	
延隻数	1,658	1,785 →	1,799 →	13,083	14,117 →	
アマビ	142	137 →	127 →	640	564 →	
ホッケ	126	100 △	53 △△	319	198 △	
ハタハタ	107	47 △△	56 △	1,620	772 △△	
ニギス	105	108 →	108 →	932	860 →	
アカガレイ	84	72 →	88 →	660	748 →	
マダラ	79	14 △△△	11 △△△	258	86 △△	
ヤナギムシガレイ	21	26 ▼	23 →	107	119 →	
マガレイ	20	37 ▼	26 ▼	85	113 ▼	
ムシガレイ	17	21 →	15 →	107	98 →	
ウマヅラハギ	16	8 △	8 △	57	57 →	
ガスビ	13	8 △	10 △	124	149 →	
ソウハチ	10	14 ▼	20 ▼	84	112 ▼	
アンコウ	9	17 ▼	13 ▼	296	290 →	
ヒレゴロ	8	10 →	10 ▼	87	89 →	
ハツメ	7	13 ▼	12 ▼	45	72 ▼	
マコガレイ	7	5 △	4 △	19	25 ▼	
キダイ	6	5 →	8 ▼	37	47 ▼	
マダイ	3	7 ▼▼	4 ▼	33	40 ▼	
カニ類	2	2 ▼	2 →	26	22 △	
チダイ	2	3 ▼	2 ▼	11	16 ▼	
その他	98	108 →	103 →	1,506	1,505 →	
合計	882	763 →	704 △	7,051	5,980 →	
1隻当たり	0.53	0.43 △	0.39 △	0.54	0.42 △	

平年値は過去10年平均



底びき網における主要魚種別漁獲量の経月変化

まき網漁業

	6月漁獲量(トン)			累計漁獲量(1月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)	本年	平年 (比率)	
延隻数	34	27 △	45 ▼	351	265 △	
マヅ	206	243 →	192 →	2,632	2,204 →	
カマガロ	160	38 △△△	15 △△△	160	15 △△△	
ブリ	18	2 △△△	8 △△	18	94 ▼▼	
その他	38	108 ▼▼	307 ▼▼	2,335	4,334 ▼	
合計	421	392 →	522 ▼	5,144	6,648 ▼	
1隻当たり	12	15 →	12 →	15	25 ▼	

平年値は過去10年平均

その他の漁業

	6月漁獲量(トン)			累計漁獲量(1月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)	本年	平年 (比率)	
刺網漁業						
延隻数	5,269	5,992 →	6,166 →	19,227	21,686 →	
サエ	37	56 ▼	42 →	59	66 →	
ウスバル	21	13 △	24 →	75	124 ▼	
ハツメ	13	8 △	9 △	67	40 △	
ウマヅラハギ	13	22 ▼	20 ▼	68	63 →	
アマダイ類	7	15 ▼▼	12 ▼	11	21 ▼	
フクラギ	5	8 ▼	7 ▼	614	297 △△	
キダイ	5	7 ▼	7 ▼	8	15 ▼	
マダイ	5	7 ▼	6 ▼	28	36 ▼	
マダコ	5	6 ▼	7 ▼	14	19 ▼	
ヒゲウチ類	4	2 △	9 ▼▼	4	9 ▼▼	
その他	53	58 →	57 →	511	605 →	
合計	167	203 ▼	199 →	1,459	1,295 →	
1隻当たり	0.03	0.03 →	0.03 →	0.08	0.06 △	
釣り						
延隻数	1,423	1,611 →	1,735 ▼	4,804	5,547 →	
マダイ	20	10 △	15 △	30	30 →	
フクラギ	2	4 ▼	2 →	28	19 △	
ガンド	2	0 △△△	2 △	26	24 →	
ウスバル	2	2 ▼	4 ▼▼	7	22 ▼▼	
好ウチ	2	2 ▼	2 →	2	2 →	
その他	16	17 →	42 ▼▼	71	116 ▼	
合計	43	36 →	67 ▼	163	213 ▼	
1隻当たり	0.03	0.02 △	0.04 ▼	0.03	0.04 →	
イカ釣り(小型)						
延隻数	1,710	1,066 △	1,774 →	3,698	4,421 →	
スルメイカ	736	264 △△	981 ▼	1,380	2,282 ▼	
1隻当たり	0.43	0.25 △	0.55 ▼	0.37	0.52 ▼	

※表(比率)の見方

▼▼ ~ 50% △ 120~199%
 ▼ 51~ 83% △△ 200~299%
 → 84~119% △△△ 300~

本県周辺海域の水深50m水温は、加賀沖及び能登半島西方沖で“やや低め”から“かなり低め”、能登半島北方沖で“平年並み”から“やや高め”、富山湾で“平年並み”から“やや低め”。

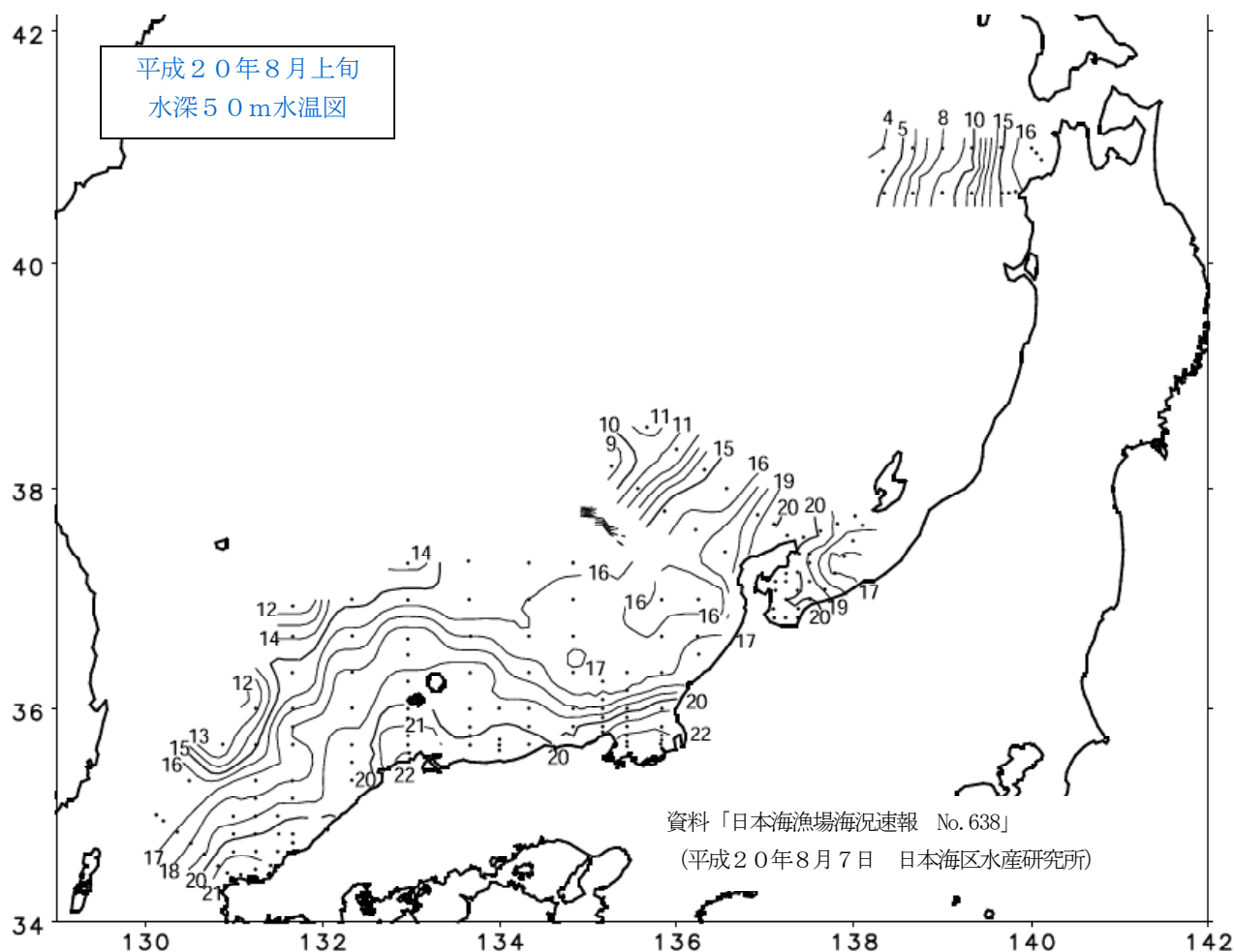
定置網ではマアジが平年をやや下回り、ガンドが平年をかなり上回った。

まき網ではマイワシ・クロマグロ・ブリ・ガンドが平年をかなり上回った。

小型いか釣りではスルメイカが平年をかなり上回った。

1 水温の状況 - 8月定線観測結果 -

- (1) 本県周辺の水深50m水温は16～20℃台を示し、加賀沖及び能登半島西方沖では“やや低め”から“かなり低め”（1～2℃低め）、能登半島北方沖では“平年並み”から“やや高め”（0～1℃高め）、富山湾では“平年並み”から“やや低め”（0～1℃低め）の水温分布を示しています。
- (2) 表面水温は25～27℃台を示し、加賀沖及び能登半島沖では“やや高め”から“かなり高め”（1～2℃高め）、富山湾では“平年並み”から“やや高め”（0～1℃高め）の水温分布を示しています。
- (3) 能登半島西方沖では、冷水域が平年よりやや岸寄りに分布しています。



2 漁獲の動向 — 7月の漁獲量から —

【定置網】

主要10港合計は**746トン**で、**平年（過去10カ年平均）をやや下回る漁獲量**でした。
最も多く漁獲されたのはマアジの264トンで、平年をやや下回りました。
トビウオ類は121トンで平年並みでした。サワラ（サゴシを含む。）は64トンで平年並みでしたが、昨年をかなり下回りました。
ガンドは56トンで平年をかなり上回りました。

【まき網】

主要10港合計は**1,153トン**で、**平年をかなり上回る漁獲量**でした。
最も多く漁獲されたのはマイワシの704トンで、平年をかなり上回りました。
ブリは79トン、ガンドは107トンで、いずれも平年をかなり上回りました。
クロマグロは105トンで平年をかなり上回りました。

【刺網】

主要10港合計は**216トン**で、**平年並みの漁獲量**でした。
最も多く漁獲されたのはサザエの55トンで、平年並みでした。
アカガレイは21トンで平年をかなり上回りました。
ハツメ（あからばちめ）は18トンで平年をやや上回りました。

【釣り】

釣りの主要10港合計は**36トン**で、**平年をやや下回る漁獲量**でした。
最も多く漁獲されたのはマダイの3トンで、平年をやや下回りました。
ウスメバル（やなぎばちめ）は2トンで平年をかなり下回りました。

いか釣り（小型）の主要10港合計は**512トン**で、**平年をかなり上回る漁獲量**でした。

漁獲量統計 (橋立港、金沢港、富来港、輪島港、蛸島港、鵜飼港、松波港、宇出津港、七尾地区)

定置網漁業

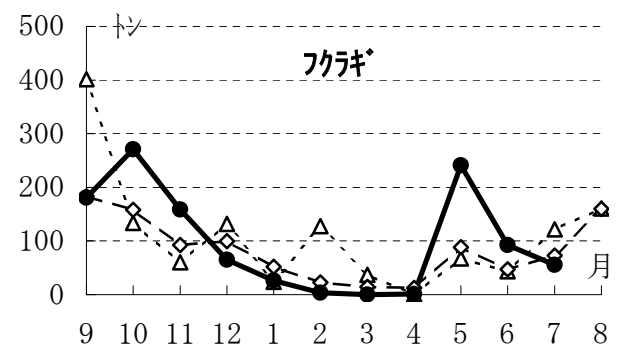
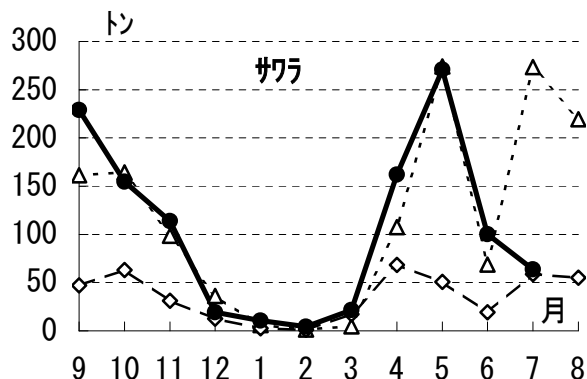
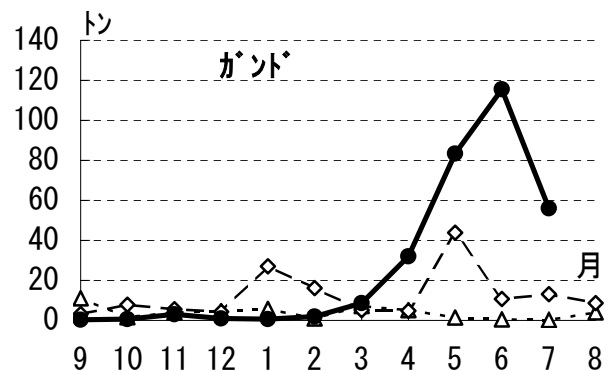
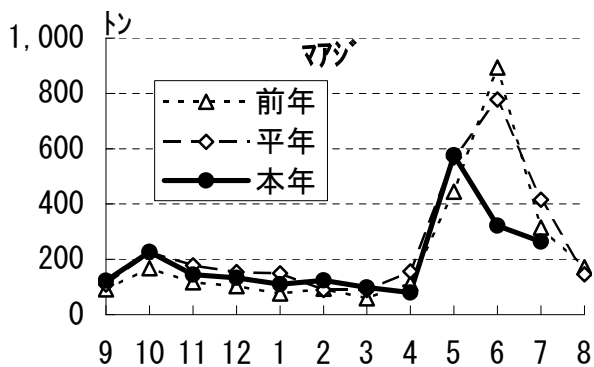
	7月漁獲量 (トン)			累計漁獲量(9月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)	本年	平年 (比率)	
延統数	1,741	1,759 →	1,901 →	16,966	18,566 →	
マヅ	264	314 →	415 ▼	2,201	2,911 ▼	
トビウオ類	121	76 △	116 →	324	257 △	
サワ	64	273 ▼▼	59 →	1,150	372 △△△	
ガント	56	0 △△△	13 △△△	303	142 △△	
フナギ	55	121 ▼▼	73 ▼	1,096	842 △	
カタチイワシ	41	189 ▼▼	63 ▼	2,101	2,282 →	
マダイ	27	18 △	18 △	355	189 △	
マサバ	22	34 ▼	41 ▼	700	695 →	
スルメイカ	17	19 →	15 →	552	852 ▼	
シラ	10	16 ▼	10 →	226	314 ▼	
ウマヅラハギ	6	10 ▼	12 ▼▼	188	576 ▼▼	
マダコ	4	2 △	2 △△	21	12 △	
マイワシ	3	72 ▼▼	10 ▼▼	482	451 →	
ブリ	3	6 ▼▼	6 ▼▼	372	475 ▼	
ヒラメ	2	3 ▼	2 ▼	21	14 △	
その他	52	123 ▼▼	90 ▼	3,343	2,632 △	
合計	746	1,278 ▼	946 ▼	13,434	13,015 →	
1隻当たり	0.43	0.73 ▼	0.50 →	0.79	0.70 →	

平年値は過去10年平均
単位：トン

他府県漁獲状況 (7月：定置網)

	アジ類	サワ	カタチイワシ	トビウオ	フナギ	サバ類	マダイ	スズキ
舞鶴	54.3	92.5	78.8	59.0	17.7	5.8	0.9	7.9
氷見	78.3	21.2	26.9	19.1	6.2	3.2	8.0	0.0

各府県水試調べによる (速報値)



定置網における主要魚種別漁獲量の経月変化

まき網漁業

	7月漁獲量(トン)				累計漁獲量(1月より)			
	本年	前年	(比率)	平年	(比率)	本年	平年	(比率)
延隻数	76	60	△	50	△	427	316	△
マイヅ	704	210	△△△	142	△△△	706	1,199	▼
ガンド	107	0	--	10	△△△	121	190	▼
コマグロ	105	0	--	45	△△	265	60	△△△
ブリ	79	100	▼	15	△△△	97	109	→
その他	237	562	▼▼	336	▼	5,206	5,732	→
合計	1,153	772	△	533	△△	6,298	7,181	→
1隻当たり	15	13	→	11	△	15	23	▼

平年値は過去10年平均

その他の漁業

	7月漁獲量(トン)				累計漁獲量(1月より)			
	本年	前年	(比率)	平年	(比率)	本年	平年	(比率)
刺網漁業								
延隻数	6,067	6,115	→	6,210	→	25,294	27,896	→
サエ	55	52	→	52	→	114	117	→
アカレイ	21	7	△△	4	△△△	60	47	△
ハツメ	18	4	△△△	10	△	85	50	△
ウマヅラハギ	16	10	△	19	→	84	82	→
フクラギ	11	2	△△△	3	△△△	625	300	△△
アマダイ類	10	19	▼	15	▼	21	35	▼
キダイ	10	11	→	9	→	18	24	▼
ウスハル	8	2	△△△	10	▼	83	134	▼
チダイ	7	6	△	5	△	12	12	→
マダコ	5	8	▼	7	▼	19	26	▼
その他	55	60	→	67	▼	554	668	▼
合計	216	180	→	201	→	1,675	1,496	→
1隻当たり	0.04	0.03	△	0.03	→	0.07	0.05	△
釣り								
延隻数	1,357	1,703	▼	1,694	▼	6,161	7,241	→
マダイ	3	11	▼▼	5	▼	33	35	→
ウスハル	2	1	△△	5	▼▼	10	27	▼▼
フクラギ	2	2	→	1	△	30	20	△
ホッケ	2	10	▼▼	4	▼▼	2	11	▼▼
マヅ	1	1	△	1	△	3	2	△
その他	26	23	→	52	▼▼	121	185	▼
合計	36	47	▼	68	▼	199	281	▼
1隻当たり	0.03	0.03	→	0.04	▼	0.03	0.04	→
イカ釣り(小型)								
延隻数	806	150	△△△	334	△△	4,504	4,755	→
スルメイカ	512	6	△△△	200	△△	1,892	2,482	▼
1隻当たり	0.64	0.04	△△△	0.60	→	0.42	0.52	▼

※表(比率)の見方

▼▼ ~ 50% △ 120~199%
 ▼ 51~ 83% △△ 200~299%
 → 84~119% △△△ 300~

本県周辺海域の水深50m水温は、加賀沖及び能登半島西方沖で“かなり低め”から“はなはだ低め”、能登半島北方沖で“やや低め”から“かなり低め”、富山湾で“平年並み”。

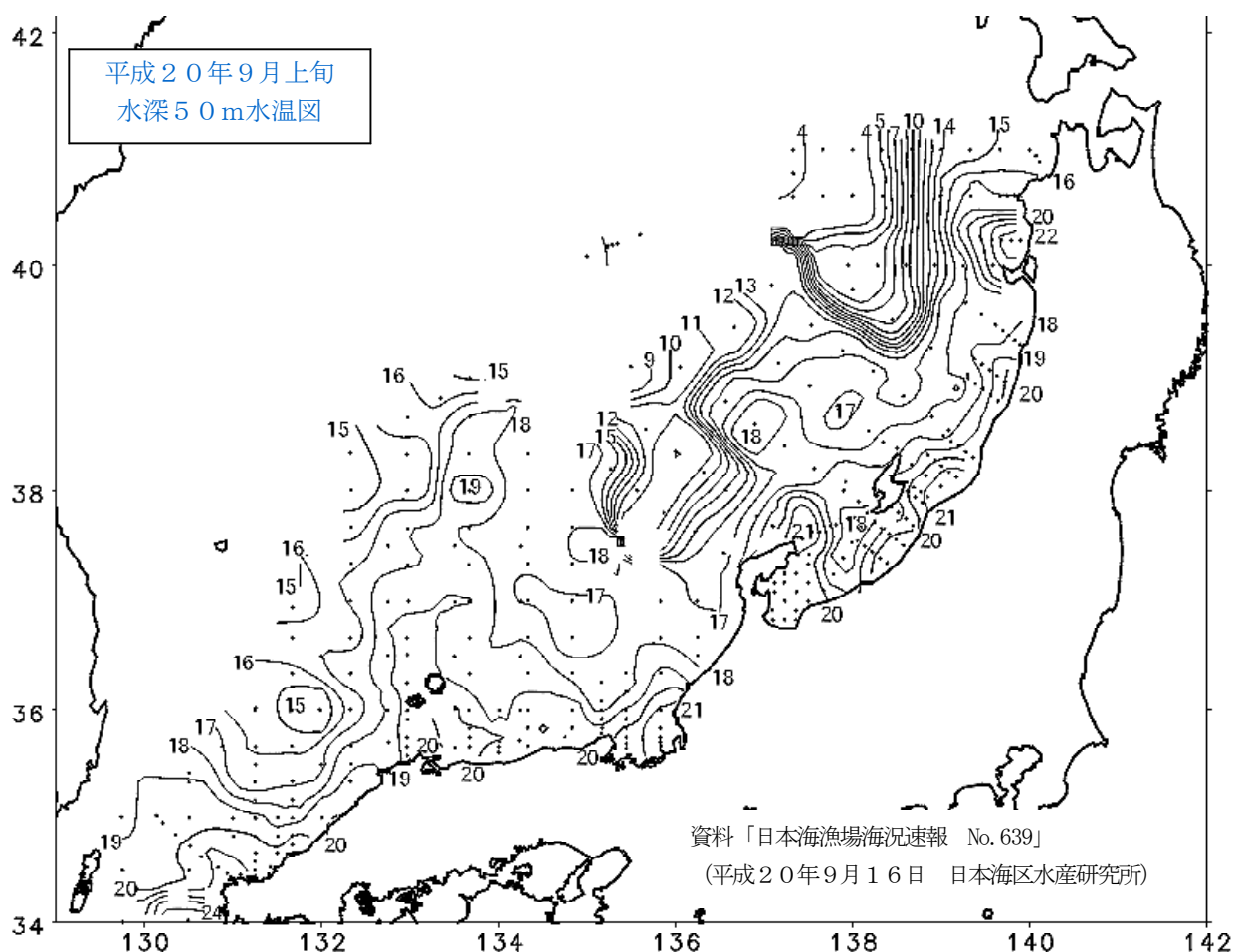
定置網ではフクラギが平年をやや下回った。サワラは平年をやや上回ったが、好漁であった昨年をかなり下回った。

まき網ではガンド・ウルメイワシが平年をかなり上回った。

刺し網ではサザエが平年をやや下回り、アカガレイが平年をかなり上回った。

1 水温の状況 — 9月定線観測結果 —

- (1) 本県周辺の水深50m水温は15～21℃台を示し、加賀沖及び能登半島西方沖では“かなり低め”から“はなはだ低め”（1～3℃低め）、能登半島北方沖では“やや低め”から“かなり低め”（1～2℃低め）、富山湾では“平年並み”の水温分布を示しています。
- (2) 表面水温は24～27℃台を示し、加賀沖及び能登半島西方沖では“平年並み”から“やや低め”（0～1℃低め）、富山湾では“平年並み”の水温分布を示しています。
- (3) 能登半島西方沖では、冷水域が平年よりかなり岸寄りに分布しています。
- (4) 禄剛崎沖から佐渡島北方にかけての海域では、暖水域が分布しています。



2 漁獲の動向 — 8月の漁獲量から —

【定置網】

主要10港合計は**692トン**で、**平年（過去10カ年平均）並みの漁獲量**でした。
 最も多く漁獲されたのはカタクチイワシの218トンで、平年をやや上回りました。
 フクラギは126トンで平年をやや下回りました。サワラ（サゴシを含む。）は81トンで平年をやや上回りましたが、好漁であった昨年をかなり下回りました。マアジは65トンで平年をかなり下回りました。

【まき網】

主要10港合計は**561トン**で、**平年をやや下回る漁獲量**でした。
 最も多く漁獲されたのはガンドの292トンで、平年をかなり上回りました。ウルメイワシは112トンで平年をかなり上回りました。クロマグロは33トンで平年をやや上回りました。

【刺網】

主要10港合計は**142トン**で、**平年並みの漁獲量**でした。
 最も多く漁獲されたのはサザエの20トンで、平年をやや下回りました。アカガレイは19トンで平年をかなり上回りました。ウマヅラハギ（かわはぎ）は17トンで平年並みでした。

【釣り】

釣りの主要10港合計は**27トン**で、**平年をやや下回る漁獲量**でした。
 最も多く漁獲されたのはマダイの4トンで、平年並みでした。マアジは3トンで平年をやや上回りました。
いか釣り（小型）の主要10港合計は**44トン**で、**平年をかなり下回る漁獲量**でした。

■■■■ 底びき網漁業の水揚げ状況（解禁から9月20日までの速報値） ■■■■

石川県沖では9月1日から底びき網漁業の操業が始まり、主要港（橋立・金沢・富来・輪島・蛸島）の9月20日までの漁獲量（速報値）は416トンで、前年の98%、平年の108%となっています。
 アマエビは、橋立港・金沢港で前年をやや上回り、全体の漁獲量は前年の162%、平年の166%でした。
 ニギスは金沢港で前年をやや下回り、全体の漁獲量は前年の79%、平年の97%でした。
 アカガレイは橋立港で前年をやや上回りましたが、金沢港・輪島港で前年を下回り、全体の漁獲量は前年の91%、平年の158%でした。
 ハタハタは、蛸島港で前年並みでしたが、橋立港・金沢港・輪島港で前年をかなり上回り、全体の漁獲量は前年の180%、平年の247%でした。
 その他、マガレイ（くちぼそがれい）、ヤリイカ（まついか）は前年をやや上回り、ヤナギムシガレイ（めがれい）、ムシガレイ（すがれい）は前年並み、アンコウは前年をかなり下回りました。
 平均単価は、ニギスが前年よりやや高め、アマエビ・アカガレイ・ヤナギムシガレイ（めがれい）・マガレイ（くちぼそがれい）が前年並み、ハタハタが小銘柄主体のため前年よりかなり低め、全魚種平均では前年の110%、平年の90%でした。

主要港の底びき網漁業漁獲量（9月1日～20日まで）

	漁獲量(トン)				
	本年	前年	前年比	平年	平年比
ホッコクアカエビ(あまえび)	96	59	162%	58	166%
ニギス	67	84	79%	68	97%
アカガレイ	37	40	91%	23	158%
ハタハタ	53	29	180%	21	247%
ヤナギムシガレイ(めがれい)	14	18	80%	16	90%
マガレイ(くちぼそがれい)	19	14	137%	16	119%
ムシガレイ(すがれい)	20	22	92%	18	113%
ヤリイカ(まついか)	12	8	147%	15	76%
アンコウ	13	41	30%	35	36%
その他	87	109	80%	114	76%
合計	416	424	98%	385	108%

各港の毎日の漁獲量は水産総合センターのホームページで確認できます。
<http://www.pref.ishikawa.jp/suisan/center/sigenbu.htm>

漁獲量統計 (橋立港、金沢港、富来港、輪島港、蛸島港、鶴飼港、松波港、宇出津港、七尾地区)

定置網漁業

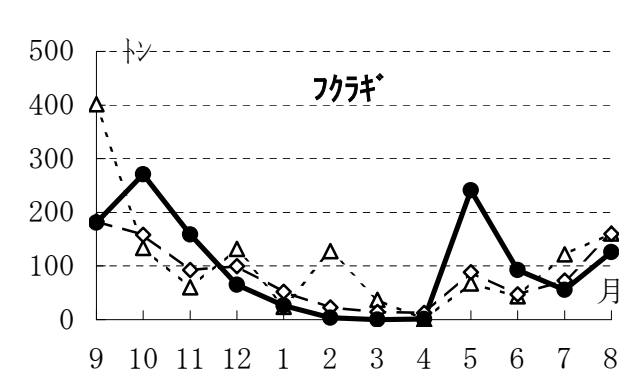
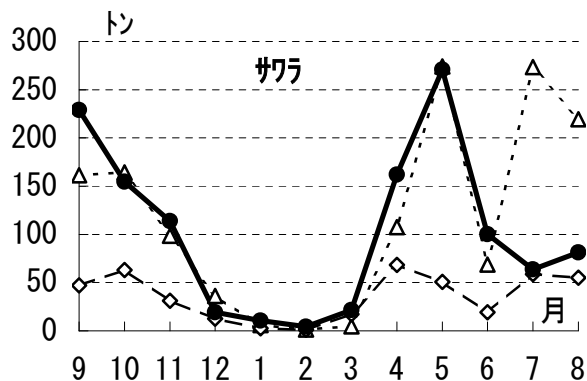
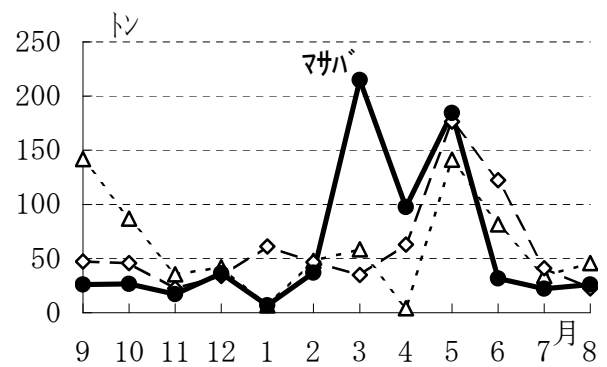
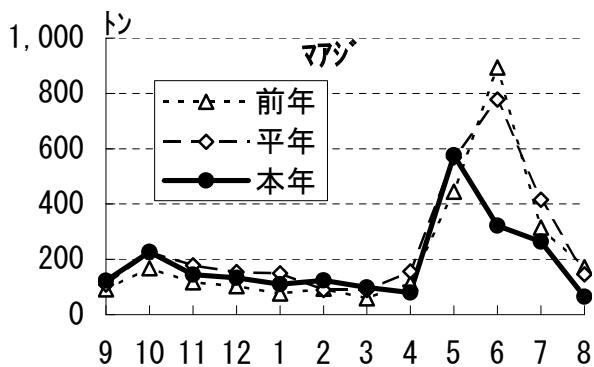
	8月漁獲量 (トン)			累計漁獲量(9月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)	本年	平年 (比率)	
延統数	1,319	1,320 →	1,532 →	18,285	20,097 →	
カクチイソ	218	190 →	119 △	2,319	2,401 →	
フナギ	126	160 ▼	160 ▼	1,222	1,002 △	
サワ	81	219 ▼▼	55 △	1,231	427 △△	
シラ	74	18 △△△	35 △△	300	349 →	
マヅ	65	172 ▼▼	145 ▼▼	2,266	3,056 ▼	
マサハ	26	46 ▼	22 →	726	717 →	
マダイ	17	21 ▼	15 →	372	204 △	
マイソ	10	60 ▼▼	11 →	493	462 →	
ガンド	10	4 △△	9 →	313	150 △△	
ウマヅラハギ	8	5 △	10 ▼	195	586 ▼▼	
トビウオ類	6	6 →	8 ▼	331	265 △	
ウルメイソ	3	2 △	4 ▼	178	368 ▼▼	
マダコ	2	2 △	1 △	23	13 △	
ヒラメ	2	3 ▼▼	2 →	22	15 △	
ヒラマサ	1	1 ▼	5 ▼▼	10	67 ▼▼	
その他	43	142 ▼▼	97 ▼▼	4,125	3,629 →	
合計	692	1,050 ▼	698 →	14,127	13,713 →	
1隻当たり	0.52	0.80 ▼	0.46 →	0.77	0.68 →	

平年値は過去10年平均
単位：トン

他府県漁獲状況 (8月：定置網)

	カクチイソ	フナギ	シラ	アソ類	サワ	マダイ	アカマス	スズキ
舞鶴	105.0	50.4	52.9	48.3	63.7	2.9	0.0	3.7
氷見	29.8	36.9	33.8	23.6	3.5	7.4	3.8	0.0

各府県水試調べによる (速報値)



定置網における主要魚種別漁獲量の経月変化

まき網漁業

	8月漁獲量(トン)				累計漁獲量(1月より)			
	本年	前年	(比率)	平年	(比率)	本年	平年	(比率)
延隻数	82	110	▼	93	→	509	409	△
ガンド	292	53	△△△	135	△△	412	325	△
ウルメイワシ	112	4	△△△	6	△△△	185	87	△△
フナギ	70	266	▼▼	109	▼	111	272	▼▼
クマガロ	33	0	—	21	△	298	81	△△△
その他	88	773	▼▼	630	▼▼	6,150	7,377	→
合計	561	1,096	▼	881	▼	6,859	8,061	→
1隻当たり	7	10	▼	9	▼	13	20	▼

平年値は過去10年平均

その他の漁業

	8月漁獲量(トン)				累計漁獲量(1月より)			
	本年	前年	(比率)	平年	(比率)	本年	平年	(比率)
刺網漁業								
延隻数	4,341	4,449	→	4,781	→	29,635	32,677	→
サエ	20	20	→	25	▼	134	142	→
アカレイ	19	14	△	6	△△△	79	52	△
ウマヅラハギ	17	2	△△△	16	→	100	98	→
アマダイ類	9	14	▼	13	▼	31	48	▼
キダイ	9	5	△	7	△	27	31	→
ハタハタ	8	19	▼▼	15	▼	12	23	▼
ウスメバル	8	3	△△	4	△	90	138	▼
ハツメ	8	10	▼	8	→	93	58	△
マダコ	5	6	▼	5	→	24	31	▼
マダイ	4	2	△	3	→	37	42	→
その他	37	44	▼	47	▼	1,190	980	△
合計	142	139	→	149	→	1,817	1,645	→
1隻当たり	0.03	0.03	→	0.03	→	0.06	0.05	△
釣り								
延隻数	1,142	1,142	→	1,461	▼	7,303	8,701	→
マダイ	4	3	→	4	→	37	39	→
マヅ	3	2	△	2	△	6	5	△
ウスメバル	2	2	→	4	▼▼	12	31	▼▼
ホッケ	1	2	▼▼	2	▼▼	3	13	▼▼
クダイ	1	0	△	0	△	1	1	△
その他	17	25	▼	39	▼▼	167	244	▼
合計	27	35	▼	52	▼	226	333	▼
1隻当たり	0.02	0.03	▼	0.04	▼	0.03	0.04	▼
イカ釣り(小型)								
延隻数	168	79	△△	152	→	4,672	4,907	→
スルメイカ	44	3	△△△	145	▼▼	1,936	2,627	▼
1隻当たり	0.26	0.03	△△△	0.95	▼▼	0.41	0.54	▼

※表(比率)の見方

▼▼ ~ 50% △ 120~199%
 ▼ 51~ 83% △△ 200~299%
 → 84~119% △△△ 300~

■■■石川県水産総合センター漁海況情報 第146号■■■

電話：0768-62-1324 http://www.pref.ishikawa.jp/suisan/center/sigenbu.htm

底びき網漁業の水揚げ状況について（平成19年漁期）

- ① 集計期間：平成19年漁期（平成19年7月～20年6月）
- ② 集計対象港と漁業種類：石川県主要港の沖合底びき網漁業と小型底びき網第1種漁業
（橋立港・金沢港・富来港・輪島港・蛸島港・鶴飼港・松波港・宇出津港地区）

1 水揚げ量

石川県内主要港における平成19年漁期の総水揚げ量は7,142トンで、平年（過去10年の平均）の118%、前年の121%でした（図1）。

あまえび・こうばこがに・はたはた等が好漁だったことにより、総水揚げ量は過去10年間で最も高い値となりました。

2 水揚げ金額

総水揚げ金額は39億9千万円で、平年の93%、前年の99%でした（図1）。

平成14年漁期には平成7年漁期の60%にまで減少しましたが、その後は横ばいで推移しています。

3 年間出漁回数

年間延べ出漁回数は13,323回で、平年の93%、前年の97%でした（図2）。

操業隻数が減少していることから、延べ出漁回数は減少傾向が続いています。

4 出漁1回当たりの水揚げ金額

出漁1回当たりの平均水揚げ金額は30万円で、平年の100%、前年の102%でした（図2）。平成13年漁期まで減少傾向が続いていましたが、その後はやや上向きで推移しています。

5 県内の産地価格

県内産地価格（底びき網漁業）の推移について、平成7年漁期を100とした産地物価指数でみると、平成19年漁期は75で前年並みでした（図3）が、過去10年間では低下傾向が続いています。

物価指数の前年比をみると、平成13年漁期までは年平均で-3.2%ずつ下げ続けましたが、平成14年漁期以降は年平均-1.3%となっており、近年の低下傾向はやや緩やかとなっています。

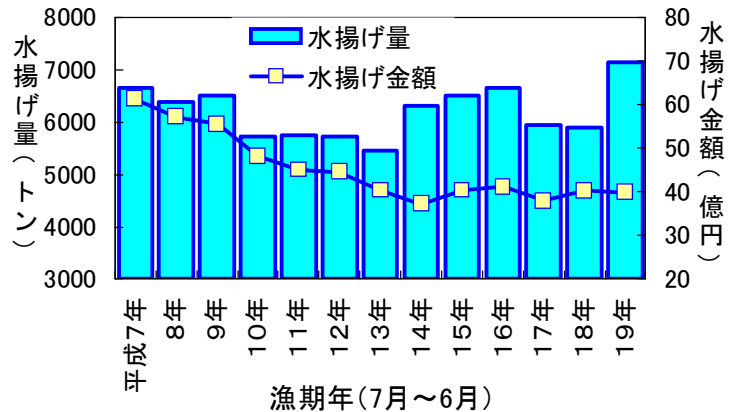


図1 底びき網漁業の水揚げ量と金額

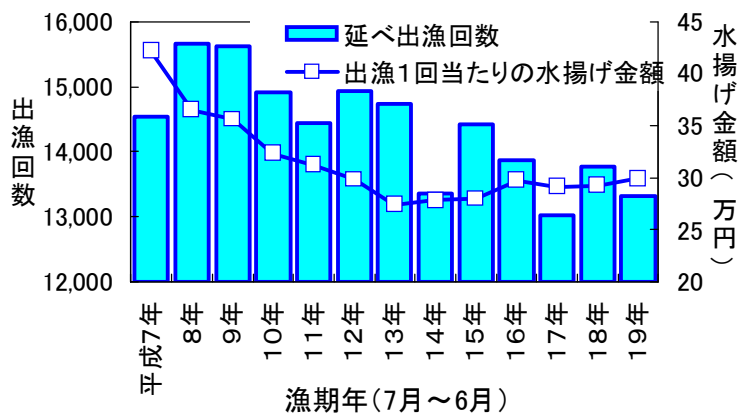


図2 底びき網漁業の出漁回数と出漁1回当たりの水揚げ金額

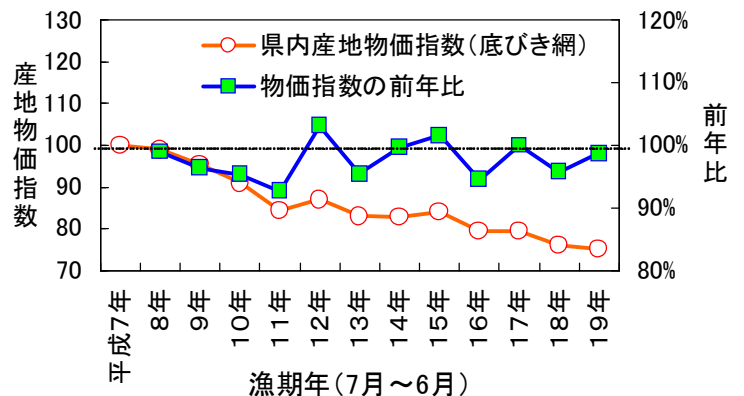


図3 底びき網漁業の産地物価指数と物価指数の前年比

6 主要魚種の水揚げ状況 (図3)

(1) ずわいがに・こうばこがに

ずわいがに (雄) の出漁1回当たりの漁獲量は55kgで、平年の100%、前年の114%でした。平成12年漁期以降は低い水準で横ばい傾向が続いています。

こうばこがにの出漁1回当たりの漁獲量は112kgで、平年の160%、前年の133%でした。平成14年以降増加傾向が続いており、過去10年間では最も高い値となりました。

(2) あまえび

出漁1回当たりの漁獲量は54kgで、平年の122%、前年の99%でした。近年では、平成16年漁期以降、増加傾向にあります。

(3) にぎす

出漁1回当たりの漁獲量は70kgで、平年の117%、前年の114%でした。平成14年漁期には平成7年漁期の51%にまで減少しましたが、その後は増加傾向にあります。

(4) はたはた

出漁1回当たりの漁獲量は122kgで、平年の221%、前年の271%でした。3月に橋立港・金沢港・富来港で小型魚 (平成18年生まれ主体) がまとまって水揚げされたことから、平成14年漁期に次ぐ高い値となりました。

(5) かれい類

あかがれいの出漁1回当たりの漁獲量は50kgで、平年の95%、前年の123%でした。

めがれい (ヤギムガレい) の出漁1回当たりの漁獲量は8kgで、平年の96%、前年の78%でした。

すがれい (ムガレい) の出漁1回当たりの漁獲量は8kgで、平年の116%、前年の96%でした。

7 主要魚種の産地価格

主要魚種の平均単価の推移を図4に示しました。平成7年漁期の平均単価を100とした指数でみると、平成19年漁期は、あまえびが72、ずわいがに (雄) が116、あかがれいが72、にぎすが87で、いずれも昨年並みでした。

一方、こうばこがには31、はたはたは18で、ともに好漁であったこともあり前年をかなり下回りました。

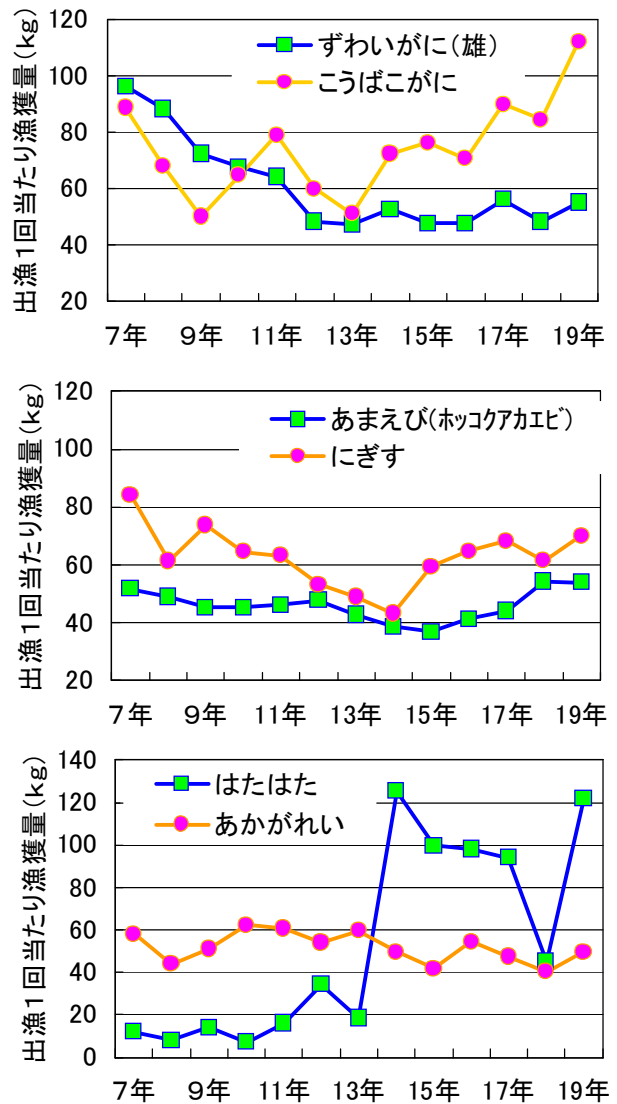


図3 主要魚種の出漁1回当たり漁獲量

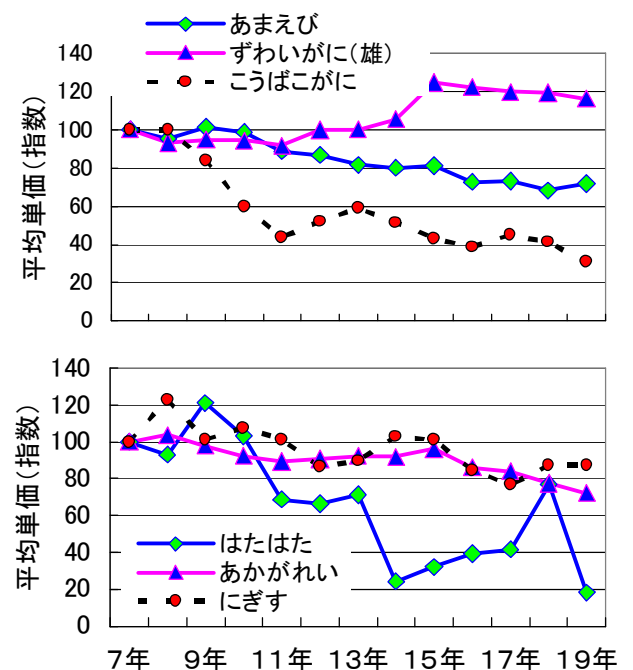


図4 主要魚種の平均単価 (指数) の推移 (平成7年=100)

石川県水産総合センター漁海況情報 第147号

電話：0768-62-1324 <http://www.pref.ishikawa.jp/suisan/center/sigenbu.htm>

本県周辺海域の水深50m水温は、加賀沖及び能登半島外浦沖で“やや低め”から“かなり低め”、富山湾で“平年並み”から“やや低め”。

定置網ではフクラギが平年をやや上回った。サワラは平年をかなり上回ったが、好漁であった昨年をやや下回った。

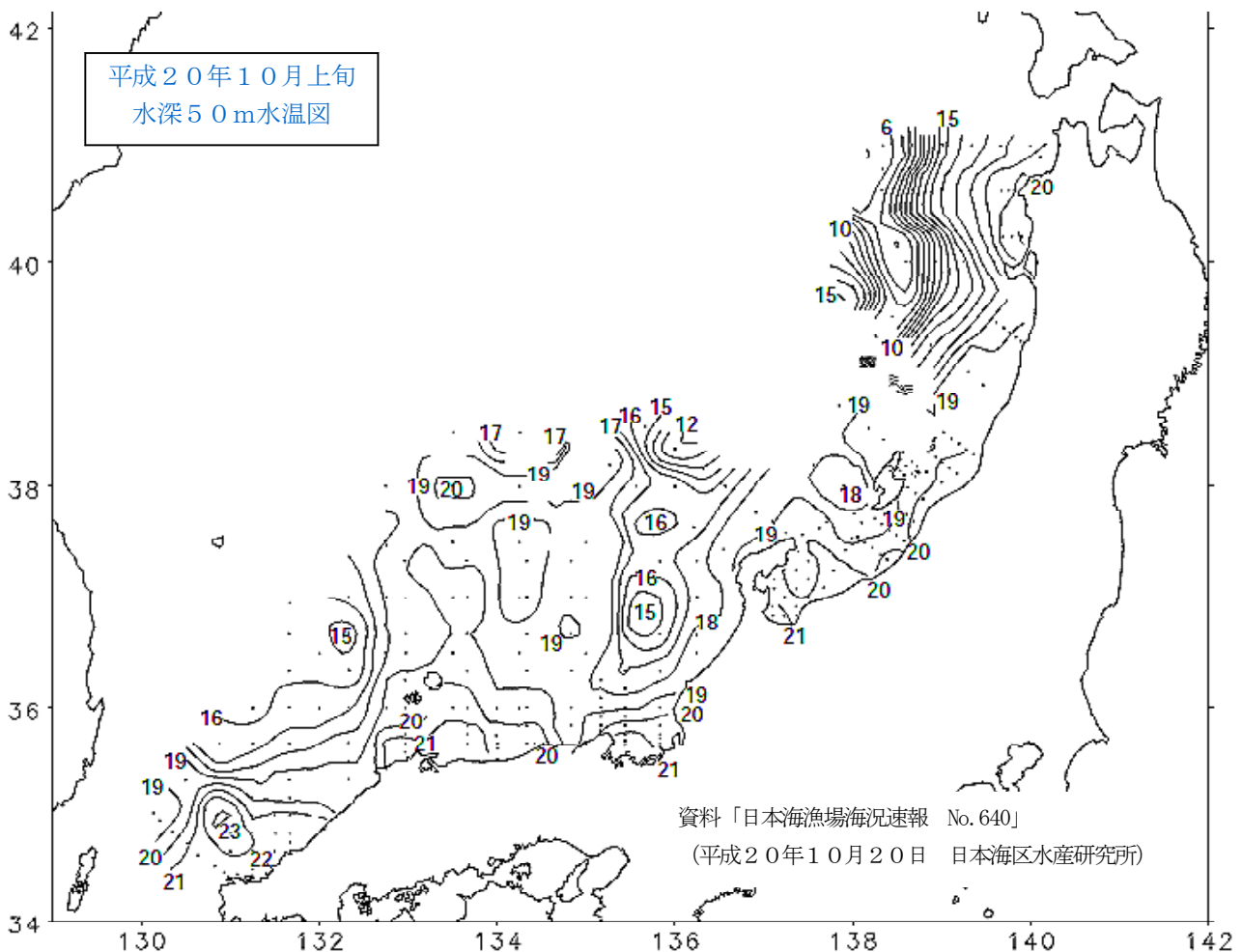
底びき網ではアマエビ・ニギスが平年をやや上回った。

まき網ではブリ・ガンド・フクラギが平年をかなり上回った。

刺し網ではウマツラハギ(かわはぎ)が平年並み、釣りではマダイが平年並み。

1 水温の状況 — 10月定線観測結果 —

- (1) 本県周辺の水深50m水温は15～20℃台を示し、加賀沖及び能登半島外浦沖では“やや低め”から“かなり低め”(1～3℃低め)、富山湾では“平年並み”から“やや低め”(0～1℃低め)の水温分布を示しています。
- (2) 表面水温は22～23℃台を示し、加賀沖及び能登半島外浦沖、富山湾とも“平年並み”の水温分布を示しています。
- (3) 能登半島西方沖では、先月に引き続き冷水域がかなり岸寄りに分布しています。
- (4) 佐渡島沖の冷水域は、禄剛崎からやや離れて分布しています。



2 漁獲の動向 — 9月の漁獲量から —

【定置網】

主要10港合計は**1,203トン**で、**平年（過去10カ年平均）をやや上回る漁獲量**でした。

最も多く漁獲されたのはフクラギの302トンで、平年をやや上回りました。

シイラは215トンで平年をかなり上回りました。サワラ（サゴシを含む。）は181トンで平年をかなり上回りましたが、好漁であった昨年をやや下回りました。マアジは82トンで平年をやや下回りました。

【底びき網】

主要10港合計は**619トン**で、**平年並みの漁獲量**でした。

最も多く漁獲されたのはアマエビの131トンで、平年をやや上回りました。ニギスは124トンで平年をやや上回りました。ハタハタは80トンで平年をかなり上回りました。

【まき網】

主要10港合計は**1,913トン**で、**平年をやや上回る漁獲量**でした。

最も多く漁獲されたのはガンドの976トンで、平年をかなり上回りました。フクラギは563トン、ブリは190トンで、いずれも平年をかなり上回りました。マアジは150トンで平年をやや下回りました。

【刺網】

主要10港合計は**136トン**で、**平年をやや上回る漁獲量**でした。

最も多く漁獲されたのはウマヅラハギ（かわはぎ）の24トンで、平年並みでした。ハツメ（あからばちめ）は22トンで平年をかなり上回りました。キダイ（めっきだい）は10トンで平年をやや上回りました。

【釣り】

釣りの主要10港合計は**31トン**で、**平年をやや下回る漁獲量**でした。

最も多く漁獲されたのはマダイの5トンで、平年並みでした。ウスメバル（やなぎばちめ）は4トンで平年をかなり上回りました。

いか釣り（小型）の主要10港合計は**1トン**で、**平年をかなり下回る漁獲量**でした。

■■■■ 「平成20年度第3回日本海海況予報（平成20年10月2日）」の概要 ■■■■

日本海沿岸の道府県水産研究機関と水産総合研究センター日本海区水産研究所が検討し、とりまとめた日本海海況予報が以下のとおり発表されました。

1 現況（2008年9月）

- (1) 暖水域は、隠岐諸島北東、佐渡島北、佐渡島南西に分布。
- (2) 山陰・若狭沖の冷水域は、規模が大きく接岸。佐渡島沖の冷水域は、規模が平年並みでやや接岸。
- (3) 対馬暖流域の表面水温は、能登～男鹿沿岸で“やや高め”の海域が分布するものの、全般的には“平年並み”～“やや低め”。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、日本海西部及び北部とも“平年並み”。

2 今後の見通し（2008年10月～12月）

- (1) 隠岐諸島北東の暖水域は、ほぼ停滞する。佐渡島北の暖水域は、徐々に北上する。佐渡島南西の暖水域は消滅する。
- (2) 山陰・若狭沖の冷水域の張り出しは、平年並み。佐渡島沖の冷水域は、やや弱い。
- (3) 対馬暖流域の表面水温は、“平年並み”で経過する。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、日本海西部及び北部とも“平年並み”で経過する。



漁獲量統計 (橋立港、金沢港、富来港、輪島港、蛸島港、鵜飼港、松波港、宇出津港、七尾地区)

定置網漁業

	9月漁獲量(トン)			累計漁獲量(9月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)	本年	平年 (比率)	
延統数	1,429	1,223 →	1,338 →	1,429	1,338 →	
フクラギ	302	181 △	186 △	302	186 △	
シラ	215	31 △△△	68 △△△	215	68 △△△	
カクチイワシ	195	20 △△△	54 △△△	195	54 △△△	
サワラ	181	229 ▼	70 △△	181	70 △△	
マアジ	82	122 ▼	100 ▼	82	100 ▼	
マサバ	56	26 △△	45 △	56	45 △	
マルソウダ	44	9 △△△	10 △△△	44	10 △△△	
マイワシ	21	7 △△	3 △△△	21	3 △△△	
アオリイカ	19	18 →	13 △	19	13 △	
アカマス	18	11 △	37 ▼▼	18	37 ▼▼	
ウマヅラハギ	12	7 △	15 ▼	12	15 ▼	
マダイ	8	7 →	6 △	8	6 △	
ウルメイワシ	6	2 △△	9 ▼	6	9 ▼	
ガント	5	0 △△△	3 △	5	3 △	
メジ	3	0 △△△	4 ▼	3	4 ▼	
その他	35	50 ▼	75 ▼▼	35	75 ▼▼	
合計	1,203	721 △	698 △	1,203	698 △	
1隻当たり	0.84	0.59 △	0.52 △	0.84	0.52 △	

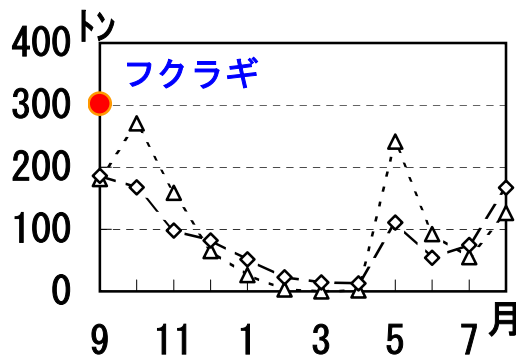
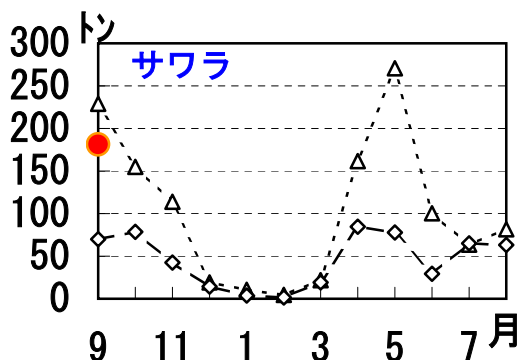
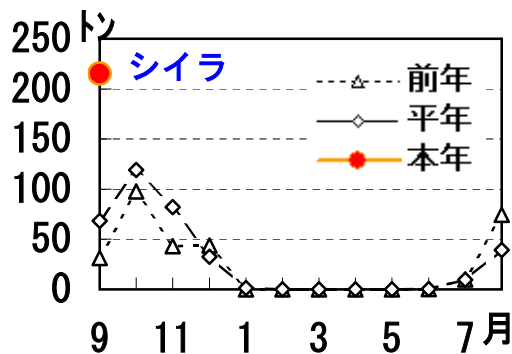
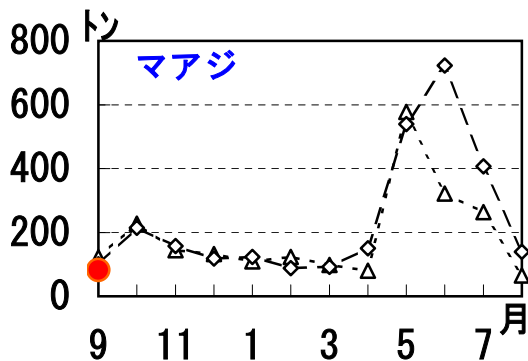
平年値は過去10年平均

他府県漁獲状況 (9月：定置網)

単位：トン

	シラ	サワラ	フクラギ	マルソウダ	アカマス	カクチイワシ	アジ類	カハギ類
舞鶴	118.2	388.0	102.8	106.1	35.6	14.6	33.6	2.3
氷見	291.7	2.0	199.0	12.5	56.1	33.4	11.8	13.6

各府県水試調べによる (速報値)

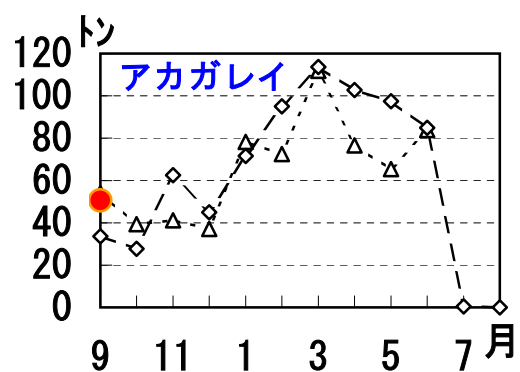
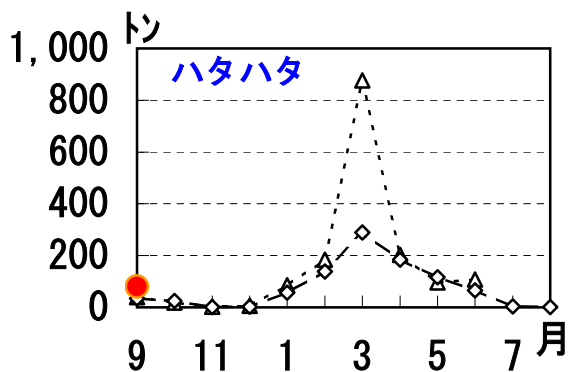
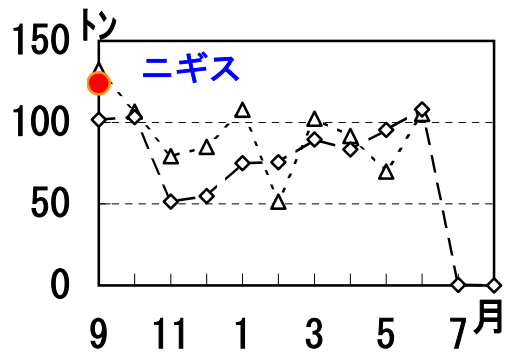
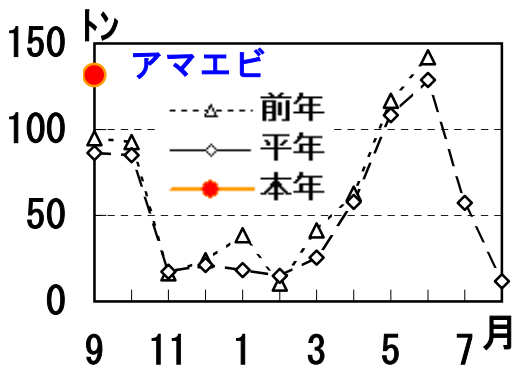


定置網における主要魚種別漁獲量の経月変化

底びき網漁業

	9月漁獲量 (トン)				累計漁獲量(9月より)			
	本年	前年	(比率)	平年	(比率)	本年	平年	(比率)
延隻数	1,346	1,380	→	1,538	→	1,346	1,538	→
アマエビ	131	95	△	86	△	131	86	△
ニギス	124	132	→	102	△	124	102	△
ハタハタ	80	40	△△	34	△△	80	34	△△
アカガレイ	51	54	→	34	△	51	34	△
ムシガレイ	28	25	→	22	△	28	22	△
マガレイ	22	19	→	22	→	22	22	→
アンコウ	20	54	▼▼	52	▼▼	20	52	▼▼
ヤナギムシガレイ	19	21	→	21	→	19	21	→
ヤリイカ	16	12	△	24	▼	16	24	▼
ガスエビ	11	10	→	14	▼	11	14	▼
マダラ	10	10	→	4	△△	10	4	△△
ヒレゴロ	7	9	▼	5	△	7	5	△
ソウハチ	6	12	▼	12	▼	6	12	▼
キダイ	6	6	→	11	▼	6	11	▼
マダイ	6	7	→	9	▼	6	9	▼
ホッケ	4	22	▼▼	12	▼▼	4	12	▼▼
ハツメ	4	5	→	5	→	4	5	→
ウマヅラハギ	3	4	▼	5	▼	3	5	▼
カニ類	2	2	→	2	→	2	2	→
チダイ	2	3	→	5	▼	2	5	▼
その他	66	83	▼	91	▼	66	91	▼
合計	619	626	→	573	→	619	573	→
1隻当たり	0.46	0.45	→	0.37	△	0.46	0.37	△

平年値は過去10年平均



底びき網における主要魚種別漁獲量の経月変化

まき網漁業

	9月漁獲量(トン)				累計漁獲量(1月より)			
	本年	前年	(比率)	平年	(比率)	本年	平年	(比率)
延隻数	136	119	→	112	△	645	521	△
ガント	976	808	△	400	△△	1,389	726	△
フナギ	563	122	△△△	171	△△△	674	443	△
ブリ	190	9	△△△	45	△△△	291	219	△
マヅ	150	48	△△△	211	▼	2,830	2,842	→
その他	184	444	▼▼	633	▼▼	6,419	7,923	▼
合計	1,913	1,383	△	1,249	△	8,772	9,311	→
1隻当たり	14	12	△	11	△	14	18	▼

平年値は過去10年平均

その他の漁業

	9月漁獲量(トン)				累計漁獲量(1月より)			
	本年	前年	(比率)	平年	(比率)	本年	平年	(比率)
刺網漁業								
延隻数	3,431	2,665	△	2,925	→	33,066	35,602	→
ウマヅラハギ	24	16	△	25	→	124	123	→
ハツメ	22	17	△	9	△△	115	67	△
キダイ	10	4	△△	6	△	36	37	→
アマダイ類	9	9	→	10	→	40	58	▼
ホッケ	8	2	△△△	0	△△△	18	23	▼
ウスハル	6	4	△	3	△△	96	141	▼
アカレイ	6	5	△	2	△△△	84	54	△
マダイ	5	4	△	4	△	42	46	→
ササエ	5	4	△	6	→	139	148	→
ガント	4	2	△△	1	△△△	56	75	▼
その他	36	32	→	37	→	1,201	975	△
合計	136	97	△	102	△	1,952	1,747	→
1隻当たり	0.04	0.04	→	0.03	→	0.06	0.05	△
釣り								
延隻数	1,566	1,221	△	1,600	→	8,869	10,301	→
マダイ	5	2	△△	6	→	42	45	→
ウスハル	4	1	△△△	2	△△	16	33	▼▼
マヅ	2	1	△△△	1	△	8	6	△
アオリイカ	2	2	→	2	→	2	2	→
アカムツ	1	1	△△	1	△	3	3	→
その他	17	10	△	27	▼	186	283	▼
合計	31	17	△	38	▼	257	372	▼
1隻当たり	0.02	0.01	△	0.02	▼	0.03	0.04	▼
イカ釣り(小型)								
延隻数	40	5	△△△	115	▼▼	4,712	5,022	→
スルメイカ	1	1	▼	143	▼▼	1,937	2,770	▼
1隻当たり	0.01	0.13	▼▼	1.24	▼▼	0.41	0.55	▼

※表(比率)の見方

▼▼ ~ 50% △ 120~199%
 ▼ 51~ 83% △△ 200~299%
 → 84~119% △△△ 300~

定置網漁業の水揚げ状況について（平成19年漁期）

- ① 集計期間：平成19年漁期（平成19年9月～20年8月）
- ② 漁業種類：石川県内主要港の大型定置網漁業と小型定置網漁業
- ③ 集計対象港：橋立港・金沢港・富来港・輪島港・蛸島港・鶴飼港・松波港・宇出津港・七尾地区

1 漁獲量

石川県内主要港における平成19年漁期の総漁獲量は14,126トンで、平年（過去10カ年の平均）の103%、前年の88%でした（図1）。

平成7年漁期以降の推移を見ると、まいわし資源の減少により平成12年漁期まで減少傾向にありましたが、その後はぶり・さわら・かたくちいわし等の好漁により増加傾向にあります。

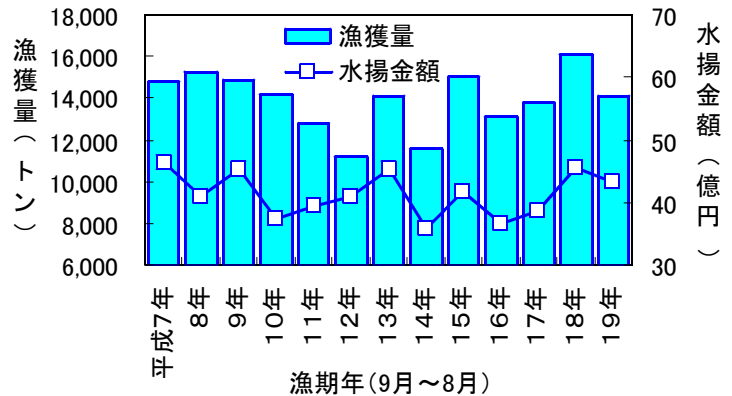


図1 定置網漁業の漁獲量と金額の推移

2 水揚金額

水揚金額は43.4億円で、平年の107%、前年の95%でした（図1）。

平成19年漁期は、まあじ・ぶり・かわはぎ（ウマヅラハギ）・するめいかが不漁でしたが、さわら・くろまぐろ等が好漁となり、全体では平年並みの水揚金額でした。

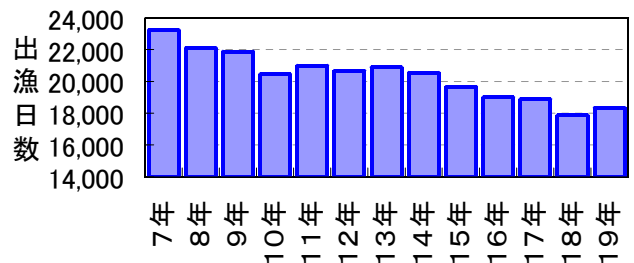


図2 定置網漁業の年間出漁日数の推移

3 年間出漁日数

年間延べ出漁日数は18,285日で、平年の91%、前年の102%でした（図2）。

平成15年漁期以降、減少傾向が続いていましたが、平成19年漁期は、エチゼンクラゲの出現が遅れて10月下旬以降となったことから、9・10月の延べ出漁日数が前年をやや上回りました。

4 産地価格

県内産地価格（定置網漁業）の推移について、平成7年漁期を100とした産地物価指数で見ると、平成19年漁期は76で前年並みでした（図3）。平成7年漁期以降の推移を見ると、平成14年漁期まで低下傾向が続いていましたが、その後は横ばいで推移しています。

物価指数の前年比をみると、平成14年漁期までは年平均で-5.0%ずつ下げ続けましたが、平成15年漁期以降は年平均で+2.0%となっています。

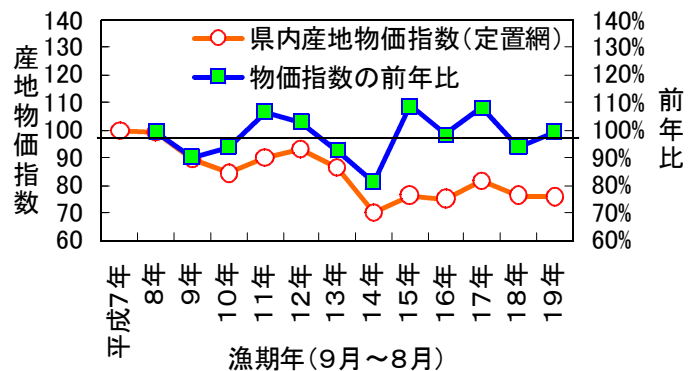


図3 定置網漁業の産地物価指数と物価指数の前年比

5 主要魚種の漁獲量(図4)

(1) ぶり・がんど・ふくらぎ

ぶりの漁獲量は373トンで、平年の78%、前年の42%と不漁でした。「寒ぶり」の漁期である12～2月には、5～6kgサイズ、8kg以上のサイズとも不調で、特に水揚げのピークである12月は過去10年間で最も少ない漁獲量となりました。

がんどの漁獲量は313トンで、平年の208%、前年の677%でした。特に4月から7月にかけては平年をかなり上回る水揚げが続きました。

ふくらぎ(こぞくらを含む。)の漁獲量は1,222トンで、平年の123%、前年の93%でした。

(2) まあじ・まさば・まいわし

まあじの漁獲量は2,266トンで、平年の75%、前年の86%でした。近年では、平成16年漁期以降、減少傾向が続いています。

まさばの漁獲量は726トンで、平年の102%、前年の100%でした。

まいわしの漁獲量は493トンで、平年の107%、前年の238%でした。

(3) さわら・するめいか

さわら(さごしを含む。)の漁獲量は1,231トンで、平年の287%、前年の87%でした。

するめいかの漁獲量は551トンで、平年の65%、前年の127%でした。盛漁期の冬季に佐渡島周辺海域の水温が高めで推移したことから、内浦海域への来遊状況は、前年に続き低調に推移しました。

(4) くろまぐろ・まだい・あおりいか

くろまぐろの漁獲量は302トンで、平年の325%、前年の397%でした。特にマグロ銘柄(20kg以上)は、6月中旬に30～60kgサイズ主体でまとまった水揚げがみられ、記録的な豊漁となりました。

まだいの漁獲量は372トンで、平年の185%、前年の169%でした。

あおりいかの漁獲量は227トンで、平年の138%、前年の121%でした。

6 主要魚種の産地価格

主要魚種の平均単価の推移を図5に示しました。平成7年漁期の平均単価を100とした指数で見ると、平成19年漁期は、ぶりが89、まあじが65、さわらが27で、いずれも前年並みでした。

一方、がんどは55、ふくらぎは76、まだいは49で、いずれも好漁であったことが影響して前年をかなり下回りました。

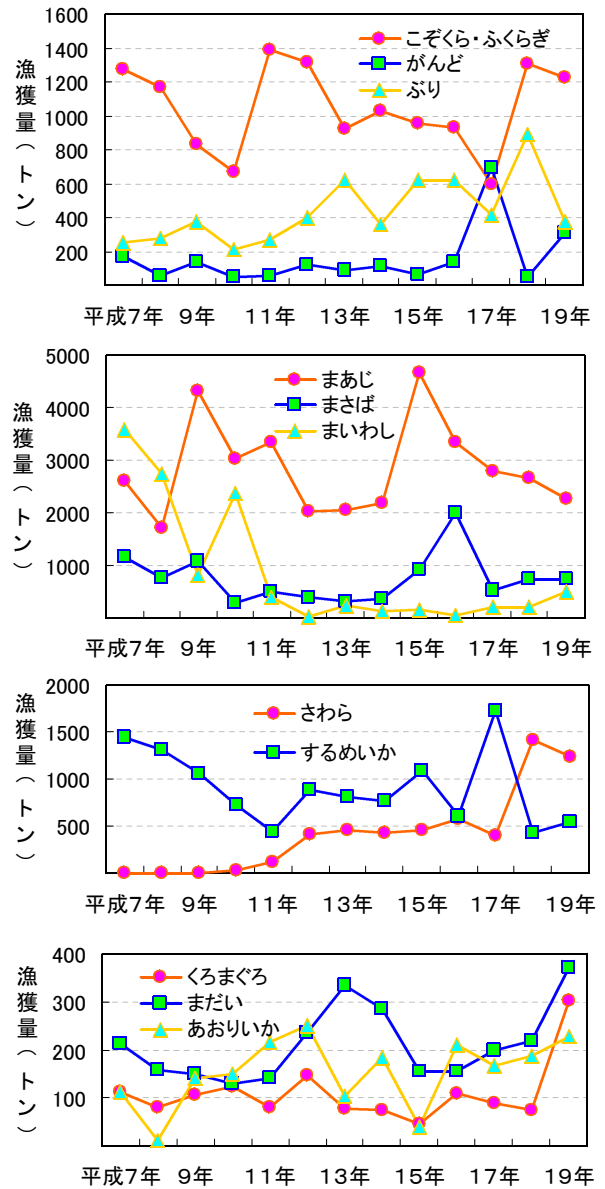


図4 主要魚種の漁獲量の推移

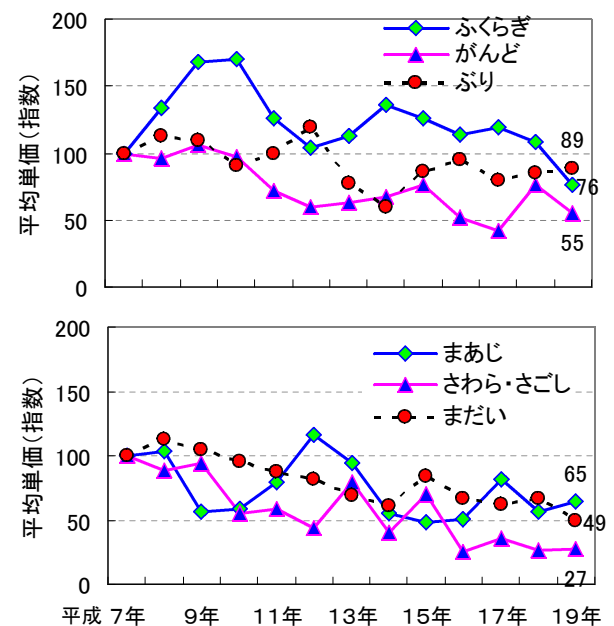


図5 主要魚種の平均単価(指数)

本県周辺海域の水深50m水温は、加賀沖及び能登半島外浦沖で“平年並み”から“やや高め”、富山湾で“やや高め”。

定置網ではマアジ・フクラギが平年並み、サワラが平年をやや下回った。

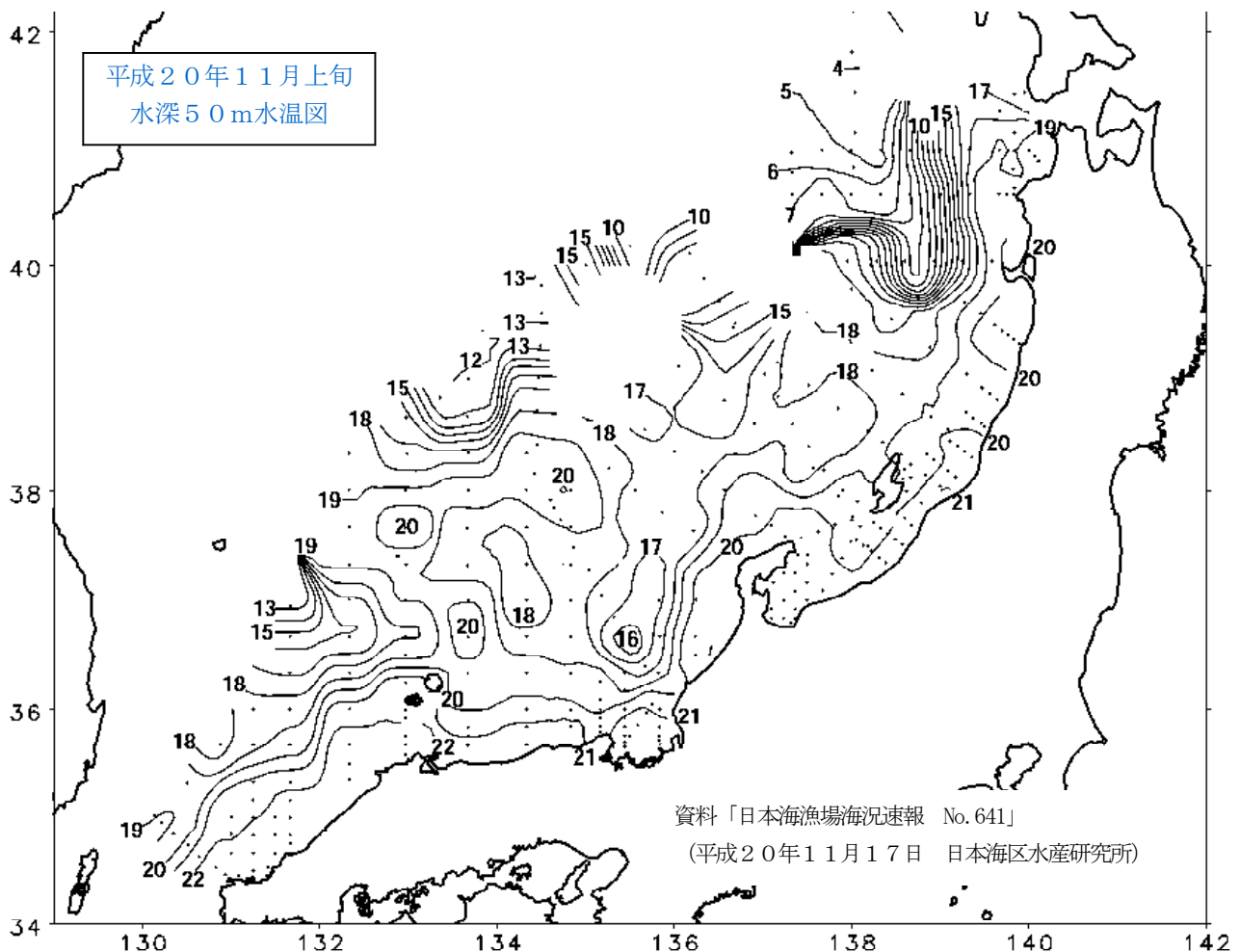
底びき網ではアマエビ・ニギス・アカガレイが平年をやや上回った。

まき網ではフクラギが平年をかなり上回った。

刺し網ではウマツラハギ(かわはぎ)が平年をかなり下回り、釣りではガンドが平年をやや下回った。

1 水温の状況 — 11月定線観測結果 —

- (1) 本県周辺の水深50m水温は17～20℃台を示し、加賀沖及び能登半島外浦沖では“平年並み”から“やや高め”(0～1℃高め)、富山湾では“やや高め”(0～1℃高め)の水温分布を示しています。
- (2) 表面水温は19～21℃台を示し、加賀沖及び能登半島外浦沖では“平年並み”から“やや高め”(0～1℃高め)、富山湾では“やや高め”(0～1℃高め)の水温分布を示しています。
- (3) 能登半島西方沖では、先月に引き続き冷水域がかなり岸寄りに分布しています。
- (4) 佐渡島沖の冷水域は、先月に比べて南下し、禄剛崎からの距離は平年並みとなっています。



2 漁獲の動向 — 10月の漁獲量から —

【定置網】

主要10港合計は**956トン**で、**平年（過去10カ年平均）をやや下回る漁獲量**でした。
最も多く漁獲されたのはシイラの234トンで、平年をやや上回りました。マアジは189トン、フクラギは147トンで、いずれも平年並みでした。サワラは57トンで平年をやや下回りました。特にサゴシ銘柄が、好漁であった前年をかなり下回りました。

【底びき網】

主要10港合計は**612トン**で、**平年並みの漁獲量**でした。
最も多く漁獲されたのはアマエビの144トンで、平年をやや上回りました。ニギスは133トン、アカガレイは47トンで、いずれも平年をやや上回りました。アンコウは40トンで平年をやや下回りました。

【まき網】

主要10港合計は**1,952トン**で、**平年をやや上回る漁獲量**でした。
最も多く漁獲されたのはフクラギの847トンで、平年をかなり上回りました。ガンドは459トン、ブリは100トンで、いずれも平年をやや上回りました。マアジは276トンで平年並みでした。

【刺網】

主要10港合計は**73トン**で、**平年をやや下回る漁獲量**でした。
最も多く漁獲されたのはウマヅラハギ（かわはぎ）の14トンで、平年をかなり下回りました。ハツメ（あからばちめ）は11トンで平年をやや下回りました。キダイ（めっきだい）は7トンで平年をやや上回りました。

【釣り】

釣りの主要10港合計は**33トン**で、**平年並みの漁獲量**でした。
最も多く漁獲されたのはガンドの6トンで、平年をやや下回りました。マダイは5トンで平年をやや下回りました。

■■■ 加能ガニ（ズワイガニ）の水揚げ状況（11月6日～20日の速報値） ■■■

石川県沖では11月6日から加能ガニ（ズワイガニ）の漁期が始まりました。

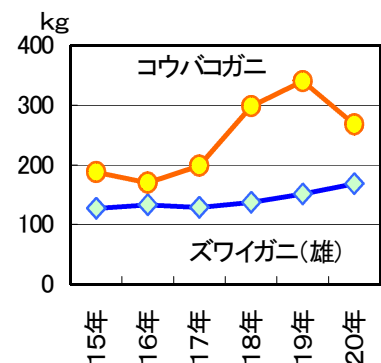
11月20日までの県内主要港（橋立港・金沢港・富来港・輪島港・蛸島港）におけるズワイガニ（雄）の漁獲量は83トンで、前年比112%、平年（過去10カ年平均）比107%でした。延べ出漁回数は前年並みで、出漁1回当たりの漁獲量も前年を上回りました。

ズワイガニ（雄）の漁獲量は、前年から上向き傾向にあり、今漁期も比較的好調なスタートとなりました。

また、この期間のコウバコガニ漁獲量は133トンで、前年比79%、平年比122%でした。出漁1回当たりの漁獲量は前年比79%で、好漁であった前年を下回りましたが、過去10年間では高い水準にあります。

橋立港・金沢港・富来港・輪島港・蛸島港のズワイガニ・コウバコガニ漁獲量
集計期間:11月6日～20日

	漁獲量(トン)					出漁1回当たりの平均漁獲量	
	本年	前年	前年比	平年	平年比	前年比	平年比
ズワイガニ(雄)	83	74	112%	78	107%	111%	124%
コウバコガニ	133	167	79%	108	122%	79%	112%
合計	216	242	89%	186	116%	89%	116%



出漁1回当たり漁獲量の推移

漁獲量統計 (橋立港、金沢港、富来港、輪島港、蛸島港、鶴飼港、松波港、宇出津港、七尾地区)

定置網漁業

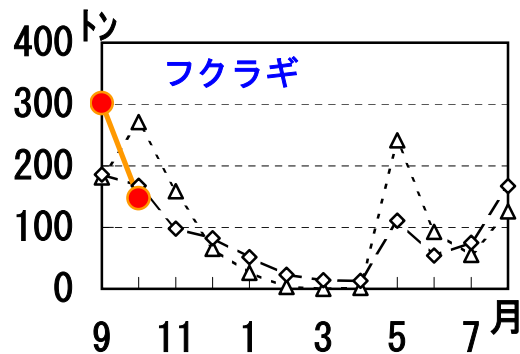
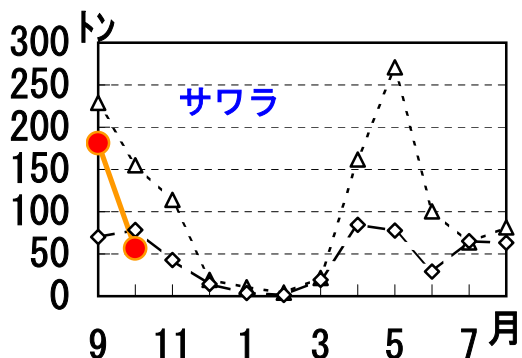
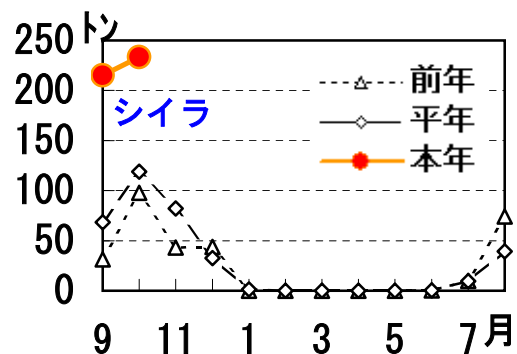
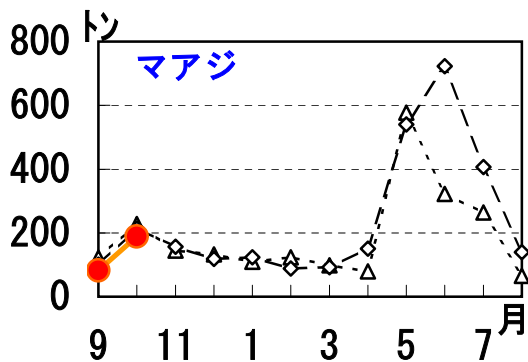
	10月漁獲量 (トン)				累計漁獲量(9月より)			
	本年	前年	(比率)	平年	(比率)	本年	平年	(比率)
延統数	1,620	1,619	→	1,759	→	3,049	3,097	→
シイラ	234	98	△△	119	△	449	187	△△
マアジ	189	227	→	214	→	271	314	→
フクラギ	147	271	▼	167	→	449	353	△
マルソウダ	66	692	▼▼	224	▼▼	110	234	▼▼
アカマス	62	75	▼	102	▼	80	138	▼
サワラ	57	155	▼▼	78	▼	238	149	△
マサバ	43	26	△	45	→	99	90	→
アオリカ	34	44	▼	45	▼	53	58	→
ウマヅラハギ	21	9	△△	33	▼	33	48	▼
ウルメイワシ	15	7	△△	23	▼	21	32	▼
カクチイワシ	13	2	△△△	37	▼▼	208	90	△△
マイワシ	11	4	△△△	5	△△	32	8	△△△
メジ	10	31	▼▼	9	→	13	14	→
マダイ	7	15	▼▼	9	▼	15	15	→
ガンド	6	1	△△△	8	▼	11	11	→
その他	42	71	▼	122	▼▼	77	197	▼▼
合計	956	1,727	▼	1,240	▼	2,159	1,938	→
1隻当たり	0.59	1.07	▼	0.71	→	0.71	0.63	→

平年値は過去10年平均
単位：トン

他府県漁獲状況 (10月：定置網)

	シイラ	フクラギ	マルソウダ	サワラ	アカマス	アジ類	アオリカ	サバ類
舞鶴	49.8	83.0	41.0	102.6	21.4	44.2	0.0	19.8
氷見	294.2	82.2	75.9	5.9	72.2	11.1	50.5	0.0

各府県水試調べによる (速報値)

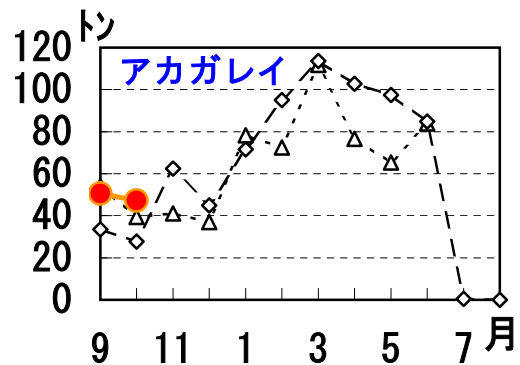
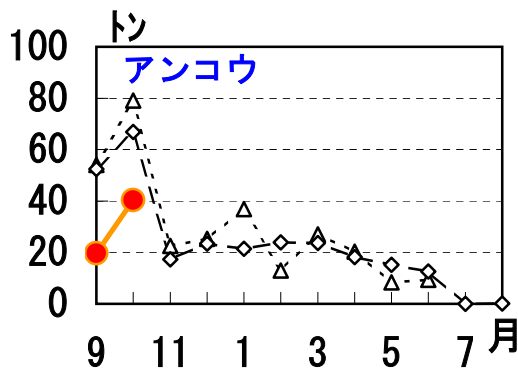
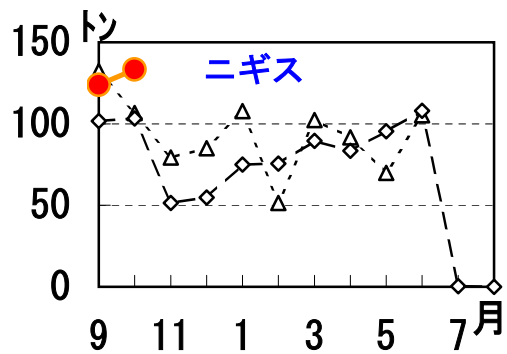
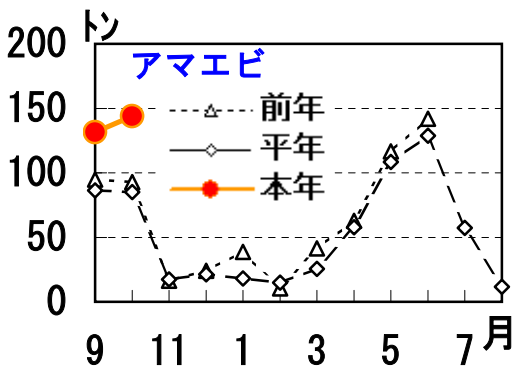


定置網における主要魚種別漁獲量の経月変化

底びき網漁業

	10月漁獲量 (トン)				累計漁獲量(9月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)		本年	平年 (比率)	
延隻数	1,337	1,505 →	1,567 →		2,683	3,105 →	
アマエビ	144	93 △	85 △		276	171 △	
ニギス	133	107 △	103 △		257	205 △	
アカガレイ	47	39 →	28 △		98	61 △	
アンコウ	40	79 ▼	67 ▼		60	119 ▼	
ムシガレイ	27	22 △	20 △		56	42 △	
ホッケ	20	44 ▼▼	31 ▼		25	43 ▼	
ハツメ	16	11 △	7 △△		20	11 △	
ヤナギムシガレイ	16	17 →	21 ▼		34	42 ▼	
ガスエビ	15	10 △	13 →		26	27 →	
マダラ	13	19 ▼	6 △△		24	9 △△	
ヤリカ	12	54 ▼▼	41 ▼▼		28	65 ▼▼	
マガレイ	10	12 →	20 ▼		32	43 ▼	
ハタハタ	8	18 ▼▼	25 ▼▼		89	59 △	
イカ類	8	28 ▼▼	16 ▼▼		9	26 ▼▼	
ヒレゴロ	7	8 →	6 →		14	11 △	
キダイ	5	6 →	7 ▼		11	18 ▼	
マダイ	5	8 ▼	6 ▼		11	16 ▼	
ソウハチ	4	7 ▼	7 ▼		11	19 ▼	
カニ類	3	3 →	2 △		5	4 △	
アカムツ	3	4 ▼	3 →		5	7 ▼	
その他	75	86 →	90 →		143	177 ▼	
合計	612	674 →	604 →		1,231	1,177 →	
1隻当たり	0.46	0.45 →	0.39 →		0.46	0.38 △	

平年値は過去10年平均



底びき網における主要魚種別漁獲量の経月変化

まき網漁業

	10月漁獲量 (トン)				累計漁獲量(1月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)		本年	平年 (比率)	
延隻数	127	132 →	103 △		772	623 △	
フクラギ	847	172 △△△	322 △△		1,521	765 △	
ガント	459	483 →	314 △		1,848	1,040 △	
マヅ	276	297 →	312 →		3,106	3,154 →	
マサバ	194	159 △	291 ▼		2,212	3,213 ▼	
ブリ	100	26 △△△	66 △		391	284 △	
その他	370	247 △	553 ▼		4,250	5,852 ▼	
合計	1,952	1,199 △	1,501 △		10,724	10,811 →	
1隻当たり	15	9 △	15 →		14	17 ▼	

平年値は過去10年平均

その他の漁業

	10月漁獲量 (トン)				累計漁獲量(1月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)		本年	平年 (比率)	
刺網漁業							
延隻数	2,458	2,848 →	2,660 →		35,524	38,262 →	
ウマヅラハギ	14	40 ▼▼	39 ▼▼		138	162 →	
ハツメ	11	16 ▼	16 ▼		126	83 △	
キダイ	7	3 △△	5 △		44	42 →	
アマダイ類	7	6 →	7 →		47	66 ▼	
アカレイ	4	3 △	1 △△		88	55 △	
マダイ	3	6 ▼	4 ▼		45	50 →	
ガント	3	12 ▼▼	5 ▼		59	80 ▼	
フクラギ	3	4 ▼	3 →		630	305 △△	
アカムツ	2	2 →	1 →		14	16 →	
サザエ	1	1 →	2 ▼		141	150 →	
その他	19	43 ▼▼	41 ▼▼		695	863 ▼	
合計	73	135 ▼	125 ▼		2,025	1,872 →	
1隻当たり	0.03	0.05 ▼	0.05 ▼		0.06	0.05 →	
釣り							
延隻数	1,815	2,045 →	2,221 ▼		10,684	10,684 →	
ガント	6	7 →	8 ▼		33	38 →	
マダイ	5	5 →	7 ▼		47	51 →	
フクラギ	4	3 △	4 →		34	26 △	
サワ	2	4 ▼	1 △		4	2 △	
アオリイカ	2	4 ▼▼	4 ▼▼		4	6 ▼	
その他	14	23 ▼	8 △		168	313 ▼	
合計	33	46 ▼	33 →		290	435 ▼	
1隻当たり	0.02	0.02 ▼	0.01 △		0.03	0.04 ▼	
イカ釣り(小型)							
延隻数	0	19 ▼▼	125 ▼▼		4,712	5,147 →	
スルメイカ	0	10 ▼▼	126 ▼▼		1,937	2,896 ▼	
1隻当たり	—	0.51 —	1.01 —		0.41	0.56 ▼	

※表(比率)の見方

▼▼ ~ 50% △ 120~199%
 ▼ 51~ 83% △△ 200~299%
 → 84~119% △△△ 300~

本県周辺海域の水深50m水温は、富山湾で“やや高め”。表面水温は、富山湾で“かなり高め”。

定置網ではフクラギ・サワラが平年をかなり上回り、ブリが平年をかなり下回った。

底びき網ではコウバコガニが平年をやや上回り、ズワイガニが平年並み。

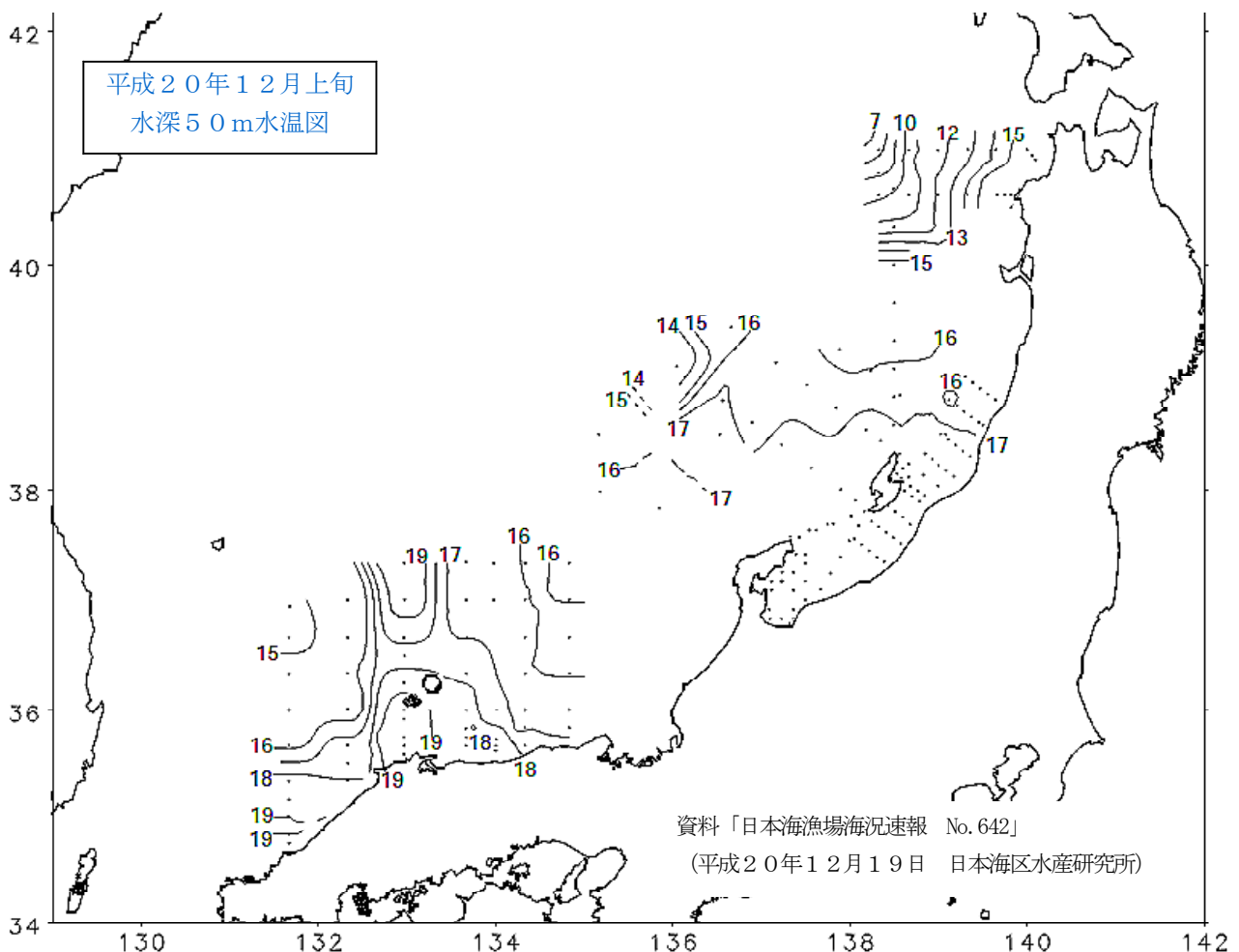
まき網ではフクラギ・ガンドが平年をやや上回り、ブリが平年をかなり上回った。

刺し網ではアンコウ・ウマツラハギ(かわはぎ)が平年をかなり下回った。

釣りではメジマグロが平年並み。

1 水温の状況 — 12月定線観測結果 —

- (1) 本県周辺の水深50m水温は16～17℃台を示し、富山湾では“やや高め”(0～1℃高め)の水温分布を示しています。
- (2) 表面水温は16～17℃台を示し、富山湾では“かなり高め”(0～1℃高め)の水温分布を示しています。
- (3) 能登半島西方沖に冷水域が分布し、先月に比べると能登半島からやや離れています。
- (4) 佐渡島西方沖に冷水域が分布し、禄剛崎にかなり近づいています。



2 漁獲の動向 — 11月の漁獲量から —

【定置網】

主要10港合計は**1,229トン**で、**平年（過去10カ年平均）並みの漁獲量**でした。
最も多く漁獲されたのはマアジの259トンで、平年をやや上回りました。フクラギは252トン、サワラ（サゴシを含む。）は92トンで、いずれも七尾地区主体に平年をかなり上回りました。ブリは2トンで平年をかなり下回りました。南下の遅れにより、11月中はまとまった水揚げがみられませんでした。

【底びき網】

主要10港合計は**451トン**で、**平年並みの漁獲量**でした。
最も多く漁獲されたのはコウバコガニの167トンで、平年をやや上回りましたが、好漁であった前年をやや下回りました。ズワイガニは114トンで平年並みでした。ニギスは41トン、アカガレイは36トンで、いずれも平年をやや下回りました。

【まき網】

主要10港合計は**1,370トン**で、**平年並みの漁獲量**でした。
最も多く漁獲されたのはフクラギの516トンで、平年をやや上回りました。ガンドは270トンで平年をやや上回りました。ブリは193トンで、11月中旬にまとまった水揚げがあり、平年をかなり上回りました。

【刺網】

主要10港合計は**47トン**で、操業隻数が減少したこともあり、**平年をかなり下回る漁獲量**でした。
最も多く漁獲されたのはアンコウの7トンで、平年をかなり下回りました。ウマヅラハギ（かわはぎ）は6トンで平年をかなり下回りました。ヒラメは2トンで平年並みでした。

【釣り】

釣りの主要10港合計は**27トン**で、**平年をかなり下回る漁獲量**でした。
最も多く漁獲されたのはメジマグロの8トンで、平年並みでした。フクラギは5トンで平年をかなり下回りました。
いか釣り（小型）の主要10港合計は**11トン**で、**平年をかなり下回る漁獲量**でした。

漁獲量統計 (橋立港、金沢港、富来港、輪島港、蛸島港、鶴飼港、松波港、宇出津港、七尾地区)

定置網漁業

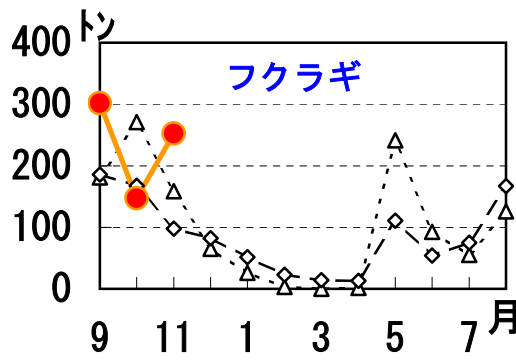
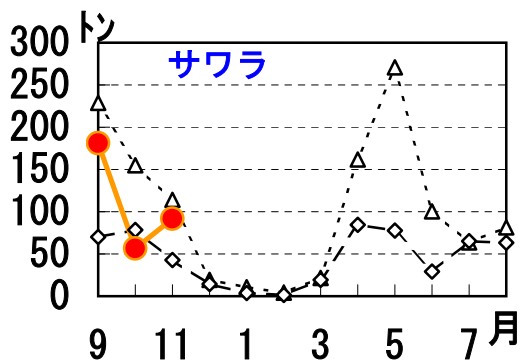
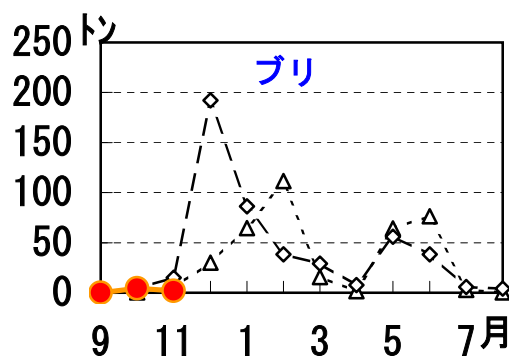
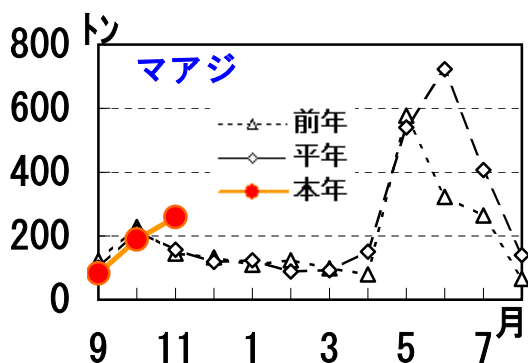
	11月漁獲量(トン)			累計漁獲量(9月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)	本年	平年 (比率)	
延統数	1,381	1,490 →	1,616 →	4,430	4,714 →	
マアジ	259	144 △	157 △	530	471 →	
フクラギ	252	159 △	98 △△	701	451 △	
シラ	119	43 △△	82 △	568	270 △△	
カクチイワシ	94	6 △△△	28 △△△	302	118 △△	
アオリイカ	92	106 →	78 →	146	135 →	
サワラ	92	114 ▼	43 △△	330	191 △	
マルソウダ	86	341 ▼▼	211 ▼▼	196	445 ▼▼	
アカマス	51	141 ▼▼	75 ▼	130	213 ▼	
マサバ	42	17 △△	24 △	141	113 △	
ウマヅラハギ	30	18 △	44 ▼	63	92 ▼	
マダイ	14	20 ▼	10 △	29	25 →	
メジ	9	4 △△	8 →	23	22 →	
ガント	9	3 △△	6 △	20	17 →	
ウルメイワシ	6	9 ▼	13 ▼▼	27	45 ▼	
ブリ	2	5 ▼▼	15 ▼▼	7	20 ▼▼	
その他	72	117 ▼	146 ▼▼	177	345 ▼	
合計	1,229	1,246 →	1,036 →	3,388	2,974 →	
1隻当たり	0.89	0.84 →	0.64 △	0.76	0.63 △	

平年値は過去10年平均
単位：トン

他府県漁獲状況 (11月：定置網)

	マルソウダ	サワラ	シラ	フクラギ	アジ類	アオリイカ	カクチイワシ	サバ類
舞鶴	16.1	209.8	37.1	164.2	126.4	12.9	13.0	22.7
氷見	240.3	29.0	197.0	30.0	20.8	95.7	23.0	7.2

各府県水試調べによる(速報値)

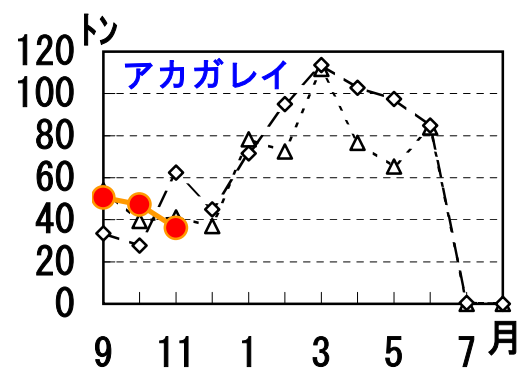
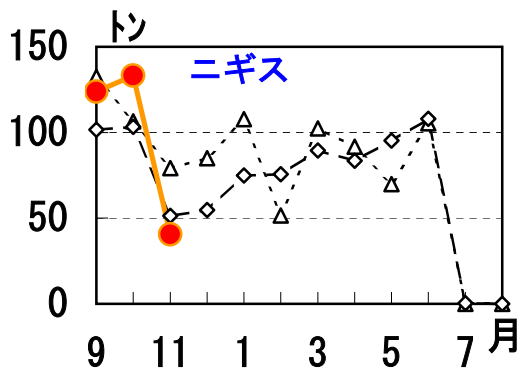
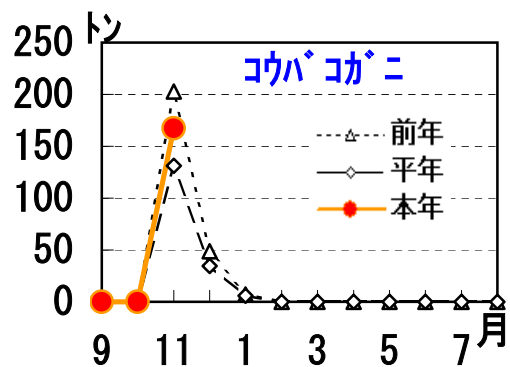
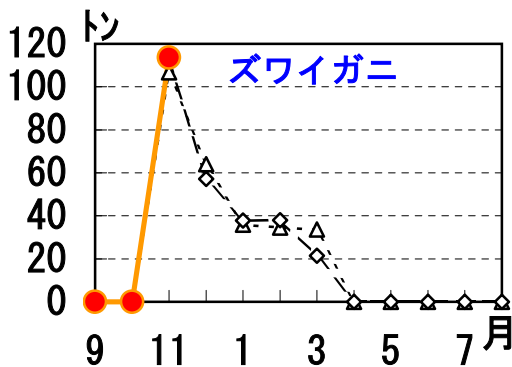


定置網における主要魚種別漁獲量の経月変化

底びき網漁業

	11月漁獲量 (トン)				累計漁獲量 (9月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)		本年	平年 (比率)	
延隻数	969	1,211 ▼	1,202 ▼		3,652	4,306 →	
コウバコ	167	203 ▼	131 △		167	131 △	
ズワイガニ	114	107 →	112 →		114	112 →	
ニギス	41	79 ▼	51 ▼		298	256 →	
アカガレイ	36	41 →	62 ▼		134	124 →	
マダラ	22	15 △	12 △		45	21 △△	
アマエビ	10	16 ▼	17 ▼		285	189 △	
ヒレグロ	6	8 ▼	9 ▼		20	20 →	
ガスエビ	5	10 ▼	7 ▼		31	33 →	
アンコウ	3	23 ▼▼	17 ▼▼		63	137 ▼▼	
マダイ	3	2 △	2 △		13	18 ▼	
ハツメ	2	4 ▼	9 ▼▼		22	20 →	
ハタハタ	2	2 →	1 △△		91	60 △	
ホッケ	2	7 ▼▼	8 ▼▼		27	51 ▼	
ヤキムシガレイ	1	6 ▼▼	6 ▼▼		36	48 ▼	
ヤリカ	1	5 ▼▼	6 ▼▼		29	71 ▼▼	
ムシガレイ	1	2 ▼▼	3 ▼▼		56	45 △	
マアジ	1	0 △	1 ▼		5	7 ▼	
タコ類	1	0 △△△	2 ▼▼		3	11 ▼▼	
貝類	1	1 ▼	2 ▼▼		1	3 ▼▼	
その他	33	39 →	44 ▼		241	322 ▼	
合計	451	572 ▼	503 →		1,682	1,679 →	
1隻当たり	0.47	0.47 →	0.42 →		0.46	0.39 →	

平年値は過去10年平均



まき網漁業

	11月漁獲量 (トン)				累計漁獲量(1月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)		本年	平年 (比率)	
延隻数	116	131 →	101 →		888	724 △	
フナギ	516	330 △	303 △		2,037	1,069 △	
ガンド	270	236 →	138 △		2,117	1,178 △	
マヅ	254	471 ▼	417 ▼		3,360	3,571 →	
ブリ	193	67 △△	33 △△△		584	317 △	
マサバ	120	806 ▼▼	447 ▼▼		2,332	3,660 ▼	
その他	330	890 ▼▼	524 ▼		4,580	6,377 ▼	
合計	1,370	1,927 ▼	1,383 →		12,094	12,194 →	
1隻当たり	12	15 ▼	14 →		14	17 ▼	

平年値は過去10年平均

その他の漁業

	11月漁獲量 (トン)				累計漁獲量(1月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)		本年	平年 (比率)	
刺網漁業							
延隻数	1,101	2,056 ▼	1,982 ▼		36,625	40,244 →	
アコウ	7	49 ▼▼	36 ▼▼		20	64 ▼▼	
ウマヅラハギ	6	21 ▼▼	28 ▼▼		144	190 ▼	
ヒラメ	2	5 ▼▼	2 →		18	20 →	
キダイ	2	1 △	2 →		45	44 →	
マダコ	1	2 ▼	3 ▼		27	37 ▼	
フナギ	1	2 ▼	2 ▼		631	307 △△	
マダイ	1	2 ▼	3 ▼		46	53 →	
アマダイ類	1	3 ▼▼	3 ▼▼		48	69 ▼	
ガンド	1	1 →	2 ▼		60	81 ▼	
サザエ	1	2 ▼	2 ▼		142	152 →	
その他	23	54 ▼▼	40 ▼		890	977 →	
合計	47	143 ▼▼	121 ▼▼		2,072	1,993 →	
1隻当たり	0.04	0.07 ▼	0.06 ▼		0.06	0.05 →	
釣り							
延隻数	1,315	1,712 ▼	1,604 ▼		11,999	14,126 →	
メジ	8	4 △△	9 →		9	16 ▼	
フナギ	5	21 ▼▼	12 ▼▼		40	37 →	
マダイ	3	2 △	2 →		50	54 →	
ガンド	2	12 ▼▼	7 ▼▼		35	44 ▼	
サワ	2	4 ▼	2 △		6	4 △	
その他	6	32 ▼▼	44 ▼▼		176	356 ▼▼	
合計	27	75 ▼▼	76 ▼▼		317	511 ▼	
1隻当たり	0.02	0.04 ▼▼	0.05 ▼▼		0.03	0.04 ▼	
イカ釣り(小型)							
延隻数	6	13 ▼▼	84 ▼▼		4,718	5,231 →	
スルメイカ	11	12 →	200 ▼▼		1,948	3,096 ▼	
1隻当たり	1.91	0.91 △△	2.38 ▼		0.41	0.59 ▼	

※表(比率)の見方

▼▼ ~ 50% △ 120~199%
 ▼ 51~ 83% △△ 200~299%
 → 84~119% △△△ 300~

石川県水産総合センター漁海況情報 第151号

電話：0768-62-1324 <http://www.pref.ishikawa.jp/suisan/center/sigenbu.htm>

定置網ではブリが平年並み、フクラギが平年をかなり上回った。
底びき網ではズワイガニ(雄)、コウバコガニが平年をやや上回った。
刺網ではマダラが平年をやや下回り、アンコウが平年をかなり下回った。

1 地先水温の状況（平成20年1～12月）

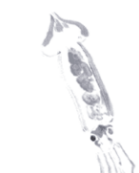
平成20年に外浦海域地先（加賀市橋立港・志賀町赤住地先）、内浦海域地先（能登町宇出津港）、七尾湾地先（七尾市石崎港）で実施した水温観測結果をお知らせします。

○冬（1月～3月） ー平年並みからやや低めー



平成20年1～3月の平均水温は、外浦海域・七尾湾では概ね平年並みからやや低めで推移しました。内浦海域では2月まで平年よりやや高めで推移しましたが、3月は平年並みとなりました。

○春（4月～6月） ー外浦海域でかなり低めー



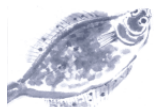
冷水域が能登半島西方に近づいたこともあり、外浦海域の平均水温は平年より低めで推移しました。特に6月ははなはだ低めとなり、橋立港では過去20年間で最低、志賀町地先では観測を開始した平成4年以降で最低の平均水温を記録しました。内浦海域・七尾湾も6月はやや低めとなりました。

○夏（7月～9月） ー平年並みからやや高めー



外浦海域の平均水温は、6月まで平年より低めで推移しましたが、7月以降には平年並みへ戻りました。7月は気温が高めで推移したこともあり、七尾湾では過去20年間で最高の平均水温を記録しました。

○秋（10月～12月） ー平年並みからやや高めー



外浦海域の平均水温は平年並みで推移しました。内浦海域では夏以降に平年よりやや高めで推移し、この傾向は12月まで続きました。

平成20年の石川県沿岸における地先水温と平年差

観測点		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
外浦	橋立港	月平均(°C)	10.7	9.3	10.2	12.3	16.2	18.8	25.2	27.7	25.4	欠測	欠測	欠測
		平年差(°C)	-0.1	-0.5	-0.4	-0.9	-0.7	-1.9	0.3	0.4	0.5			
		評価	→	▼	▼	▼	▼	▼▼▼	→	→	→			
志賀町地先	月平均(°C)	10.6	8.5	9.3	11.3	15.3	18.4	24.5	26.6	24.1	20.8	17.4	13.5	
	平年差(°C)	0.1	-0.8	-0.6	-0.9	-0.5	-1.1	1.0	0.4	0.0	0.3	0.6	0.2	
	評価	→	▼▼	▼	▼▼	→	▼▼▼	△	→	→	→	△	→	
内浦	宇出津港	月平均(°C)	13.3	11.2	10.4	11.9	15.3	19.3	23.9	27.6	26.2	22.4	19.2	16.2
		平年差(°C)	1.3	0.8	0.1	0.0	-0.3	-0.6	0.4	0.8	1.0	0.8	1.0	1.2
		評価	△	△	→	→	→	▼	→	△	△	△	△	△
七尾湾	石崎港	月平均(°C)	7.9	7.3	10.0	13.5	17.5	21.0	26.4	27.7	25.9	20.8	14.9	11.7
		平年差(°C)	-0.4	-1.0	0.2	0.1	0.3	-0.7	1.6	-0.6	0.7	0.4	-0.9	0.7
		評価	→	▼	→	→	→	▼	△△	→	△	→	▼	△

平年差は過去20年間の平均水温との差
(志賀町については16年間の平均を用いた。)

凡 例
 △△△ はなはだ高い ▼ やや低い
 △△ かなり高い ▼▼ かなり低い
 △ やや高い ▼▼▼ はなはだ低い
 → 平年並み

2 漁獲の動向 — 12月の漁獲量から —

○定置網

主要10港合計は**1,009トン**で、**平年（過去10カ年平均）並みの漁獲量**でした。
最も多く漁獲されたのはブリの188トンで、宇出津港・七尾地区主体に平年並みでした。
フクラギは173トンで平年をかなり上回りました。マアジは134トンで平年並みでした。

○底びき網

主要10港合計は**361トン**で、**平年並みの漁獲量**でした。
最も多く漁獲されたのはズワイガニで、雄（加能ガニ）は73トン、雌（コウバコガニ）は62トンでいずれも平年をやや上回りました。ニギスは59トン、アカガレイは43トンで平年並みでした。

○まき網

主要10港合計は**510トン**で、**平年をやや下回る漁獲量**でした。
最も多く漁獲されたのはマサバの170トンで、平年をかなり下回りました。ブリは70トンで平年をやや上回りました。ガンドは105トンで平年をかなり上回りました。

○刺網

主要10港合計は**54トン**で、操業隻数が少なかったこともあり、**平年をかなり下回る漁獲量**でした。
最も多く漁獲されたのはマダラの11トンで、平年をやや下回りました。アンコウは9トンで平年をかなり下回りました。ミズダコは4トンで平年をやや下回りました。

○釣り

釣りの主要10港合計は26トンで、**平年をかなり下回る漁獲量**でした。
最も多く漁獲されたのはフクラギの11トンで、平年並みでした。メジマグロは3トンで平年をやや下回りました。
いか釣り（小型）の主要10港合計は21トンで、**平年をかなり下回る漁獲量**でした。

■■■■ 寒ブリの水揚げ状況（1月中旬までの速報値） ■■■■

石川県沿岸の定置網漁業では、平年に比べスタートがやや遅れましたが、寒ブリの盛漁期を迎えています。

今漁期は12月19日頃から水揚げがまとまり、12月末までの漁獲量は188トンで、平年（過去10カ年平均）並みとなりました。近県の12月の漁獲状況を見ると、新潟県（佐渡）と富山県では平年を下回りました。3県の合計は403トンで、不漁であった昨年を上回りましたが、平年を下回りました。

1月中旬までの累計（3県の合計）も、平年並み～平年をやや下回る程度で推移しています。

各府県の定置網漁業によるブリの漁獲量（各県水試調べ、1月は速報値）

	12月の漁獲量(トン)					1月の速報値(トン)
	本年	前年	前年比	平年	平年比	
石川県						
蛸島港	1	1	92%	12	5%	2
宇出津港	67	19	359%	70	96%	71
七尾地区	120	10	1158%	109	110%	73
計	188	30	627%	192	98%	146 (20日まで)
新潟県(佐渡)	136	11	1236%	286	48%	84 (20日まで)
富山県	79	15	518%	122	65%	50 (20日まで)
3県計	403	56	717%	600	67%	280 (20日まで)
福井県	9	5	182%	7	130%	8 (17日まで)
京都府	62	2	3444%	45	137%	54 (20日まで)

漁獲量統計 (橋立港、金沢港、富来港、輪島港、蛸島港、鶴飼港、松波港、宇出津港、七尾地区)

定置網漁業

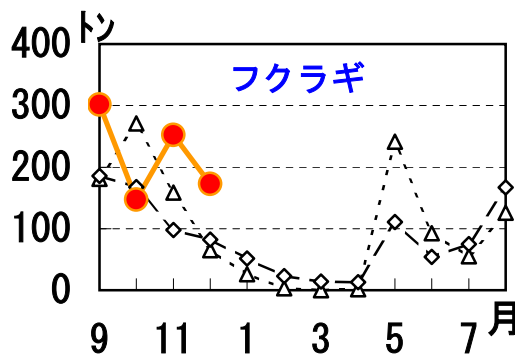
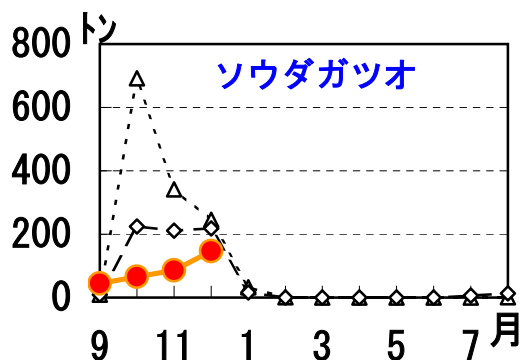
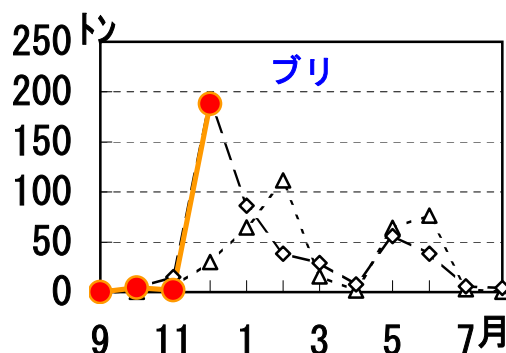
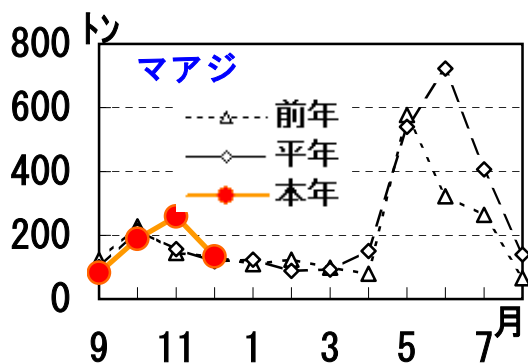
	12月漁獲量(トン)			累計漁獲量(9月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)	本年	平年 (比率)	
延統数	1,433	1,466 →	1,642 →	5,863	6,355 →	
ブリ	188	30 △△△	192 →	195	213 →	
フクラギ	173	65 △△	82 △△	874	533 △	
マルソウダ	147	246 ▼	218 ▼	343	663 ▼	
マアジ	134	133 →	119 →	664	590 →	
カクチイワシ	90	0 --	107 →	393	225 △	
シラ	46	44 →	33 △	614	302 △△	
ウマヅラハギ	35	20 △	55 ▼	98	147 ▼	
マダイ	26	13 △△	14 △	55	40 △	
マサバ	25	36 ▼	32 ▼	166	145 →	
アオリイカ	24	48 ▼▼	31 ▼	170	166 →	
サワ	20	19 →	14 △	349	206 △	
アカカス	12	14 →	17 ▼	143	230 ▼	
メジマクロ	11	28 ▼▼	22 ▼	34	44 ▼	
スルメイカ	7	7 →	16 ▼▼	10	24 ▼▼	
ガンド	4	1 △△△	4 →	24	21 →	
その他	67	123 ▼	125 ▼	267	507 ▼	
合計	1,009	828 △	1,081 →	4,397	4,055 →	
1隻当たり	0.70	0.57 △	0.66 →	0.75	0.64 →	

平年値は過去10年平均
単位：トン

他府県漁獲状況 (12月：定置網)

	マルソウダ	サワ	フクラギ	アジ類	ブリ、ガンド	シラ	サバ類	アカカス
舞鶴	20.5	196.2	68.8	82.5	54.8	12.2	2.0	17.8
氷見	231.6	13.9	92.9	51.6	59.9	50.0	31.8	4.7

各府県水試調べによる(速報値)

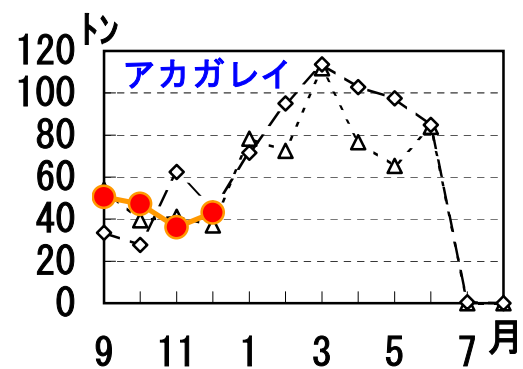
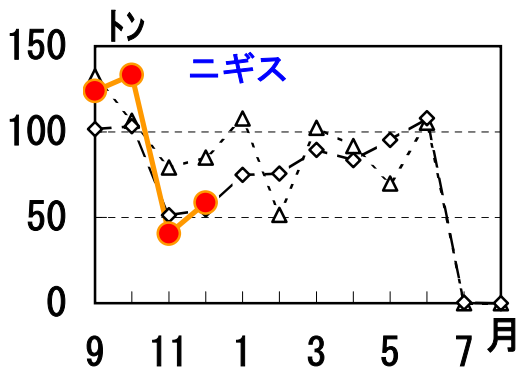
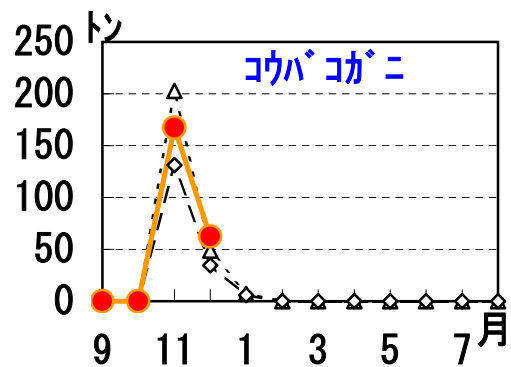
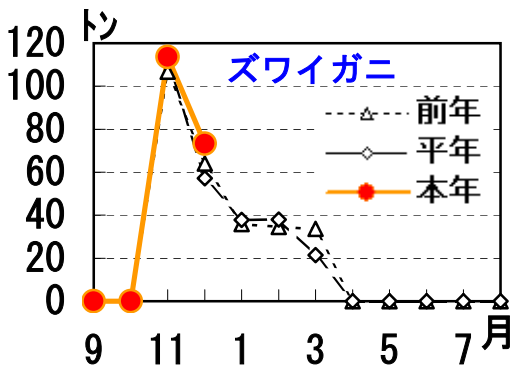


定置網における主要魚種別漁獲量の経月変化

底びき網漁業

	12月漁獲量 (トン)			累計漁獲量 (9月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)	本年	平年 (比率)	
延隻数	982	1,098 →	1,069 →	4,634	5,376 →	
ズワイガニ	73	64 →	57 △	187	169 →	
コウバコ	62	49 △	35 △	230	166 △	
ニギス	59	85 ▼	55 →	356	311 →	
アカガレイ	43	37 →	45 →	177	169 →	
アマエビ	20	24 →	21 →	305	210 △	
マダラ	19	17 →	8 △△	64	29 △△	
ガスイビ	12	11 →	14 →	43	47 →	
ハツメ	7	5 →	6 →	29	27 →	
アンコウ	5	25 ▼▼	23 ▼▼	68	160 ▼▼	
ヒレグロ	4	4 →	6 ▼	24	26 →	
ヤリイカ	4	3 △	8 ▼▼	33	80 ▼▼	
マダイ	4	2 △	4 →	17	22 ▼	
カニ類	3	3 →	2 △	15	8 △	
ソウハチ	3	3 →	4 ▼	14	25 ▼	
ハタハタ	2	7 ▼▼	2 →	93	62 △	
マコガレイ	2	1 △	1 △△	6	7 ▼	
ヤキムシガレイ	2	6 ▼▼	5 ▼▼	37	53 ▼	
ムシガレイ	1	2 ▼	3 ▼	58	48 →	
ウマヅラハギ	1	5 ▼▼	6 ▼▼	6	18 ▼▼	
その他	36	53 ▼	66 ▼	281	414 ▼	
合計	361	405 →	371 →	2,043	2,051 →	
1隻当たり	0.37	0.37 →	0.35 →	0.44	0.38 →	

平年値は過去10年平均



まき網漁業

	12月漁獲量 (トン)				累計漁獲量(1月より)			
	本年	前年	(比率)	平年	(比率)	本年	平年	(比率)
延隻数	119	111	→	74	△	1,007	798	△
マサハ	170	133	△	404	▼▼	2,502	4,064	▼
フクラギ	114	86	△	116	→	2,151	1,185	△
ガンド	105	66	△	34	△△△	2,223	1,212	△
ブリ	70	114	▼	36	△	653	353	△
マアジ	38	8	△△△	244	▼▼	3,398	3,815	→
その他	120	126	→	317	▼▼	5,729	6,605	→
合計	510	411	△	871	▼	12,604	13,066	→
1隻当たり	4	4	→	12	▼▼	13	16	▼

平年値は過去10年平均

その他の漁業

	12月漁獲量 (トン)				累計漁獲量(1月より)			
	本年	前年	(比率)	平年	(比率)	本年	平年	(比率)
刺網漁業								
延隻数	1,208	1,695	▼	1,573	▼	37,833	41,817	→
マダラ	11	38	▼▼	20	▼	87	93	→
アコウ	9	24	▼▼	31	▼▼	29	95	▼▼
ミダコ	4	3	△	5	▼	27	36	▼
アガレイ	3	10	▼▼	6	▼	91	61	△
ウマヅラハギ	3	9	▼▼	12	▼▼	146	202	▼
フクラギ	3	4	▼	2	△	634	309	△△
マイ	2	3	▼	5	▼▼	20	49	▼▼
マダコ	2	3	▼▼	3	▼	29	40	▼
アマダイ類	1	1	△△	1	△	49	70	▼
マアジ	1	2	▼	1	△	25	27	→
その他	15	22	▼	24	▼	989	1,121	→
合計	54	117	▼▼	109	▼▼	2,126	2,102	→
1隻当たり	0.04	0.07	▼	0.07	▼	0.06	0.05	→
釣り								
延隻数	795	1,171	▼	877	→	12,794	15,003	→
フクラギ	11	21	▼	10	→	51	48	→
メダカ	3	3	→	5	▼	12	21	▼
ガンド	2	1	△△△	2	→	38	47	▼
マダラ	1	16	▼▼	19	▼▼	3	54	▼▼
マイ	1	1	→	1	△	3	2	→
その他	7	14	▼	17	▼▼	236	395	▼
合計	26	56	▼▼	55	▼▼	343	566	▼
1隻当たり	0.03	0.05	▼	0.06	▼	0.03	0.04	▼
イカ釣り(小型)								
延隻数	23	19	△	64	▼▼	4,741	5,295	→
スルメイカ	21	19	→	88	▼▼	1,969	3,184	▼
1隻当たり	0.91	0.99	→	1.38	▼	0.42	0.60	▼

※表(比率)の見方

▼▼ ~ 50% △ 120~199%
 ▼ 51~ 83% △△ 200~299%
 → 84~119% △△△ 300~

石川県水産総合センター漁海況情報 第152号

電話：0768-62-1324 <http://www.pref.ishikawa.jp/suisan/center/sigenbu.htm>

本県周辺海域の水深50m水温は、加賀沖及び能登半島外浦沖では“平年並み”から“やや高め”、富山湾で“平年並み”。

定置網ではブリ・メジマグロが平年をかなり上回り、スルメイカが平年をかなり下回った。

底びき網ではズワイガニ・ニギス・アカガレイが平年をやや上回った。

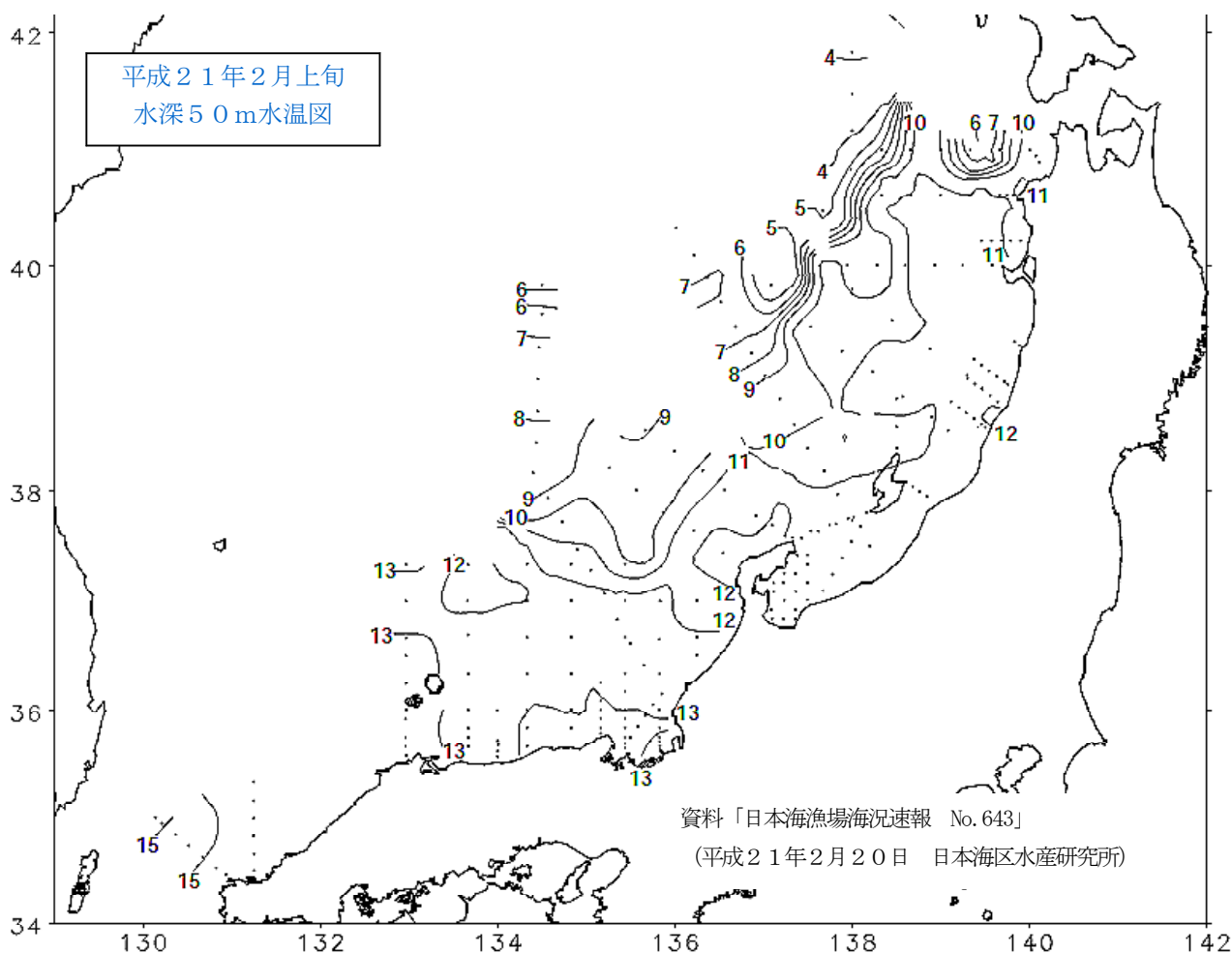
まき網ではマアジが平年をやや上回り、マサバが平年をかなり下回った。

刺し網ではマダラが平年をやや下回り、フクラギが平年をかなり下回った。

釣りではフクラギ・ガンドが平年をかなり上回った。

1 水温の状況 — 2月定線観測結果 —

- (1) 本県周辺の水深50m水温・表面水温は11～12℃台を示し、加賀沖及び能登半島外浦沖では“平年並み”から“やや高め”(0～1℃高め)、富山湾では“平年並み”の水温分布を示しています。
- (2) 能登半島西方沖の冷水域は能登半島からやや離れ、加賀沖には暖水域が近づいています。
- (3) 佐渡島沖の冷水域は緑剛埼からやや離れています。



2 漁獲の動向 — 1月の漁獲量から —

【定置網】

主要10港合計は**643トン**で、**平年（過去10カ年平均）をやや下回る漁獲量**でした。
最も多く漁獲されたのはブリの193トンで、平年をかなり上回りました。
マアジは144トンで平年並みでした。
メジマグロは44トンで平年をかなり上回りました。
スルメイカは25トンで平年をかなり下回り、前年に続き不漁となりました。

【底びき網】

主要10港合計は**470トン**で、**平年並みの漁獲量**でした。
最も多く漁獲されたのはニギスの96トンで、平年をやや上回りました。
ズワイガニは52トンで平年をやや上回りました。解禁から1月末までの累計は239トン（平年の115%）で、好調に推移しています。
コウバコガニは22トンで平年をかなり上回りました。解禁から1月10日の漁期終了までの累計は252トン（平年の147%）で、前年に続き好漁となりました。
アカガレイは87トン、アマエビは25トンで、いずれも平年をやや上回りました。

【まき網】

主要10港合計は**691トン**で、**平年をやや下回る漁獲量**でした。
最も多く漁獲されたのはマアジの423トンで、平年をやや上回りました。
マサバは232トンで平年をかなり下回りました。

【刺網】

主要10港合計は**99トン**で、操業隻数が減少したこともあり、**平年をやや下回る漁獲量**でした。
最も多く漁獲されたのはマダラの25トンで、平年をやや下回りました。
フクラギは12トンで平年をかなり下回りました。
ウマヅラハギ（かわはぎ）は12トンで平年並みでした。

【釣り】

釣りの主要10港合計は**36トン**で、**平年をやや上回る漁獲量**でした。
最も多く漁獲されたのはフクラギの18トンで、平年をかなり上回りました。
ガンドは3トンで平年をかなり上回りました。

漁獲量統計 (橋立港、金沢港、富来港、輪島港、蛸島港、鶴飼港、松波港、宇出津港、七尾地区)

定置網漁業

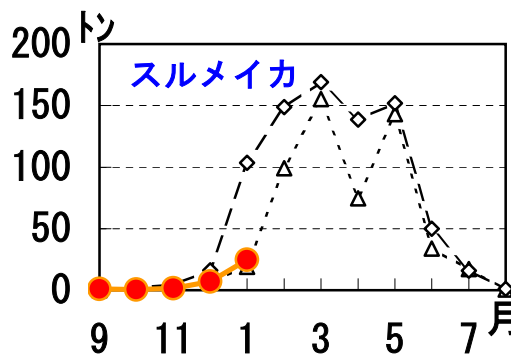
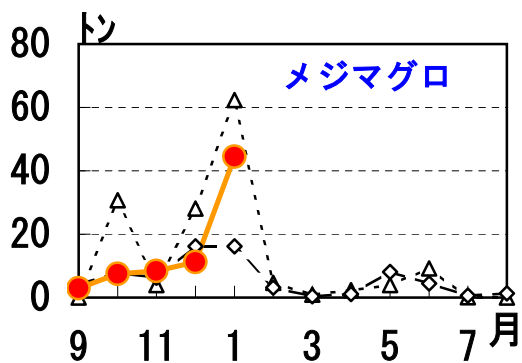
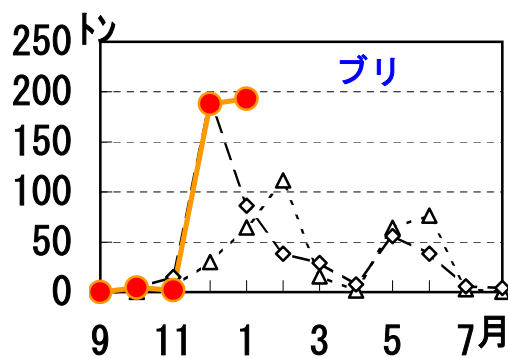
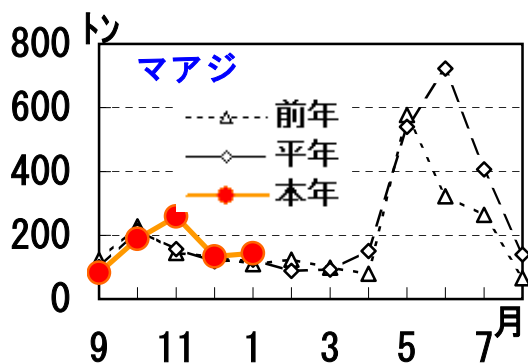
	1月漁獲量 (トン)				累計漁獲量(9月より)			
	本年	前年	(比率)	平年	(比率)	本年	平年	(比率)
延統数	1,201	1,279	→	1,373	→	7,064	7,729	→
ブリ	193	64	△△	86	△△	388	299	△
マアジ	144	109	△	123	→	807	713	→
ウマヅラハギ	45	30	△	148	▼▼	143	295	▼▼
メジマグロ	44	62	▼	21	△△	79	65	△
フケギ	32	26	△	52	▼	905	585	△
スルメイカ	25	19	△	103	▼▼	35	127	▼▼
マルソウダ	15	32	▼▼	16	→	358	679	▼
ウルメイワシ	14	10	△	20	▼	43	81	▼
マサバ	14	7	△	33	▼▼	180	178	→
カクチイワシ	13	0	△△△	63	▼▼	405	287	△
ヤリイカ	11	21	▼	19	▼	14	23	▼
サワラ	6	10	▼	4	△	356	209	△
マダイ	6	13	▼▼	7	▼	60	47	△
ガント	5	1	△△△	25	▼▼	29	46	▼
アソコウ	3	3	→	4	▼	5	5	→
その他	74	70	→	107	▼	1,233	1,247	→
合計	643	480	△	830	▼	5,040	4,885	→
1隻当たり	0.54	0.38	△	0.60	→	0.71	0.63	→

平年値は過去10年平均
単位：トン

他府県漁獲状況 (1月：定置網)

	カクチイワシ	サワラ	マグロ・メジ類	アジ類	ブリ・ガント	マルソウダ	カハギ類	フケギ
舞鶴	440.8	183.2	40.3	62.9	68.1	2.8	1.0	19.7
氷見	0.3	4.7	94.8	54.5	47.3	39.6	30.4	8.1

各府県水試調べによる (速報値)

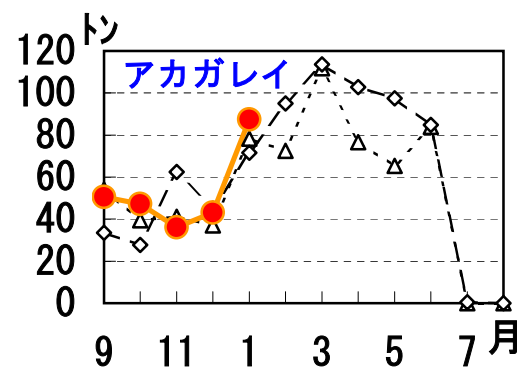
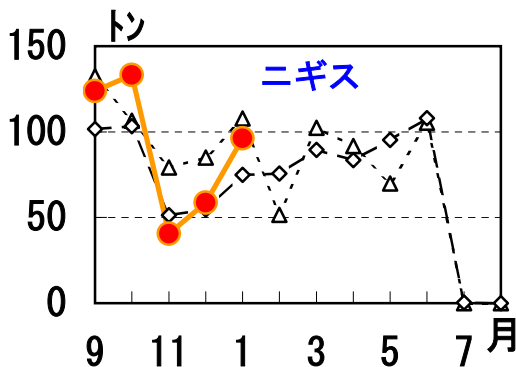
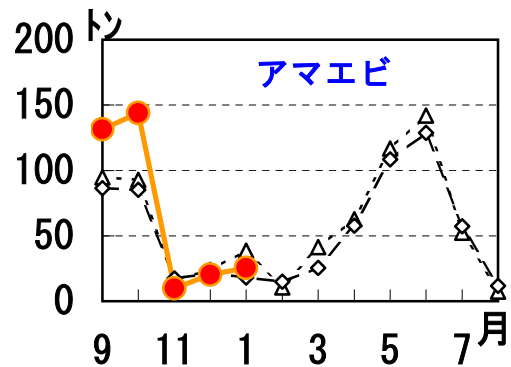
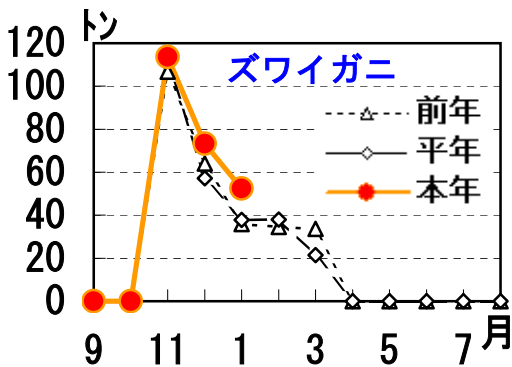


定置網における主要魚種別漁獲量の経月変化

底びき網漁業

	1月漁獲量 (トン)			累計漁獲量 (9月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)	本年	平年 (比率)	
延隻数	923	913 →	914 →	5,557	6,290 →	
ニギス	96	108 →	75 △	453	386 →	
アカガレイ	87	78 →	72 △	264	240 →	
ズワイガニ	52	36 △	38 △	239	207 →	
ハタハタ	27	85 ▼▼	56 ▼▼	119	118 →	
アマエビ	25	39 ▼	18 △	331	228 △	
ガスエビ	24	17 △	19 △	67	66 →	
コウバコ	22	7 △△△	6 △△△	252	172 △	
マダラ	20	15 △	10 △△	84	39 △△	
ホタルイカ	18	4 △△△	10 △	19	12 △	
ハツメ	7	1 △△△	3 △△	36	29 △	
ミスガニ	7	13 ▼	11 ▼	7	15 ▼▼	
ソウハチ	6	6 →	8 ▼	19	33 ▼	
ヒレグロ	5	6 →	7 ▼	29	33 →	
ヤリイカ	5	3 △	7 ▼	38	87 ▼▼	
アンコウ	5	37 ▼▼	21 ▼▼	73	181 ▼▼	
カニ類	5	3 △	3 △	20	11 △	
ウマヅラハギ	3	3 →	5 ▼	9	22 ▼▼	
マダイ	2	1 △△	2 △	20	24 →	
ヤナギムシガレイ	2	5 ▼▼	4 ▼	40	57 ▼	
その他	50	78 ▼	67 ▼	394	531 ▼	
合計	470	545 →	441 →	2,512	2,491 →	
1隻当たり	0.51	0.60 →	0.48 →	0.45	0.40 →	

平年値は過去10年平均



まき網漁業

	1月漁獲量 (トン)				累計漁獲量(1月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)		本年	平年 (比率)	
延隻数	53	73 ▼	43 △		53	43 △	
マヅ	423	511 ▼	241 △		423	241 △	
マサバ	232	493 ▼▼	623 ▼▼		232	623 ▼▼	
ガント	15	9 △	3 △△△		15	3 △△△	
ブリ	7	0 △△△	1 △△△		7	1 △△△	
フクラギ	4	34 ▼▼	20 ▼▼		4	20 ▼▼	
その他	21	37 ▼	93 ▼▼		21	93 ▼▼	
合計	691	1,051 ▼	960 ▼		691	960 ▼	
1隻当たり	13	14 →	22 ▼		13	22 ▼	

平年値は過去10年平均

その他の漁業

	1月漁獲量 (トン)				累計漁獲量(1月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)		本年	平年 (比率)	
刺網漁業							
延隻数	1,140	1,709 ▼	1,443 ▼		1,140	1,443 ▼	
マダラ	25	36 ▼	34 ▼		25	34 ▼	
フクラギ	12	77 ▼▼	34 ▼▼		12	34 ▼▼	
ウマヅラハギ	12	21 ▼	11 →		12	11 →	
アカガレイ	9	17 ▼	13 ▼		9	13 ▼	
メダイ	6	4 △	7 →		6	7 →	
マヅ	4	3 △	1 △△△		4	1 △△△	
アンコウ	4	4 →	11 ▼▼		4	11 ▼▼	
ミスダコ	4	3 →	5 ▼		4	5 ▼	
ガント	3	6 ▼	14 ▼▼		3	14 ▼▼	
マダコ	1	3 ▼▼	2 ▼		1	2 ▼	
その他	17	30 ▼	24 ▼		17	24 ▼	
合計	99	204 ▼▼	157 ▼		99	157 ▼	
1隻当たり	0.09	0.12 ▼	0.11 ▼		0.09	0.11 ▼	
釣り							
延隻数	634	547 →	481 △		634	481 △	
フクラギ	18	11 △	2 △△△		18	2 △△△	
ガント	3	0 △△△	0 △△△		3	0 △△△	
メジマグロ	2	0 △△△	1 △		2	1 △	
マダラ	2	1 △△△	9 ▼▼		2	9 ▼▼	
マサバ	2	6 ▼▼	4 ▼▼		2	4 ▼▼	
その他	10	11 →	6 △		10	6 △	
合計	36	29 △	22 △		36	22 △	
1隻当たり	0.06	0.05 →	0.05 △		0.06	0.05 △	
イカ釣り(小型)							
延隻数	1	20 ▼▼	36 ▼▼		1	36 ▼▼	
スルメイカ	0.1	4 ▼▼	16 ▼▼		0.1	16 ▼▼	
1隻当たり	0.08	0.19 ▼▼	0.44 ▼▼		0.08	0.44 ▼▼	

※表(比率)の見方

▼▼ ~ 50% △ 120~199%
 ▼ 51~ 83% △△ 200~299%
 → 84~119% △△△ 300~

本県周辺海域の水深50m水温は、加賀沖及び能登半島外浦沖では“平年並み”から“やや高め”、富山湾で“やや高め”。

定置網ではスルメイカが平年並み、マアジ・ブリが平年をやや上回った。

底びき網ではハタハタ・アカガレイ・ニギスが平年並み。

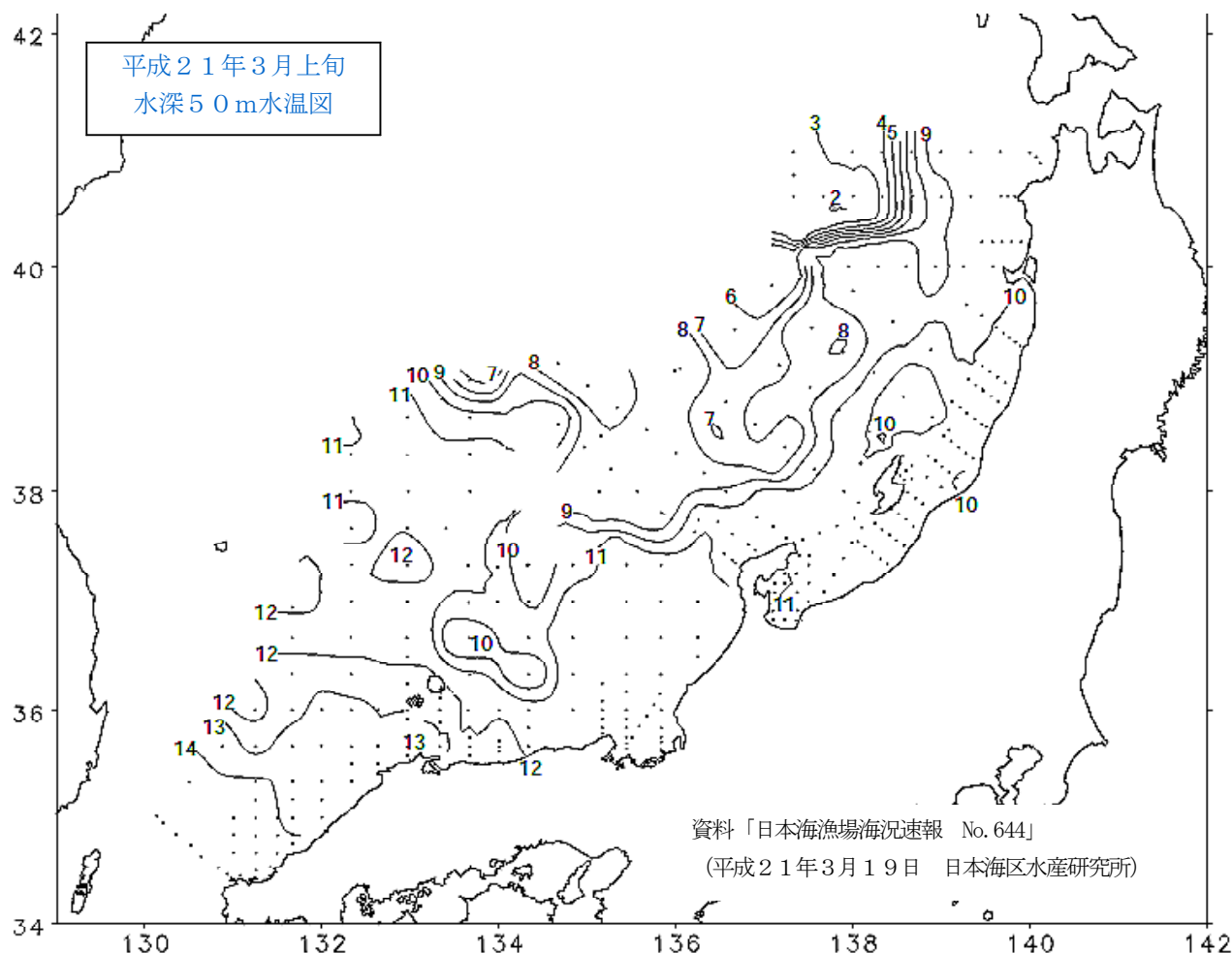
まき網ではマアジが平年並み、マサバが平年をかなり下回った。

刺し網ではフクラギ・マダラが平年をやや上回った。

釣りではウスメバル(やなぎばちめ)が平年をやや下回った。

1 水温の状況 — 3月定線観測結果 —

- (1) 本県周辺の水深50m水温は9～11℃台を示し、加賀沖及び能登半島外浦沖では“平年並み”から“やや高め”(0～1℃高め)、富山湾では“やや高め”(0～1℃高め)の水温分布を示しています。
- (2) 表面水温は10～11℃台を示し、加賀沖及び能登半島外浦沖では“平年並み”から“やや高め”(0～1℃高め)、富山湾では“平年並み”の水温分布を示しています。
- (3) 能登半島西方沖では、先月に引き続き暖水域が岸寄りに分布しています。
- (4) 佐渡島沖の冷水域は、先月に比べて南下し、禄剛埼からの距離は平年並みとなっています。



2 漁獲の動向 — 2月の漁獲量から —

【定置網】

主要10港合計は**823トン**で、**平年（過去10カ年平均）並みの漁獲量**でした。
最も多く漁獲されたのはスルメイカの168トンで（七尾地区主体）、平年並みでした。
マアジは133トン、ブリは53トンで、いずれも平年をやや上回りました。
マサバは107トンで平年をかなり上回りました。

【底びき網】

主要10港合計は**446トン**で、**平年をやや下回る漁獲量**でした。
最も多く漁獲されたのはハタハタの122トンで、平年並みでした。ただし、輪島港・蛸島港では前年をかなり上回りましたが、橋立港・金沢港・富来港では前年をかなり下回りました。
アカガレイは81トン、ニギスは64トンで、いずれも平年並みでした。
ズワイガニは29トンで平年をやや下回りました。解禁から2月末までの累計は269トンで平年並みでした。

【まき網】

主要10港合計は**578トン**で、**平年をかなり下回る漁獲量**でした。
最も多く漁獲されたのはマアジの463トンで、平年並みでした。
マサバは100トンで平年をかなり下回りました。

【刺 網】

主要10港合計は**202トン**で、**平年並みの漁獲量**でした。
最も多く漁獲されたのはフクラギの100トンで、平年をやや上回りました。
マダラは36トンで平年をやや上回りました。
アカガレイは10トンで平年をやや下回りました。

【釣 り】

釣りの主要10港合計は**10トン**で、**平年並みの漁獲量**でした。
最も多く漁獲されたのはウスメバル（やなぎばちめ）の2トンで、平年をやや下回りました。
フクラギは2トンで平年をかなり上回りました。

漁獲量統計 (橋立港、金沢港、富来港、輪島港、蛸島港、鶴飼港、松波港、宇出津港、七尾地区)

定置網漁業

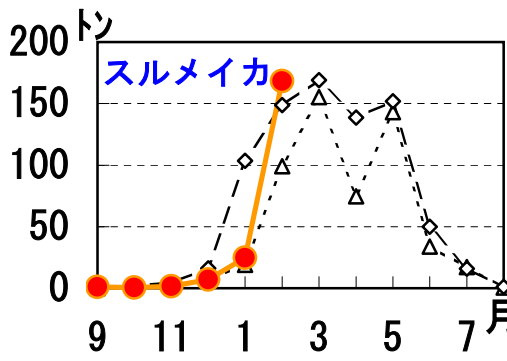
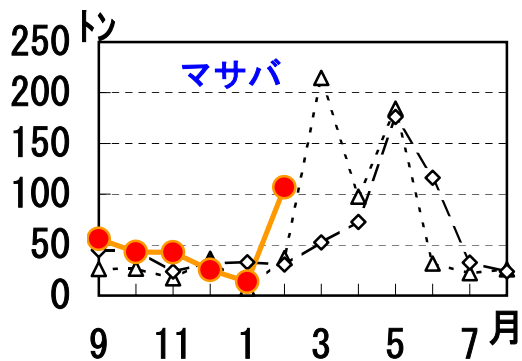
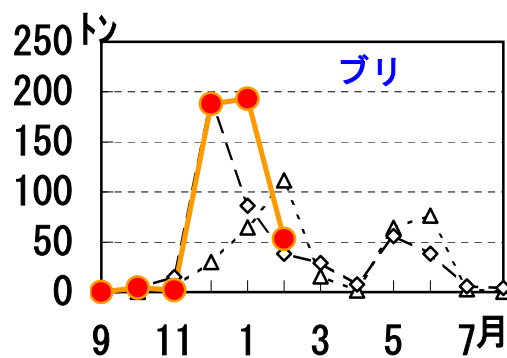
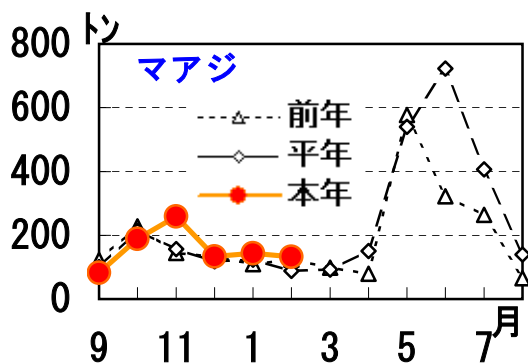
	2月漁獲量 (トン)			累計漁獲量(9月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)	本年	平年 (比率)	
延統数	1,225	1,296 →	1,332 →	8,289	9,061 →	
スルメイカ	168	99 △	149 →	203	276 ▼	
カクチイワシ	151	47 △△△	62 △△	556	350 △	
マアジ	133	124 →	88 △	940	801 →	
マサバ	107	37 △△	31 △△△	287	209 △	
ブリ	53	112 ▼▼	38 △	441	337 △	
ウマヅラハギ	27	37 ▼	34 ▼	170	329 ▼	
ヤリイカ	25	19 △	17 △	39	40 →	
ウルメイワシ	25	32 ▼	76 ▼▼	68	157 ▼▼	
マイワシ	20	51 ▼▼	67 ▼▼	55	99 ▼	
マジマゴロ	15	5 △△△	5 △△△	94	69 △	
マダラ	10	4 △△	6 △	11	8 △	
フケキ	7	3 △△	23 ▼▼	912	608 △	
アンコウ	4	5 ▼	4 →	9	9 →	
サワ	3	4 ▼	1 △△	359	211 △	
マダイ	2	10 ▼▼	3 →	63	49 △	
その他	73	77 →	84 →	1,656	2,023 ▼	
合計	823	665 △	688 →	5,863	5,573 →	
1隻当たり	0.67	0.51 △	0.52 △	0.71	0.62 →	

平年値は過去10年平均
単位：トン

他府県漁獲状況 (2月：定置網)

	カクチイワシ	スルメイカ	サバ類	アジ類	サワ	マイワシ	マゴロマジ類	ヤリイカ
舞鶴	135.3	0.0	152.7	57.0	37.6	0.8	10.0	5.9
氷見	238.8	210.9	24.1	37.6	2.8	24.6	11.8	13.1

各府県水試調べによる (速報値)

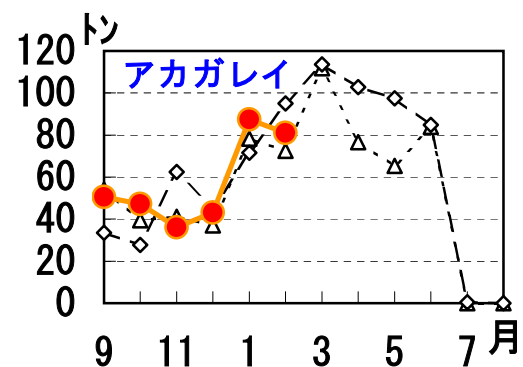
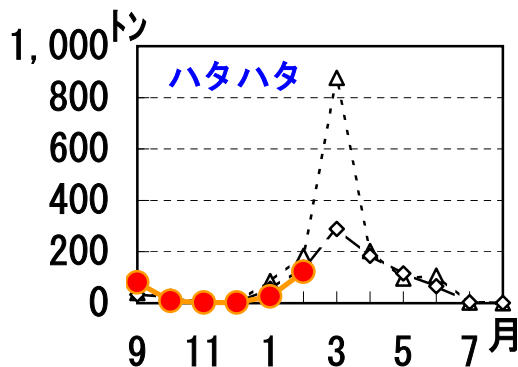
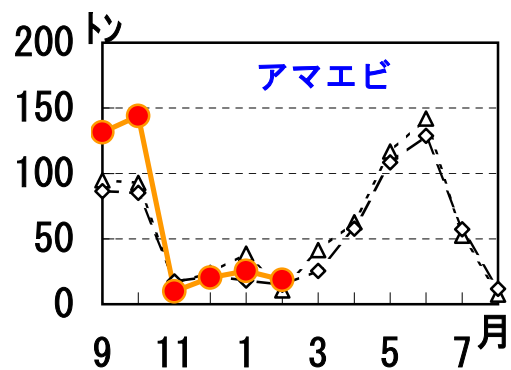
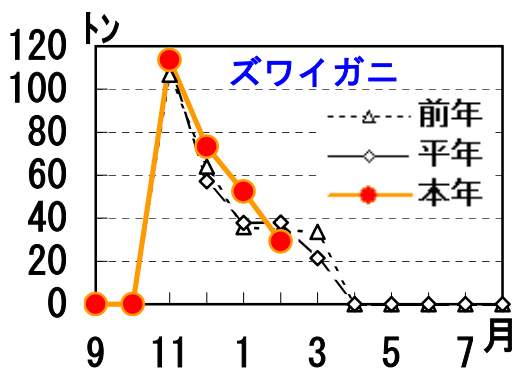


定置網における主要魚種別漁獲量の経月変化

底びき網漁業

	2月漁獲量 (トン)				累計漁獲量(9月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)		本年	平年 (比率)	
延隻数	846	914 →	1,105 ▼		6,403	7,394 →	
ハタハタ	122	185 ▼	138 →		241	257 →	
アカガレイ	81	73 →	95 →		345	335 →	
ニギス	64	51 △	76 →		517	462 →	
ズワイガニ	29	35 →	38 ▼		269	245 →	
アマエビ	19	10 △	15 △		350	243 △	
ガスエビ	18	9 △△	16 →		84	82 →	
ホタルイカ	15	14 →	29 ▼		34	40 →	
アンコウ	10	13 ▼	24 ▼▼		83	205 ▼▼	
ミスガニ	8	10 →	13 ▼		15	28 ▼	
マダラ	8	6 △	8 →		92	47 △	
ソウハチ	5	4 △	10 ▼		24	43 ▼	
ヒレゴロ	4	5 →	8 ▼▼		33	41 ▼	
ムシガレイ	3	3 ▼	4 ▼		63	55 →	
カニ類	2	1 △	2 →		22	13 △	
マガレイ	2	5 ▼▼	4 ▼▼		37	56 ▼	
ヤナギムシガレイ	2	5 ▼▼	6 ▼▼		42	63 ▼	
マアジ	1	1 △△	4 ▼▼		7	15 ▼▼	
ヒラメ	1	1 ▼	2 ▼		3	6 ▼	
ウマヅラハギ	1	1 →	3 ▼▼		10	26 ▼▼	
その他	50	42 →	82 ▼		687	806 →	
合計	446	473 →	578 ▼		2,958	3,070 →	
1隻当たり	0.53	0.52 →	0.52 →		0.46	0.42 →	

平年値は過去10年平均



まき網漁業

	2月漁獲量(トン)			累計漁獲量(1月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)	本年	平年 (比率)	
延隻数	24	92 ▼▼	50 ▼▼	77	93 ▼	
マヅ	463	939 ▼▼	512 →	886	753 →	
マサバ	100	1,114 ▼▼	508 ▼▼	332	1,131 ▼▼	
カクチイワシ	13	0 --	3 △△△	13	3 △△△	
マダイ	0	0 △△△	0 △△△	1	0 △△△	
ヤリカ	0	0 △△△	1 ▼▼	0	2 ▼▼	
その他	2	12 ▼▼	187 ▼▼	38	283 ▼▼	
合計	578	2,065 ▼▼	1,210 ▼▼	1,269	2,170 ▼	
1隻当たり	24	22 →	24 →	16	23 ▼	

平年値は過去10年平均

その他の漁業

	2月漁獲量(トン)			累計漁獲量(1月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)	本年	平年 (比率)	
刺網漁業						
延隻数	1,352	1,364 →	1,766 ▼	2,599	3,210 ▼	
フクラギ	100	93 →	84 △	171	118 △	
マダラ	36	19 △	26 △	61	61 →	
ナマコ類	11	9 △	4 △△△	12	4 △△△	
アカガレイ	10	12 →	16 ▼	19	29 ▼	
ウマヅラハギ	5	10 ▼	4 △	18	15 →	
マダイ	5	4 →	12 ▼▼	11	19 ▼	
マガレイ	4	2 △△	4 →	4	4 →	
マヅ	3	1 △△	2 △△	8	3 △△△	
ミズダコ	2	2 →	4 ▼	6	9 ▼	
ガンド	2	1 △	4 ▼▼	11	18 ▼	
その他	22	32 ▼	40 ▼	44	76 ▼	
合計	202	184 →	200 →	365	356 →	
1隻当たり	0.15	0.14 →	0.11 △	0.14	0.11 △	
釣り						
延隻数	441	170 △△	422 →	1,075	903 →	
ウスハル	2	1 △△△	3 ▼	3	4 ▼	
フクラギ	2	0 △△△	1 △△	20	3 △△△	
マダイ	0.2	0.1 △	0 △△	0	0 →	
トラフグ	0.2	0.1 △	0 ▼▼	1	1 →	
ガンド	0.2	0.0 --	0 △△△	3	0 △△△	
その他	5	3 △	7 ▼	18	24 ▼	
合計	10	4 △△	11 →	46	33 △	
1隻当たり	0.02	0.02 →	0.03 ▼	0.04	0.04 →	
イカ釣り(小型)						
延隻数	0	36 ▼▼	61 ▼▼	1	97 ▼▼	
スルメイカ	0.0	10 ▼▼	18 ▼▼	0.1	34 ▼▼	
1隻当たり	---	0.27 ---	0.29 ---	0.08	0.35 ▼▼	

※表(比率)の見方

▼▼ ~ 50% △ 120~199%
 ▼ 51~ 83% △△ 200~299%
 → 84~119% △△△ 300~